

# 2025 年 FIS 理事会最重要決定事項

公益財団法人 全日本スキー連盟

## スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業

# これからももっと、 私はスポーツを楽しむんだ。

卓球歴24年。バスケ歴1日。

卓球の200倍もの重さがあるボールは、  
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。

初対面でもあっという間に仲間になれる。

競技人生での楽しさとは違う、

スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、  
すべての人のために、  
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

※原文と和文で差異がある場合、原文を優先する。

## FIS理事会最重要決定事項

2025年6月12日および6月13日

### 1. (開会)

Eliasch会長はFIS理事会の第1部を開会し、出席者を歓迎した。

\*\*\*

### 2. 出席者

Johan Eliasch、会長 (FIS)  
Deidra Dionne (カナダ)  
Tove Moe Dyrhaug (ノルウェー)  
Alex Fiva、アスリート代表(スイス)  
Anna Harboe Falkenberg (デンマーク)  
Adam Hall、アスリート代表(ニュージーランド)  
Michael Huber(オーストリア)  
Freddy Keirouz (レバノン)  
Karin Mattsson (スウェーデン)  
Tzeko Minev (ブルガリア) // 2025年6月12日のみ出席  
村里 敏彰 (日本)  
Alexander Ospelt (リヒテンシュタイン)  
Dexter Paine (アメリカ)  
May Peus (スペイン)  
Jean-Philippe Rochat (スイス)  
Flavio Roda (イタリア)  
Fabien Saguez (フランス)  
Enzo Smrekar (スロベニア)  
Franz Steinle (ドイツ)  
Fiona Stevens (ニュージーランド)  
Verena Stuffer、アスリート代表(イタリア)  
Martti Uusitalo (フィンランド)  
Michel Vion、事務局長(FIS)

傍聴者:

Aoife Keane, FIS顧問弁護士  
Stefan Ruf、財務主任および総務部長  
Stephan Netzle、外部法律顧問

\*\*\*

### 3. 議題の承認

FIS理事会は、議題を承認した。

\*\*\*

### 4. 2025年5月7日FIS理事会議事録

該当の理事会の要約議事録は2025年5月23日にFISウェブサイトで公開された。7.3事項「年次決算」内でFIS理事会は2025年の財務諸表を承認した旨が述べられているが、これは正しくは2024年の財務諸表であることから、修正が必要な部分がある。

FIS理事会は、機密議事録を承認した。

\*\*\*

### 5. 会長報告

#### #ノルディックコンバインドサステナビリティ変革ツアー

2024/2025シーズン中に、Viessmanノルディックコンバインドワールドカップを開催する8つの各組織委員会(LOC)は、環境および社会変革の刺激的な旅(取り組み)である#ノルディックコンバインド・サステナビリティ変革ツアーに参加した。この機会を通し、各LOCはサステナビリティおよび冬季スポーツにおけるエコシステムの進行を促進させることを目的に計画されたユニークなプロジェクトを実行し、紹介した。

突出した取り組みの中から、ドイツのSchnachワールドカップ組織委員会が最優秀を勝ち取り、Viessmann Climate Solutionsから最初のFISノルディックコンバインド・サステナビリティ変革賞を受け取った。彼らの勝因には2つの影響力の高い要素があり、1つ目は全チームにより共有された統一化されたエネルギー効率の高いスキーワックステントであり、2つ目は必須となっていた大会からのチケットによる公共交通機関での移動の包括性である。

功績を称え、Schonach LOCはViessman Climate Solutionsから更なる気候変動に対策の強化およびサステナブルな大会開催のリーダーシップを強化への投資に対する10,000ユーロのバウチャーを受け取った。

#### Prince Albert II of Monaco Foundationとの新規協働

FISは環境管理責任および情報共有の強化を目的としたPrince Albert II of Monaco Foundationとの新規パートナーシップを紹介できることを大変嬉しく思う。2025年9月始動を目途に、FISおよびHuman-Wildlife Initiativeは生物多様性への影響に関する研究を開始する。この研究は最も自然と調和している2つの種目-アルペンスキーおよびフリーライドに焦点を置き、主要な国際大会をパイロットイベントとして活用する。

#### デベロップメントの前進

2024/25シーズンはFISデベロップメントにおいて重要な年であり、アスリート、コーチ、そして各国スキー連盟の強化とためのチームによる揺るぎない取り組みが証明された。能力を創出し、パフォーマンスを向上させるミッションのもと、本プログラムは前シーズンと比較して全ての分野において目を見張る成長を達成した。

その影響と働きかけ拡大の明確な成果として、本年、FISデベロップメントは65カ国のスキー連盟と協働し765名の選手を支援、3つの地域を跨ぎ35の特有な事業を実施した。

これは支援を受けたアスリートおよびコーチの人数の81.3%増加、本プログラムの恩恵を受けた各国スキー連盟の20.4%増加、そして世界的に実施されたデベロップメント事業の20.7%増加を意味する。

#### FIS女性リードスポーツプログラム-第2エディション

FISはFIS女性リードスポーツプログラムを通じて、スポーツリーダーシップにおけるジェンダー平等の推進のために取り組みを続ける。現在本プログラムは2回目に突入しており、各所属組織において女性が素晴らしいリーダーシップを執る役割を担うことができるよう、準備と要請を行うよう設定されている。

本コースは受賞歴のあるオリンピックコーチ兼トレーナーのGabriela Mueller氏の主導のもと、2025年6月11日から7月12日にかけて毎週水曜日のオンラインで実施される。20年に渡る経験のもと、スポーツガバナンスの全てのレベルにおいて包括性のある未来を築く手助けとなる、リーダーシップにおける存在感および効率性の向上について、Muller氏が参加者を指導する予定である。

\*\*\*

#### FIS各種委員会

### 6. 各技術委員会からの提案および要請

#### 6.1. アルペン委員会

FIS理事会は、脛当てに関するルールについて、14票の賛成、6票の反対、そして1票の棄権のもと承認した。

FIS理事会はヨーロッパカップのライブストリーミングに関する財政支援の要請を除く、アルペン委員会からのその他の提案事項を承認した。

#### 6.2. ノルディック委員会

FIS理事会は提案事項を承認した。

#### 6.3. スノーボード、フリースタイル、フリースキー委員会

FIS理事会は下記の修正とともに、提案事項を全会一致で承認した。

スキークロスセクション、7201.5.1 :

競技会場でのドローン使用の承認がジュリーの決定の場合、決勝戦では、全てのヒートのドローンによるフッターは7404に関する決定のためジュリーが閲覧できる必要があり、レース終了後には全てのチームに対して共有されなければならない。

#### 6.4. パラスノースポーツ委員会

FIS理事会は提案事項を承認した。

## 6.6. テレマーク委員会

FIS理事会は提案事項を承認した。

## 6.7. スピードスキー委員会

FIS理事会はカレンダーを含む種目に関する明確な計画を委員会が提出する制限のもと、提案事項を承認した。

## 6.8. グラススキー委員会

FIS理事会は提案事項を承認した。

## 6.9. マスターズ小委員会

FIS理事会は提案事項を承認した。

\*\*\*

### FIS総会 2025-修正済みの各国スキー連盟からの提案事項(追加項目)

Eliasch会長はFIS理事会に対し、FIS総会2025へ提出される予定の各国スキー連盟からの提案事項の修正を知らせた。

FIS理事会は修正された提案事項について承認した。

\*\*\*

## 7. アルペンワールドカップ小委員会委員長の任命

Walter Vogel氏の退任に伴い、アルペンワールドカップ小委員会の新委員長を指名する必要がある。

オーストリアスキー連盟よりHerbert Mandl氏が、フィンランドスキー連盟よりJanne Leskinen氏が推薦された。

*無記名投票が実施され、投票結果は2025年6月12日の会議終了時に公開された。*

Janne Leskinen氏が12票を獲得し、アルペンワールドカップ小委員会の委員長に当選した。

\*\*\*

## 8. 各技術委員会における交代申請

クロスカンントリーワールドカップ・コンチネンタルカップ小委員会

Walter Reusser 氏(SUI) からRafael Ratti 氏(SUI)へ交代

ユースアンドチルドレン問題小委員会

Marco Isenschmid 氏(SUI) からGion-Antieni Maissen 氏(SUI)へ交代

アルペン委員会執行部

Karin Stolt Halversson (SWE) からStefan Dahlsten氏(SWE) へ交代

アルペン委員会

Kenneth Bøggild氏 (DEN) からThomas Jacobsen氏(DEN)へ交代

アルペンシチズンレーサー小委員会

Kenneth Bøggild氏(DEN)からThomas Jacobsen氏(DEN)へ交代

アルペンユースアンドチルドレン問題小委員会

Kenneth Bøggild氏(DEN)からThomas Jacobsen氏(DEN)へ交代

PR&マスメディア委員会

Karin Stolt Halversson氏(SWE)からFrippe Stenberg氏(SWE)へ交代

FIS理事会は上記のFIS各技術委員会委員の交代について承認した。

加えて、FIS理事会はTomi Trbovc氏のPR&マスメディア委員会委員長への指名について承認した。

\* \* \*

FIS主要大会

## 9. FIS世界選手権大会

### 9.1 FIS世界選手権大会に関する報告

- 2026年FISスキーフライング世界選手権大会 Oberstdorf (ドイツ)  
2026年1月23~25日
- 2027年FISアルペンスキー世界選手権大会 Crans-Montana (スイス)  
2027年2月1日~14日
- 2027年FISノルディックスキー世界選手権大会 Falun (スウェーデン)  
2027年2月17日~28日
- 2027年FISスノーボード・フリースタイル・フリー スキー世界選手権大会  
Montafon (オーストリア)  
2027年3月7日~20日

- 2027年FISパラアルペンスキー世界選手権大会 Tignes (フランス)  
2027年3月7日～19日
- 2028年FISスキーフライング世界選手権大会 Planica (スロベニア)  
2028年3月24日～26日
- 2029年FISアルペンスキー世界選手権大会 Narvik (ノルウェー)  
日程未定
- 2029年FISノルディックスキー世界選手権大会 Lahti (フィンランド)  
日程未定
- 2029年FISスノーボード・フリースタイル・フリー スキー世界選手権大会 張  
家口 (中国)  
2029年1月28日～2月11日
- 2031年FISアルペンスキー世界選手権大会 Val Gardena (イタリア)  
日程未定

2025年, 2026年, 2027年, および2029年のFIS世界選手権大会およびFISパラ世界選手権大会の報告は[リンク](#)から閲覧可能となっている。

\*\*\*

## 9.2 今後のFIS世界選手権大会開催の立候補

ドイツスキー連盟がFinsterauを開催地とし、2027年1月21～23日または2027年2月17日～21日の日程にて2027年FISパラクロスカントリー世界選手権大会の組織を申し出た。

FIS理事会はドイツスキー連盟の立候補を承認した。

\*\*\*

## 10. FISジュニア世界選手権大会

### 10.1 報告

- 2026年FISノルディックジュニア世界選手権大会, Trondheim (ノルウェー)
- 2026年FISアルペンジュニア世界選手権大会, Narvik (ノルウェー)

FISジュニア世界選手権大会に関する更新済み報告書は附則10にて閲覧可能となっている。

\*\*\*

### 10.2 今後のFISジュニア世界選手権大会開催の立候補

- カナダスキー&スノーボード協会がCalgaryを開催地とし、2026年2月23日～3月7日にFISスキーパーク&パイプジュニア世界選手権大会の組織を申し出た。
- ラトビアスキー連盟がMadonaを開催地とし、2025年FISローラースキージュニア世界選手権大会の組織を申し出た。

- スイススキーがAiroloを開催地とし、2026年FISエアリアル&モーグルジュニア世界選手権大会の組織を申し出た。
- スウェーデンスキー連盟がÅreおよびSkiStaを開催地とし、2027年モーグル&スキークロスジュニア世界選手権大会の組織を申し出た。

FIS理事会は上記の立候補を承認した。

#### 特記事項：

FISジュニア世界選手権大会の開会セレモニーについては原則、開催国出身のFIS理事が可能な限りFISを代表して出席することが想定される。

\*\*\*

その他の国際組織

### **11. 国際オリンピック委員会/オリンピック冬季競技大会**

#### 11.1. ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック

更新情報は[リンク](#)から閲覧可能となっている。

\*\*\*

財務

### **12. 財政支援の要請**

いくつかの技術委員会がFIS理事会に対し、2025/2026シーズンにおける役員およびジャッジ等のための講座およびセミナー活動のための財政支援の要請を提出した。

該当のFIS技術委員会から提出された財政支援の要請は附則12にて閲覧可能となっている。

FIS理事会は財政支援の要請を承認した。

\*\*\*

### **13. 2025年分配金**

分配金の概要は附属13にて閲覧可能となっている。

FIS理事会は2025年分配金を確認した。

\*\*\*

FIS部門報告

### **14. FISインテグリティ**

インテグリティ部門からの報告は附属14にて閲覧可能となっている。

FIS理事会は報告を承認した。

\*\*\*

## 15. FISデベロップメント

FISデベロップメント部門からの報告は附属15aにて閲覧可能となっている。FISプラスおよびFISスタートプログラムの概要は附属15bにて閲覧可能となっている。

FIS理事会はFISデベロップメント部門からの報告をFISプラスプログラムの概要に関する詳細な情報提供を依頼のうえ、確認した。

\*\*\*

## 16. パートナーシップおよびスポンサー広告契約

報告は別紙16にて閲覧可能となっている。

FIS理事会は概要について確認した。

\*\*\*

ガバナンスおよび倫理

## 17. FIS理事会および執行委員会規則

修正されたFIS理事会および執行委員会規則が2025年5月21日にFIS理事会へ提出された。

各国スキー連盟による執行委員会の廃止案がFIS総会で承認される場合、該当の規則は修正される。

\*\*\*

大会組織

## 18. FISワールドカップ

### 18.1. 2025/2026シーズンカレンダーの承認

2025/2026シーズンカレンダーは下記の附属にて閲覧可能となっている。

18.1.1 アルペンスキーワールドカップカレンダー

18.1.2 ノルディックワールドカップカレンダー

18.1.3 スノーボード、フリースタイル、フリースキーワールドカップカレンダー

Schonach(ドイツ)で開催予定のノルディックコンバインドのワールドカップ開催日程の調整が検討された。

FIS理事会は上記カレンダーを1件の棄権を含み、承認した。

\*\*\*

## 19. 役員任命

### 19.1. ジュリーメンバーの任命承認

2024年11月8日に開催された理事会にて、FIS理事会はFIS世界選手権大会およびその他の主要大会のジュリーメンバーを任命した。各位技術委員会は2025年春季会議での内容をもとに何名かのジュリーメンバーおよび競技役員を提出した。

FIS技術委員会後に更新されたリストは附属19にて閲覧可能となっている。

### 19.2. 世界選手権大会組織委員会における主要技術役員承認

2024年11月8日の理事会にて、FIS理事会は大会/レース役員責任者、コース/ジャンプ台役員責任者、および主要技術役員を承認した。各技組織委員会は各FIS大会マネジメントからの確認を受けたいくつかの役割の新規提案を行った(新規提案は太字で記載されている)

FIS技術委員会後の更新が反映されたリストは附属19にて閲覧可能となっている。

FIS理事会は更新されたジュリーメンバーおよび主要技術役員の任命について承認した。

\*\*\*

国際スキー総会

## 21. FIS総会への推薦

- a) Eliasch会長はFIS総会2025に関してEdward Gardiner を公証人として任命した。また、Quest所属の Andrew Smith 氏と Susan Gueho 氏を審査役として指名した。
- b) パラアスリートフォーカスグループはDani Aravich氏をFIS理事会パラアスリート代表として任命した。
- c) Eliasch会長はQuest の Head of Sports を務める人物を独立倫理・コンプライアンス担当として任命した。この任期は 2025 年 6 月 1 日から 2027 年 5 月 31 日までの 2 年間である。

FIS理事会は、FIS総会への上記の任命について承認した。

\*\*\*

## 22. 2026年および2027年FIS総会の日程

2026年第57回国際スキー総会は2026年6月10日および11日にBelgrad(セルビア共和国)にて開催予定である。

オンライン開催予定の2027年第58回国際スキー総会の日程は、会計年度期日の変更の提案を検討する秋季FIS理事会にて決定する予定である。

\*\*\*

## 23. 2028年FIS総会の開催地および日程

2028年第59回国際スキー総会の開催地および日程はFISスタッフチームによる精査を実施の後、秋季FIS理事会にて承認される予定である。

\*\*\*

## 24. 今後のFIS理事会

- 2025年9月24日、Zurich(スイス)-FIS秋季技術委員会と並行
- 2025年10月21日、オンライン開催
- 2026年4月8日、オンライン開催
- 2026年6月10日、Belgrade(セルビア共和国)-2026年FIS総会と並行

\*\*\*

各国スキー連盟

## 20. ライセンス変更の申請

### 20.1. 承認済み申請

下記のライセンス変更の申請が規制に基づき提出された：

#### クロスカントリースキー

- Peter Hinds 氏、アメリカからスロバキアへ変更
- Rufus Hinks 氏、アメリカからイギリスへ変更
- Guillaume Hoel Grand Clement 氏、フランスからスイスへ変更
- Nicolas Claveau Laviolette 氏、カナダからベネズエラへ変更
- Anders Linseisen 氏、アメリカからカナダへ変更
- Selma Nevin 氏、ノルウェーからアメリカへ変更
- Anna Pryce 氏、カナダからイギリスへ変更
- Wilhelm Louis Sjaafjell 氏、ノルウェーからドイツへ変更
- Sondre Holaas Soedring 氏、ノルウェーからデンマークへ変更
- Charlie Williams 氏、カナダからイギリスへ変更
- Dmitry Zhuravlev 氏、ロシアからポルトガルへ変更

#### スキージャンプ

- Zakhir Dzahafarov 氏、ロシアからアゼルバイジャンへ変更
- Hugo Weigl 氏、ハンガリーからドイツへ変更
- Louis Obersteiner 氏、オーストリアからフランスへ変更

## アルペンスキー

- Vivaan Alleyne 氏、アメリカからトリニダード・トバゴへ変更
- Casper Bartels 氏、オーストリアからオランダへ変更
- George Brown 氏、イギリスからアイルランドへ変更
- Sara Buzdugan 氏、カナダからルーマニアへ変更
- Giovanna Cacciolato 氏、イタリアからブラジルへ変更
- Matteo Ciarlitti 氏、イタリアからポーランドへ変更
- Semir Dautir 氏、イタリアからアルバニアへ変更
- Aymane Hassouf 氏、フランスからモロッコへ変更
- Hanna Hintz 氏、スイスからドイツへ変更
- Lana Hrgic 氏、オーストリアからクロアチアへ変更
- Tommy Lochmann 氏、イタリアからチェコへ変更
- Simon Lochmann 氏、イタリアからチェコへ変更
- Declan O'Driscoll 氏、アメリカからアイルランドへ変更
- Jamison Olesky 氏、アメリカからポーランドへ変更
- Christian Oliveira Soevik 氏、ノルウェーからブラジルへ変更
- Soneva Scott 氏、イギリスからアイルランドへ変更
- Eva Maria Svidonova 氏、スロバキアからチェコへ変更
- Winston Tang 氏、アメリカからギニアビサウへ変更
- Pietro Tranchina 氏、イタリアからモロッコへ変更
- Julien Turone 氏、アメリカからジャマイカへ変更
- Thomas Weir 氏、スイスから南アフリカへ変更
- Cheon Wowkonowicz 氏、フランスからブータンへ変更
- William Zurbay 氏、アメリカからアイルランドへ変更

## フリースタイル/フリースキー/スキークロス

- George Cavanagh 氏、アメリカ合衆国からアイルランドへ変更
- Benjamin Lynch 氏、カナダからアイルランドへ変更
- Tyler Nicholls-Stubbington 氏、イギリスからアイルランドへ変更
- Avery Krumme 氏、カナダからアメリカ合衆国へ変更

- Mateo Raclos 氏、フランスからチリへ変更
- Persson Lenna 氏、アメリカ合衆国からニュージーランドへ変更
- On Orgeldinger 氏、アメリカ合衆国からドイツへ変更
- Charlie Roberts 氏、カナダからドイツへ変更
- Jeremy Boiston 氏、フランスからイギリスへ変更
- Bogale Giddings 氏、アメリカ合衆国からエチオピアへ変更
- Anja Barugh 氏、ニュージーランドからアイルランドへ変更

#### スノーボード

- Max Vardy 氏、オーストラリアからイギリスへ変更
- Alexander Phillip Schwab 氏、アメリカ合衆国からギリシャへ変更
- Daria Belova 氏、ロシアからオーストリアへ変更
- Lena Müller 氏、スイスからドイツへ変更
- Daniel Krajewski 氏、アメリカ合衆国からブラジルへ変更
- Patrick Burgener 氏、スイスからブラジルへ変更
- Elena Kulikov 氏、ロシアからウズベキスタンへ変更
- Dmitry Sarsembayev 氏、ロシアからウズベキスタンへ変更
- Milena Sarsembayev 氏、ロシアからウズベキスタンへ変更

#### パラ冬季競技

- Sophie Teboul 氏、フランスからスペインへ変更

#### スピードスキー

- Bora Umur 氏、スイスからトルコへ変更

#### マスターズ

- Maxim Derevyankin 氏、ロシアからイスラエルへ変更
- Pierre Stiemsbert 氏、フランスからスイスへ変更

FIS理事会は上記のライセンス変更の申請を承認した。

\*\*\*

## 20.2. 書類の提出が必要となる申請

下記のライセンス変更の申請は書類の提出が引き続き必要な状態で受領された：

### クロスカントリースキー

- Quinn O'Shea氏、カナダからアイルランドへ変更 — パスポート申請中

### アルペンスキー

- Thomas Burgschwaiger氏、オーストリアからチェコへ変更 — パスポート申請中
- Sebastian Tuma氏、スイスからチェコへ変更 — パスポート申請中
- Connor Verseveld氏、オランダからアイルランドへ変更 — パスポート申請中

### パラ冬季競技

- Mike Minor氏、アメリカからフィンランドへ変更 — パスポート申請中

\*\*\*

FIS理事会は上記のライセンス変更の申請を確認した。これらの申請は提出待ちの書類を受領した場合のみ、秋季理事会での承認のため再提出される予定である。

\*\*\*

## 20.3. 議論が必要となる申請

下記の変更申請は様々な理由から議論が必要となる：

### アルペンスキー

- Adriana Jelinkova氏、チェコからオランダへ変更 — 2年間の居住要件不足；ライセンス変更は2回目
- Piera Hudson氏、ニュージーランドからアラブ首長国連邦へ変更 — UAEでの居住証明なし、提示されたのは2023～2033年有効のIDのみ
- Anastasia Papatomas氏、キプロスからアゼルバイジャンへ変更 — 2年間の居住証明が明らかに偽造
- Arturo Severi氏、イタリアからアルバニアへ変更 — パスポートなし；曾祖母がアルバニア出身（1907年生まれ）
- Nathan Tchibozo氏、トーゴからベナンへ変更 — リリースレターなし；リリースレターなしでの例外は「1年間の不出場」（ICR 203.5.1）の場合に限る；フランス→トーゴに続く2度目の国籍変更申請

### パラ冬季競技

- Carina Edlinger氏、オーストリアからチェコへ変更 — 2年間の居住要件不足  
例外の可能性あり（ICR 203.5.3に基づく）。Integrity UnitのSarah Fusseckが確認：新しい国で少なくとも2年間公式に居住していることを証明する必要あり

\*\*\*

FIS理事会は上記のライセンス変更の申請を承認しなかった。

\*\*\*

2025年6月12日開催のFIS理事会は19:45に閉会された。

\*\*\*

Eliasch会長は2025年6月13日10:30にFIS理事会第2部を開催した。

## 18.2 2025/2026および2026/2027シーズンの賞金

FIS理事会は2025/2026シーズンの賞金に関する異なる枠組みについて議論を行い、10%を

FISによる保証、残りの10%を組織委員会の任意20%の賞金の増額を行うことに賛成した。

2026/2027シーズンの賞金については秋季理事会にて議論を行う予定である。

\* \* \*

Eliasch会長は12:10にFIS理事会第2部を閉会した。

\* \* \*

Oberhofen, 2025年6月13日

Michel Vion  
事務局長

## Annex 6.1. Proposals from the Alpine Committees

### 附属書 6.1 アルペン委員会からの提案

アルペン委員会は、以下の提案を FIS 理事会の承認に付します。

#### 理事会

理事会は ICR 第 3.5.2.4 条より、レベル 0 およびレベル 1 の全てのレースでエアバッグの使用を 2025/2026 シーズンの 2025 年 10 月 15 日より義務付けることを再確認した。

Vilamoura(POR)での技術会議後、一部の国々からレベル 1 へのエアバッグ義務化に関する懸念が示された。そのため、FIS の技術担当者が状況を再分析し、FIS 理事会に対して以下を提案する。

理事会は ICR 第 3.5.2.4 条を再確認し、2025/26 シーズン 2025 年 10 月 15 日開始よりレベル 0 および 1 (ただし、Nor-Am Cup、Far East Cup、ジュニア世界選手権は義務ではなく強く推奨とする) の全てのレースにおいてエアバッグの使用を義務付ける。

\*\*\*

#### 競技用具委員会

##### カーボン製の脛シェル

以下の条項をアルペン競技用具仕様に追加することを提案する。

##### 3.5.4 脛当て

ブーツ内に装着する脛当てとして、追加の硬質部品を使用することは認められない。医療上の理由により保護パッドが必要な場合、FIS が承認することが出来るが、そのパッドはジェルやフォーム等の軟質素材で作られ、全方向に柔軟であること。また、脚の形状に合わせた整形（湾曲）形状であってはならず、その大きさはスキーツーツのタングの高さおよび幅を超えてはならない。

アルペン委員会は、カーボン製の脛シェルをブーツの内外を問わず使用することを禁止すると確認し、この禁止については ICR 第 222 条およびその各項を参照する。

\*\*\*

#### アルペン競技者分類小委員会

##### カテゴリーアダー

##### 4.5 カテゴリーアダーおよび最小値と最大値

カテゴリーアダーの最小値と最大値は、有効な各 FIS ポイントリスト（1 ページ目）に掲載する。

#### Women & Men

| ADDER |         |         |         |         |         |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| Disc. | Level 0 | Level 1 | Level 2 | Level 3 | Level 4 |
| DH    | 0       | 0       | 80      | 80      | 80      |
| SL    | 0       | 0       | 80      | 80      | 80      |
| GS    | 0       | 0       | 80      | 80      | 80      |
| SG    | 0       | 0       | 80      | 80      | 80      |

## 技術系種目の3レース結果平均

### 4.2.1 ベース FIS ポイントリスト (BL)

ベース FIS ポイントリスト (BL) は、6月中旬に FIS ウェブサイト上のスケジュールに従って公表される。

4.2.1.1 前シーズンにおける各種目の最良2成績の平均を BL リストの算出に用いる。内容は次のとおり。

スラロームおよびジャイアントスラローム：ベスト3リザルト

ダウンヒル、スーパーG、アルペンコンバインド：ベスト2リザルト

4.2.1.2 前シーズン期間中に、スラロームまたはジャイアントスラロームでのリザルトが3戦未満、またはダウンヒル、スーパーG、アルペンコンバインドでのリザルトが2戦未満しか結果を得ていない競技者については、以下の調整を適応する。

スラロームとジャイアントスラローム2戦：2戦の結果を平均算出し、その平均に20%のペナルティを加算する。スラロームとジャイアントスラローム1戦：単一の結果に20%のペナルティを加算し、その新しい値にさらに20%のペナルティを加算する。

例：単一結果48.00 → 48.00に20%加算=57.60 → 57.60に20%加算=69.12

ダウンヒルとスーパーGとアルペンコンバインド1戦：単一の結果に20%のペナルティを加算する。

4.2.1.3 (…)

### 4.2.2 通常 FIS ポイントリスト (NL)

リスト第1号は7月1日に BL に基づいて公表される。その他のリストは FIS ウェブサイトに掲載されるスケジュールに従い公表される。

4.2.2.1 現行期間において有効な BL ポイントを有する競技者については、各種目のベストリザルトの平均を、その算出値が BL より良い場合に限り NL に反映する。内容は次のとおり。

スラローム、ジャイアントスラローム：リザルトの良い方から3レース分の平均

ダウンヒル、スーパーG、アルペンコンバインド：リザルトの良い方から2レースの平均

#### 4.2.2.2BL ポイントなし

現行期間において BL ポイントを持たない競技者の NL ポイントは、4.2.2.1 に定める算定方法に従って算出される。また、当該競技者のリザルトには20%のペナルティを加える。

#### 4.2.2.3 必要リザルト数未満の場合と BL ポイント

現行期間において、競技者が当該種目で有効な BL ポイントを有し、スラロームまたはジャイアントスラロームのリザルトが1つまたは2つのみ、またはダウンヒル、スーパーG、アルペンコンバインドのリザルトが1つのみである場合には、その BL ポイントは引き続き有効のままとし、NL ポイントの算定に用いる。

\*\*\*

## アルペン規則小委員会

### 電子計時

#### 611.2.1 電子計時

国際大会、FIS ワールドカップ、FIS 大陸別カップ、および FIS 大会では、時刻表示方式で動作し、同期済みかつ電氣的に分離された2系統の計時システムを使用しなければならない。競技開始前に、一方をシステム A (主計時)、もう一方をシステム B (バックアップ) として指定する。例外として、パラレル競技のレベル2、3、4ではシステム B は必須ではない。時刻は公認要件に従い計時機器の最大精度で、直ちに自動的かつ順次にプリント記録しなければならない

(レベル 3 および 4 では電子保存でも可)。最終リザルトは、各滑走についてフィニッシュ時刻からスタート時刻を差し引いて算出する。算出したコース上のネットタイムは、少数第 2 位 (1/100=0.01) まで切り捨てて表示する。最終リザルトに用いる時刻はすべてシステム A のものでなければならない。システム A に故障が生じた場合は、ICR 第 611.3.2.1 条の順に従いシステム B から算出したネットタイムを使用する。ネットタイム算出の目的で、システム A の代わりにシステム B の時刻を置き換えて用いることは許されない。すべての競技において、システム A は対応するスタートゲート接点に接続し、システム B は別の電氣的に分離されたスタートゲート接点に個別に接続しなければならない。配線方法、配線の詳細説明および図、スタートゲートの設置に関する詳細は FIS Timing Booklet を参照すること。計時機器および技術設備は、可能な限り競技者への危険を回避できるように設置または保護されなければならない。計時システムの同期は、その日の第 1 走の予定スタート時刻にできるだけ近い時刻で実施をしなければならない。すべてのシステムは各走の開始から終了まで同期を維持し、当該走の途中で再同期してはならない。

## 計時主任

### 612.4 計時主任

計時主任は計時の正確性に責任を持ち、可能な限りレース直前および直後にスターターと時計を同期させる。計時主任は (掲示板等) で非公認記録をできるだけ速やかに公表しなければならない。電子計時に故障が生じた場合、計時主任は直ちにスタート審判および TD に連絡し、データブックレットに定める様式で電子計時相当タイム (EET) 報告書を作成しなければならない。審判団 (Jury) はこれを確認し、承認しなければならない。当該報告書は関係国の代表者に提示することができる。

## 競技者が停止した場合の継続禁止

### 614.2.3 競技者が停止した場合の継続禁止

もし競技者のスキーが完全に停止した場合、それ以前または以後のゲートを通して競技を継続してはならない。もしスキーが完全停止に至っていない場合でも、次の競技者の滑走を妨げたり、次の競技者に追い越されてはならない。

## 3 本レースの 2 本目および 3 本目のスタート順

### 621.12 3 本レースの 2 本目および 3 本目のスタート順

#### 621.12.1 3 本レースの 2 本目のスタート順

621.12.1.1 3 本レースでは 2 本目のスタート順は原則として 1 本目のリザルト順とする。ただし、上位 30 名を除く。

#### 621.12.1.2 上位 30 名のスタート順は次のとおり :

- 1 本目リザルト 30 位 → 1 番スタート
- 1 本目リザルト 29 位 → 2 番スタート
- 1 本目リザルト 28 位 → 3 番スタート
- 1 本目リザルト 27 位 → 4 番スタート
- 1 本目リザルト 1 位 → 30 番スタート

31 位以降は 1 本目のリザルト順。30 位が複数いる場合は、スタート番号の小さい者が先にスタートする。

#### 621.12.2 3 本目のスタート順

621.12.2.1 3 本レースでは、3 本目のスタート順は 1 本目および 2 本目のリザルト順とする。ただし、上位 30 名を除く。

#### 621.12.2.2 上位 30 名のスタート順は次のとおり :

- 3 本目用のリザルトリスト 30 位 → 1 番スタート
- 3 本目用のリザルトリスト 29 位 → 2 番スタート
- 3 本目用のリザルトリスト 28 位 → 3 番スタート
- 3 本目用のリザルトリスト 27 位 → 4 番スタート
- 3 本目用のリザルトリスト 1 位 → 30 番スタート

31 位以降は 1 本目および 2 本目のリザルト順。30 位が複数いる場合は、スタート

- 番号の小さい者が先にスタートする。
- 621.12.3 FIS レース（全レベル）における 2 本目および 3 本目のスタート順  
審判団（Jury）は 1 本目のスタート 1 時間前までに、反転スタート順（リバース）  
を 1 本目の上位 15 名までに限定するかどうかを決定できる。
- 621.12.4 2 本目と 3 本目のスタートリストは適切な時期に作成し、チームおよび役員に配  
布しなければならない。
- 621.13 2 重エントリー

#### 妨害が成立する条件

- 623.2 妨害が成立する条件
- 623.2.1 役員、観客、動物その他の障害物による滑走ラインの阻害
- 623.2.2 転倒した競技者が速やかにコースをクリアしないことによる滑走ラインの阻害。
- 623.2.3 競技者自身により折れた、または外れたポールによる滑走ラインの阻害（レベル  
1、2、3、4）。

#### 3 本スラローム

- 803.2.2 3 本スラローム  
3 本滑走でのスラロームでは、各走において以下のコンビネーションのうち少なく  
とも 2 つを含めなければならない：パーティカル コンビネーション、ヘアピン  
コンビネーションまたは、ディレイゲート コンビネーション。

#### 文言の明確化

- 602.4.2 競技の中止または延期は、適用される期限を遵守のうえ、直ちに TD および FIS に  
通知しなければならない。延期の場合は常に、必ず新たな開催日を設定しなけれ  
ばならず、そうではない場合は当該協議は中止とみなされる。中止および延期は  
常に FIS のウェブサイトに表示される。
- 613.4 スタート合図  
~~スタートの 10 秒前、スターターは各競技者に「10seconds (10 秒)」と告げる。5 秒  
前にはスターターは、「5、4、3、2、1」とカウントし、その後スタート合図  
「Go-Partez-Los」を出す（スラロームについては ICR 第 611.2.1.3 条）。スターター  
は競技者にスタートクロックを見えるようにする。~~  
可能であれば、自動音声信号付きのスタートクロックを使用すること（ICR 第  
611.2.1.3 条）。スターターは競技者がスタートクロックを視認できるようにする。  
スタートクロックを使用しない場合は、スタートの 10 秒前にスターターは各競技  
者に「10seconds(10 秒)」と告げ、スタートの 5 秒前には「5、4、3、2、1」とカウ  
ントし、その後スタート合図として「Go-Partez-Los」を出す（スラロームについ  
ては ICR 第 805.3 条参照）。
- 615.1.5 ~~滑走を終えた競技者のために、フィニッシュエリアとは区別された特別エリアを  
設けるものとする。このエリアまたは通路ではメディア通路に配置された報道関  
係者（新聞・ラジオ・テレビおよび映画）と接触できるようにする。レースを終  
えた競技者のために実際のフィニッシュから分離された専用エリアを設けなけれ  
ばならない。このエリアでは、報道関係者（新聞・ラジオ・テレビ・映画）は配  
置されるメディア通路内で、取材対応が可能でなければならない。~~

\*\*\*

#### アルペン ワールドカップ 小委員会

##### 費用支払い期間

- 4.2.2 費用支払いの対象期間  
費用の支払い対象期間および到着・出発の取り扱いは ICR 第 4.1.2 条に記載の競技

者に関する規定に準拠しなければならない。この期間中におけるチームごとのシングルルームの割り当ては、次の表のとおりとする：

- オフィシャル（チーム役員）1～3名：シングルルーム 1 室
- オフィシャル 4～6名：シングルルーム 3 室
- オフィシャル 7名以上：シングルルーム 5 室また競技者数が奇数 (3名以上) の場合、チームは追加のシングルルーム 1 室を割り当てられる権利を有する。

#### ワイルドカード

小委員会は、Marcel Hirscher(NED)が、2024/25 シーズンの負傷により行使できなかったワイルドカード（ICR 第 3.2.1 条）残り 17 回のスタート権を使用できるよう FIS 理事会に求める。

\*\*\*

#### ヨーロッパカップ小委員会

##### ヨーロッパカップ上位 45 名の競技者

3.1.2 カップポイントの有効性 (\*EC/NAC)  
カップの最終戦順位は、次のシーズンにおいて ICR 第 3.1.3 条で定める有効性を持つレース結果として使用される。1 位=100 点、30 位=1 点とし、この順位に基づきシーズン最初のレースにおける上位 30 名 (EC では 45 名) の競技者を決定する。最初のレースにおいてその基本リストに記載されている 30 名 (EC では 45 名) の競技者が不在の場合は、その欠員は前シーズンの当該種目の最終順位を用いて補充される。各種目で初戦以降に獲得したカップポイントは、基本リストに加算され、新たな順位づけに用いられる。

3.2 最初のグループの後 (\*EC/NAC)  
最初のグループの後、競技者は ICR 第 3.2.1 条（450/200 カップポイント）に従って登録され、その後にワールドカップ・スターティングリスト（WCSL）の上位 30 位以内にランクされ、当日出場している競技者が続く。次に当該カップ種目の順位に基づき、15 名 (EC では 30 名) の競技者がスタートするが、すでに上記 2 つのグループに含まれている者は除かれる。最後に 450 ポイントを保持する競技者を含め、当該カップ種目の順位に基づく 30 名 (EC では 45 名) が対象となる。アルペンコンバインドにおいて、最初の 30 名の競技者がカップポイントまたはアルペンコンバインドの FIS ポイントを持っていない場合には当該アルペンコンバインドで実施される種目に応じて、DH または SG のポイントに基づいて競技者が選ばれる。同じ手順がスタート番号 30 以降でアルペンコンバインドの FIS ポイントを持たない競技者にも適応される。

##### EC 競技者の負傷ステータス

###### EC.3.1.3 カップポイントの有効性

最終 ECSL（European Cup Starting List）は次のシーズンにおいて ICR 第 3.1.4 条で定められた有効性をもって使用され、これがシーズン最初のレースに有効なランキングとなる。その後の各種目において、最初のレースから獲得したカップポイントは前シーズンから残存している ECSL ポイントに追加される。~~負傷のため 10 月 15 日から 4 月 15 日までの期間にいくらかのレースにも出場してない競技者については、翌シーズンの ECSL における負傷ステータスの承認を各国スキー連盟が申請することが出来る。申請書は遅くとも 4 月 30 日までに提出しなければならない。負傷ステータスが承認された場合は、競技者が負傷者としてのステータスを FIS アルペンポイント規則（4.6.1 および 4.6.1.1）に基づいて承認された場合、その競技者は負傷時点または最後にスタートしたレース時点で保持していたランキングで翌シーズンの当該種目の ECSL に加えられる。~~

##### ヨーロッパカップファイナル

###### EC.4.4 ヨーロッパカップファイナル

#### EC.4.4.1 ~~クワーター~~

各国は、自国の有効なナショナルクワーター（ICR 第 2.2 条）で参加できる。~~DH、SG、AC（また GS と SL）が同一イベント内で行われる場合、DH、SG、AC のうち当該国より高いクワーターをその 3 種目（または 2 種目）のすべてに適用する。~~

#### EC.4.4.12 資格

~~art.2.1 に従う基本クワーターの条件は引き続き有効である。ナショナルクワーターにおける追加の競技者は当該種目のヨーロッパカップ ランキングにおいて、上位 45 位以内にランクされている全ての競技者~~ヨーロッパカップファイナルへの出場資格を有する。繰り上げや代替えは認められない。ダウンヒルおよびスーパーG が同一大会で実施される場合には、ダウンヒルおよびスーパーG のいずれかに出場資格を有する競技者は両種目に出場することができる。さらに、当該シーズンにおけるスペシャルグループ（450EC ポイント保持競技者）に属するすべての競技者は出場資格を持つ。また、最初のチームキャプテンズミーティング以前における現行 WCSL 上位 30 名の競技者も当該種目に出場できる。なお、この最後のグループ（WCSL 上位 30 名）はファイナル出場資格となる上位 45 名の算定には含めない。

第 3.2.2 条（大陸カップ優勝者）はヨーロッパカップには適応されない。

#### EC.4.4.23 EC ファイナルのスタート順

##### GS/SL :

第 1 グループ 1~15 は（1~7）と（8~15）の 2 グループに分け、スタート番号はそれぞれのグループ内でダブルドロー方式により抽選する。

第 1 グループの後、以下の順序でスタートする

- (1) 当該シーズンの 450 EC ポイントの保持者
- (2) 当該レースに適用される WCSL の上位 30 名その他の競技者は EC 種目順位リストに従ってスタートをする。EC ポイントを持っていない競技者は FIS ポイント順で最後尾からスタートする。

##### DH/SG/AC :

第 1 グループおよびスペシャルグループ（当該シーズンに 450EC ポイント以上を有する競技者）は、1~30 の範囲からスタート番号を選択できる。最初のチームキャプテンズミーティング前時点の現行 WCSL 上位 30 位以内にいる出場競技者については、残っている 1~30 の番号を第 1 グループ/スペシャルグループを除いて、WCSL 上位 30 位以内の競技者同士で抽選する。その他の競技者は EC 種目順位リストに従ってスタートし、EC ポイントを保持していない競技者は FIS ポイント順で最後尾からスタートする。~~アルペンコンバインドにおいて、最初の 30 名（スタート順）の競技者が EC ポイントを有していない場合はアルペンコンバインドで実施される種目に応じてスーパーG（またはダウンヒル）の EC ポイントを用いる。~~

#### EC.4.4.34 主催国

主催国のナショナルスキー連盟は、追加で 5 名の競技者をエントリーできる。追加競技者は DH/SL/GS/SG のうち少なくとも 1 種目で FIS ポイントリストのトップ 500 位に入っていないなければならない。SL/GS については、ICR 第 2.2 条で定める通常の EC クワーターに加え条件 4.4.2 を満たさない最大 5 名の追加登録が可能。DH/SG については、通常の EC クワーターに関する同一基準が適用される（4.4.2 を満たす必要がある）が、~~自国クワーターの範囲内（最大 10 名）で、4.4.2 を満たさない追加登録が可能。この場合、DH と SG の内、より高いクワーターを適用する。~~

#### トレーニング/レース禁止

EC.6.1 ヨーロッパカップコースでのトレーニングまたはレース公式トレーニングの開始、または最初の競技実施日の 3 日前から連続する 3 日間は種目やコースを問わず、ヨーロッパカップのコースでのトレーニングおよびレースを行ってはならない。この規則に違反した場合は、当該競技者は失格またはスタートを認めない措置が取られる。

### ライブ配信の財政支援

アルペン委員会は、ヨーロッパカップ小委員会からライブ配信の実施に充てる資金として技術系種目については CHF 3,000-、スピード系種目については CHF 5,000-の支援を FIS 理事会に要請する旨の提案を受領した。

\* \* \*

Oberhofen 12.05.2025

## Annex 6.2 Proposals Nordic Committees

FISクロスカントリー委員会はFIS理事会の承認を得るため以下の提案を提出する：

### ワールドカップルール

FISワールドカップ勝者の表彰を個人戦においては、上位6名まで拡大する。

上位6名まで表彰することでいくつかの明確な利点が見られる：

- ・ 認知度の向上：表彰を受ける選手が増えることで国の代表性が向上し多様なストーリーが生まれる。
- ・ 選手モチベーションと認知：表彰を受ける栄誉を6名まで拡大することで、一貫した高いレベルのパフォーマンスが生まれ、若い選手やトップレベルを目指す選手を含めてすべての競技者にさらなるインセンティブ（励み）が生まれる。
- ・ 観客とのより良いつながり：表彰台で多様な国のより多くの選手を際立たせることでイベントとメディアの両面でファンとの感情的なつながりが強くなる。
- ・ スポーツとしてのプロモーション（広報活動）：この認識は各国スキー連盟がその力（才能）を披露し、スポンサーの表示を増やし、より多くの選手とその国の長期的な支援するのに役立つ。

2024/25 ワールドカップ表彰台国数

|                         |       | Women | Men |
|-------------------------|-------|-------|-----|
| <b>Nations in Top 3</b> | 上位3か国 | 7     | 10  |
| <b>Nations in Top 6</b> | 上位6か国 | 10    | 12  |

FISクロスカントリーディレクター、ミハエル・ランプロットのコメント：

FISワールドカップは、2025/26シーズンに優勝者表彰式でその拡大を試す可能性がある。評価と最終決定は2026春のFIS理事会で下される。

レース後のテレビ放映時間が不要に長くならないように実際の運用は効率的に管理される。

## クロスカントリーワールドカップ、ツールドスキーの新しいフォーマット

### 定義

来シーズンのFISツールドスキー3ステージにおいて、それぞれ1回適用される。

- ・ショートマススタートー5Km
- ・周回の距離（未定）ー5km×1 2.5km×2
- ・全ての選手は異なるヒートに割り当てられる。
- ・各ヒートはマススタート競技で異なるスタート時間となる。
- ・前のヒートがフィニッシュすると次のヒートが始まる。
- ・選手は4つのマススタートヒートに割り当てられる。
- ・その割り当てはFISツールドスキーの総合順位によって行われる。

FISクロスカントリーディレクター、ミハエル・ランプロットのコメント：

この提案はワールドカップ・コンチネンタル委員会とクロスカントリー委員会から全会一致で支持されました。技術的な詳細は、2025夏のチューリッヒで開催されるFIS秋季会議で発表され、精緻化される予定である。

\*\*\*

FFローラースキーAS社のクロスカントリースキーポールのストラップ

FFローラースキーAS社は、クロスカントリースキー用の安全ストラップ使用承認を提出した。このストラップはスキーポールの上部に固定する金属製のリングとゴム製バンドで構成されている。これにより選手のポールコントロールが向上し、後方で滑走する際の怪我也も軽減される。クロスカントリー委員会のメンバーはこのシステムを承認した。

### 国際競技規則（ICR）

**302.1.3.1** 主催者はそのすべてのメンバーを任命する、すべてのオリンピック冬季競技大会（OWG・YOG）および世界スキー選手権大会（WSC・JWSC）において以下の主な競技役員は、FIS理事会にその承認のため提出されなければならない。

- ー 競技委員長
- ー 副競技委員長
- ー 競技セクレタリー
- ー コース係長
- ー スタジアム責任者
- ー コースデザイナー

コースデザイナーの氏名は各競技割当後の最初の会議時にルール&コントロール小委員会に提出され、承認される必要がある。

**314.7.1** **デザイン**

ビブは背面と前面から完全に判読できる必要がある。サイズ、形状、取り付け方法変更できない。主催者は実用的なビブを準備する責任がある。スプリント、パシュートスタート、マススタートの競技で使用するビブには両脇の下に番号を付ける必要がある。これは他の競技でも可能である。

**316.3.6** フォトフィニッシュカメラ

写真判定は、最初のブーツのつま先がフィニッシュラインに到達した時点で

行われます。写真判定の結果は、最初に審判団にのみ通知されます。レベル0の競技では、フィニッシュ時の写真判定は必須である。

343.6 選手はスタートからフィニッシュまで、コース上の標識に従いを正しい順路で走り、全てのコントロール・ポイント（関門）を通過しなければならない。

343.6.1 ~~選手が順路を誤って滑走した場合やマークされたコースから離れた場合は、間違いを起こした地点まで戻る必要がある。戻るために逆走する場合、他の選手への妨害や、他の選手を危険に晒すことがないことを完全に守らなければならない。~~

**変更注意**

コースミスを行った競技者は、ミスを行った地点に戻ることでミスを修正することができます。その場合、競技者は他の競技者に迷惑をかけず、障害物がないことを確認する責任を負う。

343.12.5 ロングディスタンスやスキーアスロン競技において、ピット・ボックス（スキー交換ボックス）が設置されている場合、選手はピット・ボックス内でのスキー交換が許可される。交換は他の支援なしで割り当てられたボックス内で選手が行う。スキー交換の数は、最大1回に限られる。交換用のスキーは競技前にピット・ボックスに収納される、ただしジュリーによって別途指示された場合は除く。

352.2.3 同一シーズン中に書面戒告を2度受けた選手は、自動的に失格となる。シーズン中に受けた書面戒告は、JWSC,U23WSC,WSC,ROLJWSC,ROLWSCとOWGの開催期間中は有効とならない。

JWSC,U23WSC,WSC,ROLJWSC,ROLWSCとOWG大会中に受けた書面戒告はそのシーズン終了まで有効である

### 352.7.2

制裁金は、以下を適用すべきである：

- ・ 広告やコマーシャル・マーキング・ルール違反
- ・ 軽微なコース内のルール違反
- ・ ICR第343.5条 **および第314.7.1条**  
に該当する違反・スキーテストやウォームアップ時の制約違反
- ・ スキーテストおよびウォーミングアップの制限違反
- ・ 用具検査（イクイップメント・コントロール）でスキー板の持ち込みが最大5分遅れた場合（最低250スイスフラン）

・ エントリー遅れ

#### 注意

ジュリーはレイトエントリーを受け付けるかどうか（ICR第313.3条）、または受け付けないのか（ICR第303.3.2条）を決定しなければならない。さらにジュリーがレイトエントリーを受け付けた場合、制裁金を科すことができる。

### 362.1.4.3

ICR第362.1.3および**第224.1.3**、に従って提出された上訴は、公式リザルトリストの公表後、48時間以内に提出されなければならない

### 396.3.1

次の競技フォーマットと推奨距離を用いて競技会はクラシカルとフリーどちらの走法でも実施することができる

| <u>Competition Type</u><br><u>競技タイプ</u><br>Competition format | <u>Competition Length (km)</u><br><u>競技距離</u><br>Competition distance (km) | <u>Nominal Course Length (km)</u><br><u>公式使用コースの距離</u><br>Course length (km)  |
|---|--|---|
| <u>Distance</u><br><u>距離競技</u><br>Individual Start            | <u>5 to 20</u><br>2.5, 3.3, 3.75, 5, 7.5,<br>10, 15, 30, 50                | <u>2.5, 3.3, 3.75, 4.0, 5.0, 6.6,</u><br><u>7.5, 10.0, 15.0</u><br>2.5, 3.3, 3.75, 5, 7.5,<br>8.3, 10, 12.5, 15, 16.7 |
|   | <u>Greater than 20</u><br><u>20km以上</u>                                    | <u>5 km and greater</u><br><u>5kmかそれ以上</u>  |
| Mass Start  | 10, 15, 30, 50   | 2.5, 3.3, 3.75, 5, 7.5,<br>8.3, 10, 12.5, 16.7  |
| Popular Roller Ski  | No limit   | No limit  |
| Skiathlon   | 5+5, 7.5+7.5, 10+10,<br>15+15  | 2.5, 3.3, 3.75, 5, 7.5, 10  |
| Pursuit (2 <sup>nd</sup> part)                                | 5, 7.5, 10, 15   | 2.5, 3.3, 3.75, 5, 7.5, 10  |

|  |  |   |
|--|--|---|
| Relay  | <u>10 and less per team member</u><br><u>チームメンバー1人当たり</u><br><u>10km以内</u><br>2.5, 3.3, 5, 7.5, 10 | <u>2.5, 3.3, 3.75, 5.0, 7.5, 10.0</u><br><br>2.5, 3.3, 3.75, 5    |
| Teams with 3 or 4 athletes, can have mixed genders   |  |   |
| <u>Individual and Team Sprint</u><br><u>個人および</u><br><u>チームスプリント</u><br><u>Individual Sprint</u> | 0.2 – 1.8  | 0.2 – 1.8 ( <u>not more than 2 laps</u> )<br>( <u>周回2週を超えない</u> ) |

### 396.4.4

Recommended course norms:

| <b>MASS START, SKIATHLON</b>                    |   |   |
|---|---|---|
| <b>Course</b>                                   |   |   |
| Width of course (minimum)<br>コース幅 (最低値)         | 4 m   | 6 m   |
| <b>Start</b>                                    |   |   |
| Organisation/preparation                        | Arrow <u>or flat</u><br>start grid<br>矢型 <u>または</u><br><u>水平型</u> スタートライン | Arrow <u>or flat</u><br>start grid<br>矢型 <u>または水平</u><br><u>型</u> スタートライン |
| Width of start area (minimum)<br>スタートエリア幅 (最低値) | 5 m   | 6 m   |

これまで準々決勝および準々決勝中の競技行為に対する抗議は決勝後に提出可能とされていた以下の条項については、特別な議論が行われました。選手代表を含む関係者全員の共通の理解と要望は、この条項を以下のように変更することでした。

### 325.6.2

決勝ラウンドは連続的に競技が進行し時間的制約もあるため、準々決勝、および準決勝中の抗議は受理しない。抗議は決勝中の後のみ受理する

\*\*\*

## ワールドカップルール

### 2.1.1 基本的なエントリー条件

出場枠は、各競技者が有効な FIS コード番号を持ち、それぞれの FIS クロスカントリー ワールドカップ競技に有効な-FIS ポイント リストで得点しているという条件である。有効です。

スプリントワールドカップ：  
各ワールドカップで有効なFISポイントリスト（距離またはスプリント）のFISポイントが150ポイント以下であること

ディスタンスワールドカップ：  
各ワールドカップに有効なFISポイントリストに記載されている150ディスタンスFISポイント以下。

### 2.1.2 OWG（オリンピック）出場資格に関する例外

ミラノ・コルティナ2026オリンピックの出場資格制度に基づき、基本枠を持たない各国オリンピック委員会の選手は、以下の条件でクロスカントリーワールドカップ2025/26 第1ピリオドに出場できる。

・選手は、当該ワールドカップで有効なFISポイントリスト（距離またはスプリント）において、800FISポイント以下である必要がある。

・選手は、OWG基本枠の上限（男子は300 FISポイント以下、女子は330FISポイント以下の個人競技で1回）に達するまで、ワールドカップ第1ピリオドのすべての個人競技に参加できる。

・選手がOWGの基本枠を達成した場合、当該ワールドカップ週末に開催される他の個人競技に参加できる。

・選手がOWGの基本枠を達成した場合、ワールドカップの一般エントリー要件（2.1.1）を満たしている場合に限り、別のワールドカップ週末に参加できる。

### 2.1.3 その他の例外

例外的な状況（バイアスロン、ノルディック複合の上位選手、妊娠・負傷からの復帰選手、発展途上国選手など）の場合、ワールドカップの出場要件を満たさなかった選手の出場が認められる場合がある。

該当する各国スキー連盟（NSA）は、大会開催の1週間前までに書面でFISノルディックオフィスに申請する必要がある。FISレースディレクターがすべての事項を考慮の上、決定を下し、OCとジュリーに通知する。

### 2.2.4 国別団体出場枠

FISクロスカントリーワールドカップ レークプラシッド大会（米国）について

米国とカナダは、レークプラシッド（米国）で開催されるFISクロスカントリーワールドカップにおいて、国別団体出場枠を使用する権利を有する。

### 2.4 チーム戦出場枠

各国は2チームをエントリーできる。混合チーム（異なる国同士の混合チーム）は、すべてのスキー連盟で認められる。

ワールドカップのチーム戦出場に関する一般的な要件は、2.1.1のとおりである。  
~~すべての選手は有効なFISコード番号を持ち、有効なFISポイントリスト（2.1.1参照）にポイントを加算されている必要があります。~~

- ・リレー：各ワールドカップで有効なFISポイントリストに記載されている ディスタンスFISポイントが150ポイント以下であること
- ・チームスプリント：各ワールドカップで有効なFISポイントリスト（ディスタンスまたはスプリント）に記載されているFISポイントが150ポイント以下であること

### 2.6.1 ビブの数

各チームには、ネイションズカップ2023/24のランキングに応じて、コース別とチーム別の2種類のビブスが配布される。割り当ては以下のとおりである。

| Rank Nations Cup 2023/24 | Course        | Team   |
|--------------------------|---------------|--|
| 1 – 20                   | 4             | 4 <sup>2</sup> plus s <sup>2</sup> Staff quota <u>-4</u> |
| Other NSAs ranked        | 2             | plus s <sup>2</sup> Staff quota <u>-2</u>                |
| Not ranked               | Decided by RD | plus s <sup>1</sup> Staff quota <u>-1</u>                |
| National Group           |               | plus 8 <sup>2</sup> staff quota <u>10</u>                |

他国のビブの使用は認められない。ビブに記された国コードと同じ国の認定を受けている必要がある。SRSビブスはSRS加盟企業のみが使用できる。チームとの提携は認められない。

### 3.3 FISネイションズカップ

男女混合リレーおよびチームスプリント（男女）については、上記と同じルールとポイント付与システムが適用されます。

選手およびチームは、大会の順位に応じてポイントを獲得する。

混合（ネイションズ）チームは、FISネイションズカップではポイントを獲得できない。 ポイントは両国に比例して加算される。

### 5.1.3 宿泊料金

本条件は、チーム（定員あり）、SRSメンバー（認定インダストリーサービススタッフ）、およびFISエントリーシステムに基づくサービスプロバイダーに適用される。

- ・宿泊料金は、ワールドカップ開催時に提示される現地公式宿泊料金を上回ることはできない。また、宿泊料金の上限は、1人あたり税込み125スイスフランとする。
- ・チームが3つ星レベルに達しない宿泊施設、または自炊設備付きの

宿泊施設を承諾または要請する場合、宿泊料金は現地価格に応じて減額される。

- 各NSAは、男女それぞれ1室、合計2室のシングルルームを追加料金なしで利用できる。その他のシングルルームは現地価格で請求される。

#### 6.1 ネーションサポート

主催者は、国別および性別ごとに追加割り当て（係数）国別支援金を支払うものとし、支援金の算出は、~~シーズン全体にわたって固定され、前シーズンのチームカップランキングに基づきます。次の表に従って~~

下表に記載されているクォータ係数の全額を受け取るには、チームはそれぞれの人数量の選手でクォータを埋める必要があります。つまり、

- 会場に出場する選手数（RGD/COC選手を除く）がネーションサポートの最大クォータ係数以上の場合、チームは最大クォータを受け取ります。
- 会場に出場する選手数（RGD/COC選手を除く）がネーションサポートの最大クォータ係数に満たない場合、チームは会場に出場する選手数のみを受け取ります。
- または

割り当て係数は、現地で支払われる選手の数量を反映します。割り当て係数が現地の選手の数量よりも大きい場合、最大係数ではなく、性別ごとの有効な選手数に対して支払われます。

| Rank<br>Team Cup per<br>gender | Quota factor (F) 1<br>for events with<br>Distance or Sprint races | Quota factor (F) 2<br>for events with<br>Distance and Sprint races |
|--------------------------------|---|--|
| 1 - 3                          | 2.5   | 4  |
| 4 - 6                          | 2   | 3  |
| 7 - 9                          | 1.5   | 2.5  |
| 10 - 12                        | 1   | 1.5  |
| 13 - 20                        | 0.5   | 1  |
| 21 - 30                        | 0,25  | 0,5  |

## 7 チームとサービス施設

### 7-1 ワックス施設

すべての FIS ワールドカップ大会では、ワックストラックエリアで到着するチームのために、各チームにワックス キャビンまたは駐車スペースと電源を提供する権利が与えられる。

ワックスキャビンのサイズは、国の割当量（第2.2.1条）および以下の表に基づいて決定および計算されます。

| Nation's Quotas                 | Number of containers                                    | Approx. size in m <sup>2</sup> |
|---------------------------------|---|--------------------------------|
| <del>112</del><br>11            | 3   | 45 m <sup>2</sup>              |
| <del>0810 - 101</del><br>8 - 10 | 2   | 30 m <sup>2</sup>              |
| 5 - <del>79</del><br>5 - 7      | 1   | 15 m <sup>2</sup>              |
| All others                      | 3m <sup>2</sup> per athlete<br>(max. 15m <sup>2</sup> ) |                                |

- ワックス キャビンの割り当ては、イベント前に FIS スタッフに送信して承認を得る必要があります。
- ~~国が参加枠を達成しなかった場合、組織委員会は（FIS スタッフの承認を得て）割り当てられるコンテナ数または面積を減らすことができます。参加選手のレベルも考慮される。~~
- 開催国には、自国グループの選手用の追加スペースを要求する権利がある。
- 各国で利用可能なコンテナの標準サイズは異なるため、ワックスキャビンのサイズはこれらのコンテナのサイズによって決まる。

チームがより多くの収容人数を必要とする場合、NSA は最初の競技の 8 週間前までに FISS エントリー システム (予備エントリー フォーム) を通じて追加のキャビンを注文する必要がある。

- 追加コンテナ (□□□ m<sup>2</sup>) の料金は□□□□□ スイスフランとする (期間に関係なく)。
- 追加注文されたコンテナがキャンセルされ、OC によって再割り当てできない場合は、最初に注文したチームがコンテナの代金を支払う必要がある。
- 追加注文されたコンテナがキャンセルされ、OC によって別のチームに再割り当てできる場合、最初に注文したチームはコンテナの代金を支払う必要はありません。
- 組織委員会 (OC) と開催国 (NSA) 双方の費用負担を軽減するため、発展途上国にワックスサービスを提供することも可能である。

この場合、組織委員会は（FISスタッフの承認を得て）関係選手に対し、保管スペースと更衣スペースのみを提供する。

\*\*\*

## ローラースキーワールドカップ／世界選手権ルール

1.2.2 FISローラースキーワールドカップのカレンダーは、FISローラースキー小委員会が各国スキー連盟と緊密に連携し、2年前から計画する。ただし、FISローラースキー小委員会は、イベントの質を保証するために、会場を変更する権利を有する。小委員会の会合期間中は、FISローラースキー小委員会委員長が必要な変更を行う権限を有する。

1.2.3 ステージイベントが開催される場合は、シーズンごとに1つのステージのみが許可され、それは最後のワールドカップイベントでなければならない。

1.2.4 FIS ROL WC出場者は、出場申請時に暫定レースプログラムを申告することができる。FIS ROL WC各ステージの最終競技プログラムは、OCとFISローラースキー小委員会の緊密な協力のもと決定されます。

1.2.3 FISローラースキー世界選手権の組織

1.3.3.1 FIS ローラースキー世界選手権は2年ごとに開催される必要があります。

1.3.3.2 FISローラースキージュニア世界選手権（ROL JWSC）は毎年開催されるべきである。

1.3.3.3 原則として、FIS ローラースキー世界選手権は、できれば9月FIS ROL WC シーズンの後半9月に開催されるよう計画されるべきである。

1.2.3.4 FISジュニア世界ローラースキー選手権とFISローラースキー世界選手権のプログラムは、以下の競技で構成される。

| Competition format              | FIS Junior World Roller Ski Championship | FIS Roller Ski World Championship |
|---------------------------------|--|-----------------------------------|
| Interval start                  | 10km                                     | 15km                              |
| Mass start (or Skiathlon)       | 20km                                     | 20km                              |
| Super Sprint (or normal Sprint) | 200m or 800-1200m                        | 200m or 800-1200m                 |
| Team Relay (or Team Sprint)     | 3 x 5km<br>2 x 3 x 800-1800m             | 3 x 5km<br>2 x 3 x 800-1800m      |

1.3.5 男子選手と女子選手は同じ距離で競技する。  
~~第1.2.4条の変更は、2025年7月1日からROL WC、JWRSC、WRSCの大会に適用される。~~

~~FISローラースキー世界選手権大会のうち、少なくとも1大会はクラシックススタイルで開催する必要がある。~~

1.3.6 FIS ROL WSC大会の結果は、FIS ROL WC個人総合順位とネイション

ズカップ順位に反映される。

~~1.2.5 FIS ROL WC出場者は、出場申請時に暫定レースプログラムを申告することができます。FIS ROL WC各ステージの最終競技プログラムは、OCとFIS ローラースキー小委員会の緊密な協力のもと決定される。~~

1.3.7 FIS ROL WSCでの無料宿泊

1.3.7.1 FIS加盟各国スキー連盟からは、下記の制限に従って出場資格を得た選手がいない場合でも男子選手1名と女子選手1名が出場できる。

1.3.7.2 男子、女子ともに、FISクロスカントリーポイント75点以上の成績を少なくとも1回達成した選手（最初の大会前の12か月間）

1.3.7.3 各WSC大会に参加する出場資格を有する選手の無料宿泊は、大会ごとに4泊までとなる。無料宿泊（フルボード付き）の最大宿泊数は、選手権大会の全期間を超えることはできない。無料宿泊（フルボード付き）は出場資格を有する選手のみ適用され、譲渡することはできない。

## 2. 距離とテクニック

**2.1** FISローラースキーワールドカップは、原則としてフリーテクニックとクラシカルスキーテクニックの両方で開催される。各WC ROLイベントのレース競技形式は、カレンダー策定時にFISローラースキー小委員会によって確認される。

**2.2** FISローラースキー世界選手権大会の少なくとも1つはクラシカルスタイルで開催されなければならない。

**3.5** チームスプリント

**3.1** チームスプリントの規則はICRクロスカントリーの326条を参照してください。

## 4 FISローラースキーワールドカップ優勝者

**4.1** FISローラースキーワールドカップ総合優勝者  
FISローラースキーワールドカップ総合優勝者は、それぞれのWC **ROL**シーズン中に、男子および女子においてワールドカップポイント （距離競技およびスプリント競技の両方） を最も多く獲得した選手となります。

**4.2** FISローラースキー スプリント ワールド カップの優勝者は、すべての個人スプリント競技の最終スコアでワールドカップ スプリント ポイントを最も多く獲得した男女の競技者となります（スプリント資格のボーナス ポイントを含む）。

#### 4.1

##### タイブレーカー

最終結果において2名以上の競技者が同点となった場合、以下の条件を満たした競技者が勝者となります。

- a) 個人戦の勝利数が最も多い
  - b) 最も成績が良い（例：2位、3位など）
  - b)c) **スプリントワールドカップで同点となった場合、スプリント決勝の順位から最も成績が良いものを評価する。**
- それでも同点の場合は、2つ（またはそれ以上）のワールドカップが授与されます。

\*\*\*

#### FISスキージャンプ委員会からの提案

FISスキージャンプ委員会は、FIS理事会の承認を求め以下の提案を提出する。

##### 新たな競技形式の導入（テスト段階-2025サマー）

スキージャンプでは、観客の注目を集める新しいより速いコンセプトに競技形式を進化させる可能性を探る。

FISサマーグランプリ2025の前半（クーシュヴェルとヴィスワ）では、イベントの第2試合で新しい競技形式がテストされる。

主な情報は以下の通り。

- 手数 - 男子50名、第1試合の上位50名が翌日に出場する。女子40名、第1試合の上位40名が翌日に出場する。
- 注意：これは現行のワールドカップのルールにおける選手数である。
- 選手は前日の順位に基づき、5名ずつのグループに分かれてシードされる。
- 各グループの上位2名が決勝ラウンドに進出する。
- 直接進出できなかった男子上位5名/女子上位4名は、「ラッキールーザー」として決勝ラウンドに進出する。
- 決勝ラウンドでは、全選手が0ポイントからスタートする。

##### スーツのチップングに関する新しい手順

スーツのチップングは、各選手の立ち会いのもと、スーツの事前チェック後に実施されなければならない。スーツのチップングは、特定のスーツコントロールを受けた後にのみ行うことができる。

##### ジャンプスーツ数の削減

昨年 of 良好な経験を受け、以下の通り、ジャンプスーツ数の更なる削減を提案する。

- スーツは、選手が特定の期間／シーズンに参加する場合にのみマークされる。
- 夏季シーズンにつき、選手1人につきスーツ2着にマークすることが許可される。
- ワールドカップ初出場につき、選手1人につきスーツ2着にマークすることが許可される。
- エンゲルベルク・ワールドカップ開催時に、選手1人につきもう1着のスーツをマークすることが許可される。
- 男子はスキーフライングワールドカップ・オーバーストドルフ／女子はワールドカップ・フィラハ又はリュブノ大会開催前に、選手1人につきもう1着のスーツをマークすることが許可される。
- OWGに参加しない選手1人につき、ワールドカップ最終シーズン／パートにもう1着のスーツをマークすることが許可される。
- OWGに参加する選手1人につき、もう2着のスーツをマークすることが許可される。

- 最大スーツ数: 8

## 使用

- ワールドカップおよびグランプリ大会では、1競技会につき1着、1ピリオドにつき2着の使用が許可される。破損した場合のスーツ交換に関する具体的な手順については、今後数週間以内に提供される。
- OWGごとに2着の使用が許可され、競技日ごとに1着ずつ。

## スキャナーによる3Dボディ測定

選手の再測定は、2025/2026シーズン開始時からボディスキャナーを用いて実施される。

ワールドカップ出場選手は、夏季シーズン中にバルディフィエメ（2026年オリンピックのテストイベント）とクリンゲンタールで再測定される。

その他の選手の再測定は、用品コントローラーが定める測定スケジュールに従って実施される。測定には、少なくとも2名のFIS用品コントローラーが参加する。

## ワールドカップルール男子

### 4.5 競技形式（名称未定）

決勝ラウンドでは、1本目の参加者数を5人以下のグループで比較し20人に減らし、合計得点が最も高かった5人（ベストルーザー）を加えて合計25人まで絞り込む。追加される5人は、全グループにわたり予選落ちした選手の中で上位5人（ラッキールーザー）。

4.5.1 選手は前回大会の結果に従いエントリーされ、最大50名が出場する。スタート順は前回大会の順位に基づき「スネーク・フォーマット」で決定される。

1本目では、ジャンパーのグループが次のように編成される。

グループ1：50位、31位、30位、11位、10位の選手を含む。

グループ2：49位、32位、29位、12位、9位の選手を含む。

グループ3：48位、33位、28位、13位、8位の選手を含む。

グループ4：47位、34位、27位、14位、7位の選手を含む。

グループ5：46位、35位、26位、15位、6位の選手を含む。

グループ6：45位、36位、25位、16位、5位の選手を含む。

グループ7：44位、37位、24位、17位、4位の選手を含む。

グループ8：43位、38位、23位、18位、3位の選手を含む。

グループ9：42位、39位、22位、19位、2位の選手を含む。

グループ10：41位、40位、21位、20位、1位の選手を含む。

4.5.2 1本目は5人ずつ10グループに分かれて行われ、合計50名の選手が選抜される。そのため、複数の選手が同順位で最下位または転倒により合計得点が低すぎるが最長距離でも、選抜数を増やすことはできない。

選手が50名未満の場合は、一部のグループに5名未満が参加する可能性がある。これらのグループも、同じ予選システムが適用される。

公平性を尊重し、明確な判定を行うため、以下の規則が遵守される：

4.5.2.1. 前回大会で2名以上のジャンパーが同じ合計得点を獲得した場合、スタート番号が大きい選手が上位にランクされる（ICR第433.4条参照）。

4.5.2.2 グループ内比較の結果、各グループで合計得点の高い2名のジャンパーが決勝ラウンドに進出する。3名以上のジャンパーが同点の場合は、スタート番号の小さいジャンパーが決勝ラウンドに進出する。

4.5.2.3 1本目を通過した20名の選手が決勝ラウンドに参加する（各グループの上位2名）。さらに、敗退した選手のうち、合計得点が最も高かった5名が決勝ラウンドに参加する。合計25名。

例外的に勝者が少ない場合は、敗退した選手の人数が増員される。また、2本目の参加者数は、最後の予選通過者と同点の選手、または最長飛距離の95%（第4.2.1.7条）に到達したものの転倒した選手によって増員される場合もある（ウインド/ゲート補正が適用される場合は、補正された距離が基準となる）。

4.5.2.4 決勝ラウンドのスタート順は、1本目の合計得点の逆順で決定される。合計得点と同じ場合は、スタート番号の大きい選手が先にジャンプする。

決勝ラウンドでは、全選手が0ポイントからスタートする。最終順位は、それまでの成績に関わらず、決勝ラウンドでのパフォーマンスのみによって決定される。

決勝ラウンドが中止となった場合は、1本目終了後の成績が最終成績となる。

## ワールドカップルール女子

### 4.10 新競技形式（名称未定）

決勝ラウンドでは、1本目の参加者数を5人以下のグループで比較し16人に減らし、合計得点が最も高かった5人（ベストルーザー）を加えて合計20人まで絞り込む。追加される4人は、全グループにわたり予選落ちした選手の中で上位4人（ラッキールーザー）。

4.10.1 選手は前回大会の結果に従いエントリーされ、最大40名が出場する。スタート順は前回大会の順位に基づき「スネーク・フォーマット」で決定される。

1本目では、ジャンパーのグループが次のように編成される。

グループ1：40位、25位、24位、9位、8位の選手を含む。

グループ2：39位、26位、23位、10位、7位の選手を含む。

グループ3：38位、27位、22位、11位、6位の選手を含む。

グループ4：37位、28位、21位、12位、5位の選手を含む。

グループ5：36位、29位、20位、13位、4位の選手を含む。

グループ6：35位、30位、19位、14位、3位の選手を含む。

グループ7：34位、31位、18位、15位、2位の選手を含む。

グループ8：33位、32位、17位、16位、1位の選手を含む。

4.10.2.1 1本目は5人ずつ8グループに分かれて行われ、合計40名の選手が選抜される。そのため、複数の選手が同順位で最下位または転倒により合計得点が低すぎるが最長距離でも、選抜数を増やすことはできない。

選手が40名未満の場合は、一部のグループに5名未満が参加する場合がある。これらのグループも、同じ予選システムが適用される。

公平性を尊重し、明確な判定を行うため、以下の規則が遵守される：

4.10.2.2 前回大会で2名以上のジャンパーが同じ合計得点を獲得した場合、スタート番号が大きい選手が上位にランクされる（ICR第433.4条参照）。

4.10.2.3 グループ内比較の結果、各グループで合計得点の高い2名のジャンパーが決勝ラウンドに進出する。3名以上のジャンパーが同点の場合は、スタート番号の小さいジャンパーが決勝ラウンドに進出する。

4.10.2.4 1本目を通過した16名の選手が決勝ラウンドに参加する（各グループの上位2名）。さらに、敗退した選手のうち、合計得点が最も高かった4名が決勝ラウンドに参加する。合計20名。

例外的に勝者が少ない場合は、敗退した選手の人数が増員される。また、2本目の参加者数は、最後の予選通過者と同点の選手、または最長飛距離の95%（第4.2.3条）に到達したものの転倒した選手によって増員される場合もある（ウインド/ゲート補正が適用される場合は、補正された距離が基準となる）。

4.10.2.5 決勝ラウンドのスタート順は、1本目の合計得点の逆順で決定される。合計得点と同じ場合は、スタート番号の大きい選手が先にジャンプする。

決勝ラウンドでは、全選手が0ポイントからスタートする。最終順位は、それまでの成績に関わらず、決勝ラウンドでのパフォーマンスのみによって決定される。

決勝ラウンドが中止となった場合は、1本目終了後の成績が最終成績となる。

#### 4.5 ワールドカップファイナル

ワールドカップシーズン最終戦（NHLH）は、その場にいる現ワールドカップ総合スタンディング上位30位までの選手が個人最終戦に参加できるが、1か国最大6人とする。ホスト国が上位30位以内に4人未満の場合、合計4人までエントリーする権利を有する。スタート順は、ファイナル大会前の個人総合WCランキングに従う。

2025/26ワールドカップスキーフライングファイナルプラニツァ大会

現在のワールドカップ総合順位の上位15名の選手がプラニツァのWCSFファイナルに参加が認められる。選手の交代は認められない。

#### 4.9 ワールドカップスキーフライング女子

ワールドカップスキーフライング大会は、ワールドカップスキージャンプルール及びICR454条に従い開催されなければならない。

ワールドカップスキーフライングは、現在のワールドカップ総合スタンディングの上位2530名の選手が予選ラウンドにスタートできる。20名が1本目に進め、上位15選手のみファイナルラウンドに進める。

選手は、最初の公式練習日までに18歳に達していなければならない。

選手の交代は認められない。

#### 5.2 FISワールドカップトロフィー

- ワールドカップスキージャンプ女子総合優勝者には、ビッグワールドカップトロフィーが与えられる。このトロフィーはFISが用意する。
- ワールドカップスキーフライング女子総合（すべての個人スキーフライング大会が含まれる）優勝者には、スモールワールドカップトロフィーが与えられる。このトロフィーはFISが用意する。

#### 5.3 FISワールドカップメダル

- FISワールドカップスキージャンプの上位3選手に、FISワールドカップメダルが与えられる。
- FISワールドカップスキーフライングの上位3選手に、FISワールドカップメダルが与えられる。

### 国際競技規則（ICR）

#### 405 競技役員 の 任命、費用支払い、保険

##### 405.1 任命

JWSCでは、

- 技術代表
- アシスタント技術代表2名
- 飛距離判定係長
- 飛型審判員5名

### 413. スキーフライングヒル

スキーフライングヒルには、特別規則が適用される。新設又は既存のスキーフライングヒルの改修は、計画図面がFISにより承認されてからでなくては着手できない。以下の制限と要件が満たされなければならない。

- $h : n$ が最低0.60でなければならない。
- $V_0$ の最大値は30 m/sとする。
- テークオフ台の先端とランディングエリア終点 (=U点, =半径 $r_2$ 終点) との間の高低差はUから開始して~~135m~~140m以下でなければならない、U の接線角最大5度まで移行曲線または半径を増やしても良い。
- 着地斜面上のK点での幅(bk)は0.18w以上でなければならない。
- 半径 $r_2$ の終点かつU点のアウトランの始点の幅 (bu) は0.20w以上でなければならない。

テークオフプラットフォーム先端の他、ランディングエリアのガードレール外側の両側に、K点の正確な雪上プロフィールの高さ・HSの距離・U点を表示しなければならない。この表示はコンクリート素材で固定されていなければならない。これらの表示はジャンプ台公認証のマークと一致し且つ反映されていなければならない。

### 414.4 公認手数料と報酬

検証のために、ジャンプ台プロフィールの承認とジャンプ台及びプラスチックマットのジャンプ台の公認には、以下の手数料がかかる。

#### 414.4.1 ジャンプ台の公認手数料と報酬

- 新設、改修のジャンプ台プロフィール及びプラスチックマットのジャンプ台の承認：  
~~250~~300スイスフラン
- 建設開始前の新設、改修ジャンプ台のプロフィール検証：  
~~100~~125スイスフラン
- 最初の申請、延長、プロフィール変更後のジャンプ台公認証発行：  
~~150~~200スイスフラン

#### 414.4.2 フライング台の公認手数料と報酬

- 新設、改修のジャンプ台プロフィール承認：~~500~~625スイスフラン
- 建設開始前の新設、改修ジャンプ台のプロフィール検証：  
~~200~~250スイスフラン
- 最初の申請、延長、プロフィール変更後のジャンプ台公認証発行：  
~~300~~375スイスフラン

#### 441.7 ジャンプ後の失格

ジャンプ後の失格の根拠：

第441.5.1条 競技用品

~~第441.5.3条~~—スタートに遅れて到着

第441.5.2条 インランの長さの決定に違反した場合、又は認められていないスタートのヘルプを使った場合

第441.5.3条 スタートコントロール時間を越えた場合 または

第441.5.4条 ジャンプ台がクリアであることを知らせる合図の前にスタートした場合、又は意図的にスタートの準備を遅らせた場合

### 454.3 フォーランナー/テストスキーフライング

主催者は、各日12名の適したフォーランナーを手配する責任を有する。当該ジャンパーは公式競技に参加する者ではない、しかし、ICR第215条に準じて各自所属のナショナルスキー連

盟によりエントリーされなければならない。全員が、ジュリーが設定した競技ラウンドのスタート地点からスタート出来る能力がなければならない。すべてのフォーランナーは18歳になっていなければならない。スキーフライング競技会に初めてエントリーする選手は、フォーランナーと共にテストスキーフライングに参加することができる。テストスキーフライングはジュリーのコントロールの下組織されなければならない。試合と同じルールが競技用品ルールを含め適用される。

## 競技用品規格 (SCE)

### 1. ジャンプスキー板

#### 1.2.3 質量

スキー1本あたりの重量は、何も取り付けていない状態で、その長さに適合する最小重量を満たさなければならない（長さをcm表示した数字 = 重量をkg表示した数字：例として250cm = 2.50kg、262cm = 2.62kg）。重心のバランスをとるために使用する鉛のウェイトは考慮されない（1.2.6.2 条参照）。スキーの重量は、ビンディング（ビンディングシステム全体 - スキーウエッジ及びネジを含むフロントとバックパーツ）を含んで計測できる。この場合、スキーの重量は、重さ最低200 250gのビンディングを加えたスキーの重量（スキーの長さに一致する最低限の重量）を示さなければならない。

### 2. ジャンプスキーのビンディング

スキージャンプのセーフティビンディングは、負荷制限装置として機能する。すなわち、これらの装置は、滑走中に発生する特定の要求を許容できる限界まで伝達し、この限界を超えると、しっかりと固定していた状態からスキーをリリースする。

テークオフの補助として、あらゆる種類の外部エネルギーを生成する追加装置を禁止する。

ビンディングシステム一式は、スキージャンプブーツがスキー板に軸に沿って左右対称に固定され、滑走方向に平行に取り付けなければならない。ビンディングはスキーに平らに取り付けなければならない。ビンディングの前部（フロントパーツ）の全ての取り付けネジは、ビンディングのロックパーツの前になければならない。ジャンプブーツの前部がビンディングの前部に固定された後は、ブーツはスキーの表面に平行になるように固定されなければならない。ブーツソールのヒールウェッジの輪郭は、通常生産されている状態で、ジャンプスキーのサイドウォールをはみ出してはならない。ビンディングシステム全体、すなわち、ビンディングのスキーウエッジ及びネジを含むフロントとバックパーツの重量は最低200 250グラム。

### 4. スーツ

コントロール及び測定手順に関するFISガイドラインは、拘束力を持ちFIS競技会に参加する選手はこれに従う必要がある。同ガイドラインに違反した場合は、ICRの制裁の対象となる。

### 7. スキーグローブ

グローブは、天候や外力に対する保護カバーとして機能する。グローブの着用は全てのイベントにおいて義務である。

グローブのサイズは、手のサイズに一致していなければならない。素材の厚さは、すべての層を含めて合計5mm以下とする。

スーツの袖とグローブの重なりは5 cm以下とする。

\*\*\*

ノルディックコンバインド委員会はFIS理事会へ以下の提案を提出する。

### コンチネンタルカップシリーズに新たな競技形式を追加

オーストリアスキー連盟の提案とドイツスキー連盟の支援を受け、ノルディックコンバインド委員会は2025/26コンチネンタルカップで新たな競技形式を試験的に導入することを決定した。クロスカントリーのスプリントのように、クロスカントリーレースはスキージャンプ大会の後に行われ、選手は順位に応じてボーナスポイントを獲得しながら予選を競う。

テスト終了後、ノルディックコンバインド委員会は今後どの形式のスプリントを採用するかを決定する。

### 国際競技規則

#### 501.2.1 競技委員長

スキー世界選手権(WSC), ワールドカップ(WC), ジュニアスキー世界選手権(JWSC)では、競技委員長は有効な国際TDライセンスを保有していなければならない。

#### 525.2.16 追い越し - 追い越しのプロセス

- ・前方の選手は、最善のラインを選択する権利を有する。
- ・前方の選手は、後方から来る選手の邪魔をしてはならない。
- ・選手が並んでいる場合、互いの動きを邪魔しないという相互の義務がある。
- ・追い越しは、追い越す選手が、追い越される選手のスキー板先端より前方に体を置いている時点で完了とみなされる。
- ・上記のいずれかの違反は、失格となる可能性がある。
- ・個人戦または団体戦中に周回遅れになった選手は、要求があればすぐに道を譲らなければならない。

#### 528.2 スキー世界選手権 (WSC)

男子：

個人戦 LH

個人戦 NH

チーム/チームスプリント NH または LH

女子：

個人戦 NH

個人戦 ~~NH~~ LH

チーム/チームスプリント NH または LH

男子/女子

混合チーム NH 5km, 2.5km, 2.5km, 5km

#### ICR 547 スキーフライング競技会

#### 547.5 特別ルール

ベストジャンパートロフィーで上位~~30~~40位に入った選手は出場を許可される。

#### ICR 523.2.2 マススタート—(FIS)—

マススタート競技会 (WSC-WC) のスタート順は、現在のマススタートトロフィーカップの順位に基づく。シーズン最初のマススタートのスタート順は、前

シーズンのマススタートトロフィーの順位に基づく。 ランキングトップの選手には最初の番号が与えられる。ポイントを獲得していない選手は、スタートフィールドの最後のグループでドロースされる。

## ワールドカップルール女子

### 1.2 WCNC-W大会の指名

- 有効な公認証によりWCNC-W競技会において当該ジャンプ台~~（最大ヒルサイズNH）~~及びコースの適応性。

## 総合賞金

説明：

現在、各オーガナイザーは、開催イベント(単数)ごとに男子が2,000スイスフラン、女子が1,000スイスフランをシーズン総合賞金として拠出することが求められている。男女同額の賞金という目標を達成するため、男女で均等に配分し、イベントごと1,500スイスフラン（下記の新しい表を参照）となる。この提案は男女両方の選手代表の支持を得ており、賞金を均等にすることでスポーツ全体のイメージ向上を図り、男子の総合賞金を縮小することも承認されている。このルール変更によってオーガナイザーの費用が増加することはない。イベントごとの請求額は変更されず、利用可能な金額の再配分のみが行われる。総額の計算は、以下の予測される2025/26シーズンを例に、シーズンごとのイベント数に基づく。

ワールドカップ男子および女子 5.1.4条 総合賞金  
 現在の設定 男子および女子：

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| 金額        |     | 2000  |
| 試合数       |     | 19    |
| 合計        |     | 38000 |
| ベストジャンパー  |     | 6000  |
| ベストスキーヤー  |     | 6000  |
| ワールドカップ総合 |     | 26000 |
| 1位        | 38% | 10640 |
| 2位        | 25% | 7000  |
| 3位        | 15% | 4200  |
| 4位        | 10% | 2800  |
| 5位        | 7%  | 1960  |
| 6位        | 5%  | 1400  |

|           |     |       |
|-----------|-----|-------|
| 金額        |     | 1000  |
| 試合数       |     | 14    |
| 合計        |     | 14000 |
| ベストジャンパー  |     | 1000  |
| ベストスキーヤー  |     | 1000  |
| ワールドカップ総合 |     | 12000 |
| 1位        | 50% | 6000  |
| 2位        | 30% | 3600  |
| 3位        | 20% | 2400  |

新提案

|          |      |       |
|----------|------|-------|
| 金額       |      | 1500  |
| 試合数      |      | 22    |
| 合計       |      | 33000 |
| ベストジャンパー | 7.5% | 2475  |
| ベストスキーヤー | 7.5% | 2475  |
| 1位       | 50%  | 14025 |
| 2位       | 30%  | 8415  |
| 3位       | 20%  | 5610  |

|          |      |       |
|----------|------|-------|
| 金額       |      | 1500  |
| 試合数      |      | 18    |
| 合計       |      | 27000 |
| ベストジャンパー | 7.5% | 2025  |
| ベストスキーヤー | 7.5% | 2025  |
| 1位       | 50%  | 11475 |
| 2位       | 30%  | 6885  |
| 3位       | 20%  | 4595  |

## 別紙 6.3 SBFSFK 委員会によるプロポーザル

SBFSFK 委員会は、2025 年春に FIS 理事会の承認を得るため、以下の提案を提出する：

### 国際競技規則 (ICR)

(パーク & パイプセクション)

#### **3311.11.1 ジャッジの日当および経費の支払い**

スイスフラン/米ドル/ユーロの支払いは、最終競技日から~~15~~**20**営業日、またはジャッジが FIS/LOC に経費明細を送付後、銀行送金により電子的に支払わなければならない。

~~FIS/LOC~~は、最終競技日または各ジャッジから銀行情報を受け取ってから~~15~~**20**営業日以降の支払いとなる場合、300スイスフランの支払遅延料金が適用される。

~~30~~**35**営業日を過ぎた場合、支払いが完了するまで2回目の300スイスフランの支払い遅延料金が適用される。**45** **50**営業日を過ぎた場合、支払いが完了するまで3回目の支払い遅延料金として300スイスフランが適用される。

ジャッジから提供された銀行口座情報の誤りや紛失による遅延は、この限りではない。

ジャッジは、正確で、最新かつ完全な情報が全て含まれた銀行口座情報（正式な書式は FIS ウェブサイトに掲載）を FIS/LOC に電子的に送信する責任を負う。FIS/LOC が支払いを実行するための上記期限は、FIS/LOC に銀行口座を提出した日から有効となる。

#### **3601.4.1.1 スタート順 OWG、WSC、WC、コンチネンタルカップ、プレミアムコンチネンタルカップ、ジュニア世界選手権**

各ヒートの競技者は（フィールドサイズに応じて）3つのグループに分けられ、スタート順決定のために別々にドローを行う。グループ 1：各ヒートで 1~10 位のシードにランクされた競技者。グループ 2：各ヒートで 11~20 位のシードにランクされた競技者。グループ 3：各ヒートで 21 位より以降にランクされた競技者。

#### **3610 スタート手順とコマンド**

スタートにおいて、競技者を有利、または邪魔をする可能性のある競技役員またはスタッフがいてはならない。~~すべての外的な援助は禁止されている。~~スタートポストのプル、他者による推進力を受けたドロップイン、また同様の補助は許可される。

(フリースタイルセクション)

**4117.1.5** スタート順がコールされたら、競技者は責任を持ってスタート準備をはじめること。~~競技者はスタートの信号に従ってスタートしなければならない。競技者は、両スキーが平行でジャンプに向かって移動する、というスキーを滑るスタンスをとった時点で、スタートしたと考えられる。競技者は20秒のカウントダウンの最後の音の前に、このポジションをとらなくてはならない。~~スタート時間の終わりまでにスタートしなかった場合、自動的にコースクローズとなる。~~選手は、各ジャッジより0.5点の減点を受ける。~~

(スノーボードクロスセクション)

## 5404 レース中の妨害行為

5404.1 スノーボードクロス競技において接触は起こりうる。クロス中のすべての判断、すべての行為はいわゆる「レース中の判断」であり、意図的なものである。この意識的なレースは、妨害行為につながる可能性がある。

競技者による他の競技者に対する妨害の判断は、ジュリーによって決定される。妨害行為の疑いがある場合、ヒート直後のフィニッシュエリアにてジュリーメンバーもしくはセクションジャッジに対して、競技者またはTDがヒートのレビューを要求できる。ジュリーは判断材料としてセクションジャッジの意見、また／もしくはコーチ／スタッフから提供された映像証拠、および／もしくはテレビ制作からの「ビデオレビュー」を使用することができる。提供された証拠から、ジュリーは妨害行為または悪影響が発生しているか判断しなければならない。妨害行為は、ICRの条項5404.1および5404.2に基づいて決定される。

妨害行為に対するすべてのジュリー決定は、~~次のヒート開始前に承認されなければならない、以後抗議することはできない。~~

## 5405 制裁の即時発表／違反による失格

### 5405.1 制裁ルール 5404.1 の発表

ジュリーによって判断されたルール 5404.2 対象のすべての制裁は、次のヒートを開始する前に判断され、ジュリーは各男女別の次のラウンドまで期限を延長することができる。ジュリーは、次のヒート開始前に、関係するチームに対し期限の延長について通知しなければならない、それはフィニッシュエリアもしくは延長した場合はスタートエリアにて発表され、制裁対象または/と関与した対象の競技者、または彼らの NSA 責任者へ通達されなければならない。

制裁は、スタートとフィニッシュの公式掲示板に掲載される。すべての制裁の掲示は説明を含み、FIS 技術代表より最終レポートに記録と報告され、関係する NSA へ届けられる。

制裁理由の可能性として：

- － 手や腕による行為 (引っ張る、押す、ブロックする)
- － 側面または背後からの接触
- － ラインの逸脱

~~5405.2 5404 レース中の妨害行為に対するすべての違反は、「カードシステム」に則って次のヒートが開始される前に対象の競技者もしくは彼らのチームキャプテンにフィニッシュエリアにて公表される。制裁は、コース下部と上部の公式掲示板に掲載され、違反が発生した場所を示す。すべての判断は FIS 技術代表の TD レポートに記録されなければならない。~~

### 5801.1.3.1 チームの資格

対象となるチームは、現在のFISポイントリストで、各国2名の選手のランキングの合計（男女別、もしくはミックスイベントの場合は最上位の男子と最上位の女子）に従って並び替えられる。もし同点の場合は、ドローによってポジションを決定する。

ワールドカップ、世界選手権大会、冬季オリンピック競技大会の参加資格は、FISポイントリストではなく、ワールドカップスターティングリストによって決定される。

ワールドカップでは、実際競技に参加した選手のみが、チームの出場資格を決定する際に考慮される。全てのチーム、もしくは国がワールドカップスターティングリストに該当しない

場合、FISポイントリストが使用されるが、その場合、ワールドカップスターティングリストを使用したチームの後にシードされる。

2つ以上のチームが同点の場合、使用されているリストでチーム内の各選手のランキング上位者のいるチームが優位にシードされる。もしそれで同点の場合、チーム内のFISポイントの合計が大きい方が優位にシードされる。それでもなお同点の場合はドローにより決定する。

#### 5801.1.3.2 スターターフィールドの制限

出場枠が制限されている場合（8/16チーム）、競技者適格性リストの上位4名/8名/24名のチームは、2番目のチームが上位4/8位以内に入っている場合、他の全てのチームが参加する前に2番目のチームをエントリーする権利があり、また、3番目のチームが上位16位に含まれる場合、他のチームが2番目のチームをエントリーする前に、3番目のチームをエントリーする権利を有する。そのため上位4名/8名の競技者を有する各国チームは、競技者適格性リストから上位2チームを選択してエントリーを行える。その後全てのエントリーできる各国チームが上位1チームをエントリーする。そして、リストの上位から順に次のチームの選定を行っていき、各国すべての2位（存在する場合）のチームよりも上位にランクインしているトップ16チームのうち、最も上位の3番目のチームを選定し、必要に応じ8チーム、16チーム、もしくは24チームに達するまで行う。

冬季オリンピック競技会では特別なクォータ規則に従い、の別のルールが適用される場合がある。

#### 5801.1.3.4 予選ヒートラウンド

もしチーム数が本戦ブラケットの数を上回った場合、予選ヒート数が次に高いブラケットに必要なヒート数より少ない場合、予選ヒートラウンドを実行することができる。

#### 5801.1.3.5 予選ヒートラウンド

予選ラウンドは、17~24チームが参加した場合に実施され、決勝は16チームで構成される。

#### 予選ヒートの数

決勝出場枠の16を超えるチーム数が、予選ヒートの数を決定する。ICR 5501.2を参照。残りのチームは決勝枠の16に直接進出する。

（スノーボードアルペンセクション）

#### 6801.3 タイブレイク

2チーム以上がタイの場合は、使用されているリストリストの個人順位の高いチームが上位シードとなる。なおタイの場合は、個人のFISポイントの合計が高いチームが上位となる。まだなおタイの場合は、シーディングはドローで決定する。

#### 6801.4 出走者枠

出走者枠は、有資格チームリストから各国の最高順位のチームを最初に選び、その後、再びリストの上位から始め各国の2番目の順位のチーム（存在する場合）を選び、必要に応じ繰り返し、16/24/32チームに達するまで繰り返し下げながら決定される。WC、世界選手権、ジュニア世界選手権では1カ国につき最大3チームまでとする。

WCでは、開催国は、最大4チームまで追加枠を獲得する。開催国が追加枠を使用する場合、チームのリストはそれに応じて最後の枠で減らされる。

#### 6802 予選のチームシード

出走者枠が決定されると、チームキャプテンは任意の有資格選手をそのチームに入れることができるが、各競技者は1つのチームにのみ入れることができる。標準的なシングルランフォ

ーマットのペアリングが使用され、チームはシードリストのシードポジションに従い満たされる。

~~決勝トーナメントへのシード順位は、予選の結果を総合して決定される。男女を問わず、各チームメンバーは予選ランを1回行い、そのタイムを合計して決勝のシード順位が決定される。上位16チームの組み合わせは決勝のためのブラケットにシードされる。予選ランのコース選択は、均等になるように交互に行われる：チーム1は男子が赤、女子が青のコース、チーム2は男子が青、女子が赤のコースとなる。~~

~~予選滑走後、決勝に進出できる最後の順位（4位、8位、16位）が同点の場合も含め、決勝に進出する2つ以上のチームが同点の場合、同点は2つのうちのベストランによって解消される（競技規則6504.1.2シングル競技による）。シード順位が悪いチームが上位となる。~~

~~ワールドカップ、世界選手権、冬季オリンピックでは、ワールドカップスターティングリストがシードに使用される。ワールドカップスターティングリストにチームメンバーが1人のみ、または1人も含まれていない場合は、両方の競技者にFISポイントリストが使用されるが、これらのチームは常にワールドカップスターティングリストを使用したチームの後にシードされる。~~

~~タイは、ルール6801.3に従い決められる。~~

~~チームは、各チームがエントリーした選手のFISポイントリストにおける2つのランクの合計に基づいてシードされる。~~

## **6803 予選ヒート**

### **6803.1 予選ヒート**

**6803.1.1** 予選ヒートは17～24チームが参加する場で実施できる。

決勝枠を超えるチーム数、および予選ヒートに回さなければならないチームの数は、16を超えるチームエントリー数の2倍である。残りのチームは16チームによる決勝枠に直接進む。

20チームの時の例：8チームが予選ヒートを行わなければならない。 $2 \times (20 - 16) = 8$ 。

12チームが1/8ファイナルに直接進む。

### **6803.2 予選ラン**

**6803.2.1** 予選ランを実施することができる

決勝戦のチームのシード順は、予選ランの総合結果に基づいて決定される。各チームのメンバー、男子と女子は、同時に1回の予選ランを競い、そのタイムを合計してチームの決勝戦シード順位を決定する。上位16チームの組み合わせは、予選順位に基づいて決勝戦にシードされる。予選ランのコース選択は、コース選択の公平性を確保するため交互に行われる：チーム1は男子が赤コース、女子が青コース、チーム2は男子が青コース、女子が赤コースを走行するなど。

**6803.2.2** 最初のグループは8チームで構成され、ジュリーによって削減される可能性がある。

最初のグループには抽選が行なわれる。残りのチームは、前述の規則で説明されているシード基準の順位に従ってシードされる。

ビブ番号の配布

予選では、チームごとのビブ（チームメイトごとに同じ番号、17/17、18/18など）は、決勝ビブ番号外の最初の番号から配布される（例：17、18、...）

決勝のビブ番号は、予選/シードランキングと一致する必要がある（例：1-16、...）

### 6803.2.3 タイブレイク

決勝に進出する2つ以上のチームが、予選終了後、決勝の最終出場枠（4位、8位、16位）においてタイの場合、2つのチームの内のベストランによりタイを決する。なおタイの場合は、シード順にタイを決する。シード順が低い方のチームが上位の順位を獲得する。

### 6803.2.4 無効のリザルト順位の取り扱い（IRM）

チームメンバーの1人または両名が「スタートしなかった」（DNS）、「スタートを許可されなかった」（NPS）または「スポーツマンシップに反する行為により失格」（DQB）となった場合、そのチーム全体に「無効のリザルトマーク」（IRM）が適用される。このチームはランキング対象外となり、次のフェーズに進出できない。

DNF（途中棄権）またはDSQ（失格）となった競技者がいるチームは、他の競技者の有効な走行タイムに基づいて順位づけされるが、これは2つの有効な走行タイムを有するすべてのチームが順位づけされた後にのみ行われる。

競技者全員が有効な走行タイムを記録していないチーム（両者がDNFまたはDSQのいずれかだった場合）はランキング対象外となり、IRMとして記載される。競技者全員が有効なタイムを持っていない場合で、チームメンバーの少なくとも1人が失格（DSQ）となった場合、そのチームは失格（DSQ）としてリストされる。そうでない場合、チームは途中棄権（DNF）としてリストされる。これらのチームはランキング対象外となり、次のフェーズに進出できない。

## 6804 **競技**

6804.1 混合チームイベントでは男子が先に出走する。男女別チームイベントでは、チームはどちらのチーム競技者が1走目と2走目を滑走するかを自ら決める。シードの低いチームはシードの高いチームの前に順番を通知する。

より良いシードポジションのチームは、赤または青のコースを選択できる。下位シードのチームは、上位シードのチームよりも先に順序を発表する。混合チームイベントでは、男性が先にスタートする。より良いシードポジションを有するチームは、赤コースか青コースのいずれかを選択することができる。

この選択は、競技者がスタートプラットフォームに入るときまでに行わなければならない。

（スキークロスセクション）

### 7102.1.1 テクニカルデータ

| Code   | クロスコース     | メジャーメント         |
|--------|------------|-----------------|
| FW (m) | フィニシュエリア 幅 | <b>3024.0 m</b> |

7201.5 無人かつアンカーのない航空機（UAV）であるドローンやクアッドコプターなど、レースコース区域内での飛行は、検査、訓練、または競技中、ジュリーの書面による承認がない限り、禁止されます。ただし、現地の法律または土地所有者が定める禁止事項に従うものとします。レースコース区域はジュリーによって定義されます。違反者は、ジュリーにより ICR 第 223 条に従って制裁措置が科せられます。

7201.5.1 許可 ドローンの競技場での使用を認めるかどうかは、ジュリーの判断に委ねられます。決勝戦では、すべてのヒートのドローン映像をジュリーが閲覧できるようにする必要があります。7404に関する判断のためです。

7203 ゲート (2026/27 2026/27シーズンから実施されます。)  
スキークロスゲートは、短いフレックスポール (ターンポール) と長いスラロームリジッドポール (外側ポール) の2本からなり、これらを三角形のゲートフラッグで接続した構造です。

7203.1 ゲートフラッグス  
三角形のゲートフラッグ (バナー/パネル) には、以下のサイズを使用できます。(以下の寸法から若干の誤差は許容されます。)

ベース幅: ~~最小.100 cm 最大.130cm~~ 110cm

長い方の高さ: ~~最小.80 cm 最大.110cm~~ 70cm

短い方の高さ: ~~45~~ 35 cm

ゲートフラッグは2つの異なる色でなければなりません ある場合があります。ゲートフラッグは風通しの良い素材でなければなりません。ゲートフラッグへの広告は、風通しの良さを低下させたり、フラッグの解放機構に影響を ~~及ぼしたりしてはいけません~~ 及ぼしてはなりません。

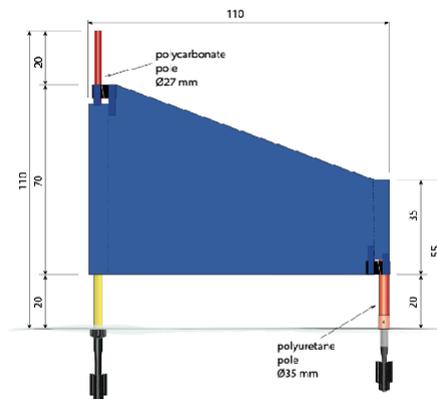
7203.1.2 Gate ゲートフラッグは、ゲートを通るスキーヤーとの接触を適切に維持しなければなりません。ただし、スキーや手で引っかかった場合は、フラッグを直ちに解放しなければなりません。詳細については、次のドキュメントを参照してください“認証済み SX ゲートフラッグス とスタビーポール”

7203.2 ポール  
すべてのポールは、剛性のある 長い ポールと短いポールに分類されます。2つの異なる色を使用することをおすすめします。

7203.2.1 剛性のある 長い ポール  
円形かつ均一なポールで直径が最小 20-27 mm から最大32 mm そしてジョイントがなく剛性のあるポールで 長さ110 cm のもの使用可能です。これらのポールは、破片が飛び散らない材料 (ポリカーボネート樹脂または同等の特性を持つ材料) で構成されなければなりません。

7203.2.2 スタビー (短い) ポール  
スタビーポールは長さ ~~45cm以下~~ 55 cm のヒンジの下からポールの先端までの長さで、先端部はパッド入り、または空洞 でなければならぬ。このようなポールの径は 30 - 35mm でなければならぬ。

~~ソフトパディング (約)535 cm~~ 参照 “認証済み SX ゲートフラッグス とスタビーポール”  
~~ベースの長さ (約) 25 cm~~



SZIF 1-10

7404.3.5 競技終了後できるだけ速やかに（最大24時間以内、または該当するカテゴリーの次の競技開始の1時間前まで）に、制裁措置のレビューを行う委員会が設置されます。委員会はヘッドジュリーが任命するレビュー委員会を任命し、ワールドカップおよびヨーロッパカップを除く全ての競技会において、ジュリー、レースディレクター/コンチネンタルカップコーディネーターがレビュー委員会を任命する。構成する5名の3名のメンバー: TD、RD と参加国から選出されたヘッドコーチ(各1票)のからなる、当該競技会の、3名のアドバイザリーグループメンバーで当該ケース制裁に関与しなかった者(必要に応じて、コネクションコーチがアドバイザリーグループのメンバーの代役を勤めることも出来ます。)

レビューは対面で行われる場合がありますが、は特定の状況下ではオンラインでも対応可能です。

このレビューの結果、ジュリーは課された制裁を軽減する可能性があります。ただし、競技会/ランキングの結果は変更されません。

7407.3.3 スタートしなかった競技者の順位 (DNS)

スタートしなかった競技者 (DNS) ~~そのヒートでの順位付けはされません。~~ 次のラウンドには進出できません。 また、7702.5に従って順位付けされます。

7501.1.5.2 シードラン形式

全てのタイムトライアル予選 (参照 7501.1.1 - 7501.1.42) は、シードラン形式で実施可能です。

7501.1.63 予選形式での タイブ레이크決定方法

7501.1.63.1 単独走での予選、~~タイム計測~~シードラン、~~またはカットダウンシステムの~~ 1本目2人以上の競技者が同タイムを記録した場合、後からスタートした競技者が同着を制し、より上位に順位付けされます。 同じ順位には1回以上付与されません。

7607.1 スキークロスでは、実際の競技開始前、同日中に少なくとも1回のトレーニングランを完了することが必須です。 義務です。

~~競技に参加する競技者は、実際の競技を開始する前に、少なくとも1回の練習走行を完了しなければならない。~~ DNF、イエローフラッグ、またはその他の中断が発生した場合、ジュリーは再走またはスタート許可を決定することができます。

7702.5 DNSの最終順位

競技者が競技のどのフェーズにもスタートしなかった場合 (~~75608.1~~) その競技者はDNSとして表示されます。 最終結果リストに、順位は付けられません。

Phase 1 – トレーニング: DNS – 参照 (7607.1)

Phase 2 – 予選 – リスト表示、順位ナシ

Phase 2.1. – タイムドシードラン – リスト表示、順位アリ Phase 2.2 – プレヒート – リスト表示、順位ナシ

Phase 3 – 1<sup>st</sup> ラウンド KO 決勝戦 (予選付き) – リスト表示、順位アリ

Phase 3.1 – 2<sup>nd</sup> から最終ラウンドまでの KO 決勝戦予選付き) – リスト表示、順位アリ

Phase 3 – 1<sup>st</sup> ラウンド KO 決勝戦 (タイムシードラン付き) リスト表示、順位アリ

Phase 3.1 – 2<sup>nd</sup> から最終ラウンドまでの KO 決勝戦 (シードラン付き) リスト表示順位アリ

Phase 3.2 – 1<sup>st</sup> ラウンドホリスティック形式リスト表示、順位ナシ

Phase 3.3 – 2<sup>nd</sup> から最終ラウンドまでのホリスティック形式リスト表示、順位アリ

Phase 4 – ラウンドロビン (7502.2.5)

### 7501.1.5に基づくタイブレーク

~~競技の最初の段階（予選/シード決定）が終了した後、次の段階のどのラウンドにも出場しなかった（DNS）競技者は、すべてのNPS制裁措置が適用される前に、その最終ラウンドで最下位と順位付けされます。最終段階の最初のラウンドに出場しなかった（DNS）すべての競技者は、グループにまとめられ、同順位決定のルールに従って順位が決められます。~~

### 7702.6 NPS (制裁)の最終順位

競技者が競技の最初のaフェーズでNPS制裁（2023年）を受けた場合、その競技者は最終結果リストにNPSとして表示され、順位付けされません。

~~競技の第一段階が終了した後、決勝戦のいずれかのラウンドでNPS制裁（2023年）を受けた競技者は、すべてのDNS処理後にその決勝戦の最終順位として最下位にランク付けされます。同一ラウンドでNPS制裁を受けたすべての競技者はグループ化され、同順位決着ルールに従って順位付けされます。~~

### ワールドカップルール

(パーク&パイプセクション)

## 2.4 賞金

主催者は、各イベント/性別ごとに賞金として少なくともCHF 30,000（ユーロ/米ドル相当）を準備しなければならない。より高額な賞金は許可されるが、性別ごとに同額でなければならない。この金額は、各イベント/性別ごとの上位10選手に分配される。賞金の金額とその分配方法は、FISに通知しなければならない（規則1.2.10）。

競技会の最終フェーズを実施できない場合、少なくとも予選ラウンドが完了していれば、最後に完了したフェーズのスコアが最終リザルトとして採用される。この場合、発表された賞金の50%が削減される。主催者は、支払われる金額をFISに通知しなければならない。

### 2.4.2 決勝が実施されなかった場合の賞金配分:

#### 順位 総額の割合

1位 45.00%

2位 23.50%

3位 12.50%

4位 6.00%

5位 3.00%

6位 2.50%

7位 2.25%

8位 2.00%

9位 1.75%

10位 1.50%

合計 100.00%

### 2.4.23 同点の場合

1.2.10.1を参照すること。

(フリースタイルセクション)

3.3.1 競技者の宿泊、食事、輸送とチーム役員の宿泊（2食付き）と会場内の輸送として、ひとり1日、最高80スイスフラン（FISレート）が、すべての競技者とチームオフィシャルから徴収される。WCランキングのトップ106名は、宿泊は無料とする。~~（このトップ10名の規則は、開幕戦と少ない参加者で行うWCファイナルには適応しない）~~

オーガナイザーは、宿泊を40スイスフランのレートで提供し、チームがそれぞれの食事を手配する選択肢を有する。これは、（たとえばキッチン用具や設備、ベッドシートやタオルなど）設備の整った、家具付きの宿泊施設を提供できる場合のみ受け入れられる。アパートは、最高4名に対してひとつのバスルーム、ホテルレベルの毎日の清掃サービス、すべてのアパートにWIFIを完備し、国の携帯電話が必ず接続できる、3つ星レベルに見合うものでなければならない。

### 3.3.3.2 追加の役員

追加の役員、または「同伴者」、各国スキー連盟の職員は、宿泊と2食付きで100120スイスフラン、もしくは1日あたり他通貨の相当額を超えない金額を、最高額とすることができる。これらの役員の数は全体枠の25パーセントに制限する。

### 3.3.3.3 サービスの人

サービスをする人は、組織委員会が宿泊を提供する場合、2食付きの宿泊（最高70120スイスフランもしくは相当額）を得る資格を有する。

### 3.3.5.2 エアリアル ~~到着日~~ / ~~トレーニング3日~~ / ~~大会1日~~ / ~~出発日~~ ; 5泊6日

- ・ 1 競技大会フォーマットの場合、到着日、トレーニング3日、大会1日、出発日。
- ・ 2 競技大会フォーマットの場合、到着日、トレーニング2日、大会2日、出発日。

### 3.3.7 ホテルの部屋

競技者、コーチ、役員などの宿泊は、最高ふたつのベッドと風呂またはシャワー、または寝るための部屋ごとに最高ベッド2つとバスまたはシャワーを有する部屋を提供しなければならない。また、チーム役員ひとりのために、国ごとにシングルをひと部屋提供すること。宿泊は競技会場にできる限り近い場所であること。ホテルは最低3つ星レベルの条件に適用しなければならない。追加のシングルルームひと部屋については、100120スイスフランレートで購入することができる。組織委員会は、チームが購入する追加の部屋についての詳細または情報を提供すること。

3.6.4.1 3.6.3.1に従ってスタートリストを作成する大会において、競技会が中断し、続けられないとき、スタートリストの最初の30名がリザルトを得た場合、予選のリザルトをもってその大会の最終リザルトとする。出走する競技者はそれぞれの結果に基づいて順位を決定する；出走しない競技者はDNSと表記する。

### 3.9.2 ワールドカップ・ファイナルへの招待

FISフリースタイルスキー・ワールドカップファイナルへの招待は、主としてFISフリースタイルスキー・ワールドカップのスタンディングに基づく。 さらに、以下の選手が招待される：

- ・ 各コンチネンタルカップ・シリーズのエアリアルとモーグル総合ランキング、男女の優勝者。
- ・ そして現在もしくは前競技会年、直近のFISフリースタイルスキージュニア世界選手権、モーグル、デュアルモーグルとエアリアル（現在もしくは前競技会年）の男女優勝者もまた招待される。

### 3.9.4 FISフリースタイルスキー・ワールドカップ・ファイナル資格公式

| 種目       | WC男/女 | Coc男/女 | WJC男/女  | 開催国男/女  |     |
|----------|-------|--------|---------|---------|-----|
| モーグル     |       | 30/30  | +Coc優勝者 | +WJC優勝者 | + 1 |
| デュアルモーグル |       | 30/30  | +Coc優勝者 | +WJC優勝者 | + 1 |
| エアリアル    |       | 20/20  | +Coc優勝者 | +WJC優勝者 | + 1 |

総合モーグル\*

+Coc優勝者

\*Cocモーグルの総合優勝者の男女のみ、ワールドカップ・ファイナルに招待される。その競技者はモーグルとデュアルモーグル両種目にスタートする。

(クロスセクション)

#### 4.5.1 クォータ計算 スノーボード

負傷による追加枠：ワールドカップのスタートリスト WCSL ランキングにおいて、負傷時の当該イベントのトップ10以内にランクインしていた選手で、現在のシーズン中に~~活動~~ 競技していない場合、その選手は次のシーズン全体にわたる個人クォータ枠を付与されます。このような負傷状態の選手は、次のシーズンにのみ有効であり、（出場がない場合）その次のシーズンにも適用されます。

#### 4.6.2.2 賞金内訳 (予選レースとタイムシードレースを含む)

| 順位                        | スイスフラン<br>CHF | 全体の%    |
|---------------------------|---------------|---------|
| 1 <sup>st</sup><br>place  | 12,375        | 45.00%  |
| 2 <sup>nd</sup><br>place  | 6,462         | 23.50%  |
| 3 <sup>rd</sup><br>place  | 3,438         | 12.50%  |
| 4 <sup>th</sup><br>place  | 1,650         | 6.00%   |
| 5 <sup>th</sup><br>place  | 825           | 3.00%   |
| 6 <sup>th</sup><br>place  | 688           | 2.50%   |
| 7 <sup>th</sup><br>place  | 619           | 2.25%   |
| 8 <sup>th</sup><br>place  | 550           | 2.00%   |
| 9 <sup>th</sup><br>place  | 481           | 1.75%   |
| 10 <sup>th</sup><br>place | 412           | 1.50%   |
| Total                     | 27,500        | 100.00% |

#### 4.8.2 フォアランナー スキークロス

主催者は、トレーニングと予選のために、有効なFIS FSコードとFIS SXポイントを持つフォアランナー（競技者）を少なくとも2名用意しなければならない。ファイナルフェーズの最初のラウンド前に、コースを完了したフォアランナーを少なくとも4名または1ヒート（4名）用意しなければならない。

中断が発生した場合、 Juryは次の競技者またはヒート前にフォアランナーの使用を決定します。

主催者が資格を有するフォアランナーを提供できない場合、抽選で選ばれた最初のスノーボード参加者がフォアランナーの代わりに出場します。KO決勝フェーズでは最大2つのフォアランナーヒートが実施されます。

(スノーボードアルペンセクション)

### 5.2.1 リゾートと主催者

宿泊（一泊二食付き、1室あたり最大2名/2ベッド）および現地での交通手段は、観光税、クレジットカード手数料、銀行手数料を含み1日あたり1人につき最大CHF 100 (FISレート)を、各国すべての競技者およびチーム関係者に適用する。（FISレート）~~すべての競技者およびチーム関係者に。~~宿泊費および食費のクォータは、ワールドカップクォータ（5.5.2. 参照）に基づいて計算される。

主催者は、最大CHF 50の料金で、チームが自費で食事を手配する宿泊施設を提供するか、いずれかを選択できる。ただし、この条件は、（例：キッチン設備、シーツ、タオルなどを含む）完全な設備が整ったアパートメントが提供される場合のみ適用される。

1カ国あたりの競技者数は、クォータ総数を超過してはならない。

役員（コーチ、医師、チームスタッフ）および公式帯同者には制限が適用される。

アパートメントは次の要件を満たす必要がある：

- 3つ星標準、4人まで利用可能な1つのバスルーム、ホテル標準の毎日の清掃サービス、全アパートメントにWi-Fi、国内モバイル
- 電話接続必須

### 5.5.2 パラレルワールドカップクォータ

- 負傷による追加枠：ワールドカップ スターティングリスト WCSL ~~スタンディング~~の当該イベントにおける負傷時の上位10位以内の選手で、当該シーズン中に活動していない場合、次シーズン全般にわたる個人枠が与えられる。このような負傷条件は次シーズンにのみ有効であり、（出場がない場合）その次のシーズンにも適用される。

ジュニア世界選手権ルール（総会への提案）

## 4. プログラム

4.1 競技会プログラムは以下のフリースタイルスキー、スノーボードとフリースキー種目を含まなければならない；男女のスノーボード種目：ハーフパイプ、スロープスタイル、ビッグエア、パラレルジャイアントスラロームとパラレルスラローム、スノーボードクロスとスノーボードクロスの男女混合団体戦。混合パラレル団体戦、そしてレール種目もまた組織することができる。

男女のフリースタイルスキーとフリースキー種目：モーグル、デュアルモーグル、エアリアル、スキークロス、ハーフパイプ、スロープスタイルとビッグエア。スキークロスの混合団体戦、エアリアル団体戦、とデュアルモーグル団体戦とレール種目もまた組織することができる。

上記に記されているすべてのプログラムを組織することが可能でない場合、世界ジュニア選手権大会は、個別の種目または複数の種目、たとえばモーグルとエアリアル、スロープスタイル、ビッグエアとハーフパイプ、加えて潜在的にレール種目（パーク&パイプ）、クロス

とパラレルスノーボードなど、分けて開催することもできる。

## 12. 賞金／式典

- 12.3 各種目6位までは、組織委員会が用意し費用を負担した贈り物を受けることになる。ビッグエア、ハーフパイプとスロープスタイルについては、その年、もしくはカレンダー一年が始まる年の後、15歳の誕生日を迎える競技者に、U16（16歳未満）の賞を別に表彰することができる。そして、パラレルジャイアントスラローム、パラレルスラローム、スノーボードクロスとスノーボード団体戦については、その年、もしくはカレンダー一年が始まる年の後、17歳の誕生日を迎える競技者に、U18（18歳未満）の賞を別に表彰することができる。

パーク&パイプ：各種目（ハーフパイプ、スロープスタイル、ビッグエア、そして潜在的にレール種目）の表彰に続き、ハーフパイプ、スロープスタイルとビッグエア（そして潜在的にレール種目）の結果を総合し、パーク&パイプの総合表彰を上位3名の競技者に授与する。

コンチネンタルカップルール  
(一般セクション)

### 2.3 タイトル

タイトルを確立するためには、少なくとも2つの異なるNSAが主催する競技会で、性別ごとにカップポイント対象となる有効なリザルトが3つ以上必要となる。これらのリザルトは、少なくとも3つの異なる日付で実施される必要がある。

#### EC 1.2 輸送、パス、優先権

OCは、公式トレーニング日および競技日に競技コースを運行するリフトにおいて、チームスタッフメンバー（許可されたチーム役員の比率に従うものとする - ECイベントセクションを参照すること）および役員に優先乗車の権利を与える。さらに競技エリアに近い場所に予約駐車場も用意される。

競技者のリフトパスの料金は、各イベントセクションにおいてエントリー費と共に以下に定義される。

#### EC 1.5 宿泊施設

エアリアル/モーグル/フリースタイル/フリースキー/スキークロス/パーク&パイプ/スノーボードクロス:

OCは、観光局を通じて、カテゴリーごとに適切な価格帯で宿泊施設を提供することが推奨される。

スノーボードアルペン:

~~SBX、PSL、PGSの場合、選手と役員の半食付き宿泊費の最大額は、開催国の公式通貨で1日あたりCHF 80程度とする。インビテーションで通知された期限後に登録したチームまたは個人は、上記料金での予約または保証を受ける権利はない。HP、SS、BAについて、制限はない。主催者は、開催リゾートにおける標準シーズン料金よりも低いパッケージ料金で宿泊施設を提供する必要がある。~~

(パーク&パイプセクション)

## EC 2.4 ECトロフィーとメダル

HP、SS、BA、およびREについては、最も高いECポイントのリザルト（ヨーロッパカップおよびプレミアムヨーロッパカップ）4つを採用し、合計したものでECイベントおよびランキングが決定される。

SSとBAについては、両イベントの総合ランキングも設定される。SSの最も高いリザルトと4つとBAの最も高いリザルト2つ（ヨーロッパカップおよびプレミアムヨーロッパカップ）が採用し、合計したもので、次シーズンの個人WC出場権が決定される（WCルール2.3.3）。

HP ECランキング、ルールECランキング、およびSS/BAの総合ランキングの優勝者は、ECトロフィーを受賞する。これらのランキングの1位、2位、3位にはメダルが授与される。

(フリースタイルセクション)

## EC3.6 特別手順

EC3.6.1 スタート順を統括するICRにある規則に追加し、以下をコンチネンタルカップのモーグル大会に運用するものとする。該当するカップスタンディングの上位30に掲載されている競技者は、無作為ドローでスタートリストの最初の30番の位置までに割り当て、残りの競技者は、無作為ドローで残りの位置に割り当てるそのようなスタンディングが存在しない大会については、直近のFISポイントリストのFISランクを活用する。

EC3.6.2 デュアルモーグル、エアリアル、エアリアル団体戦、デュアルモーグル団体戦とエアリアルシンクロ大会のスタートリストの制作手順は、ICRに定義されているとおりとする。

EC3.6.3 スタートリストの作成が上記3.6.1に従う大会については、競技会が中断し、続けられないとき、スタートリストの最初の30名がリザルトを得た場合、予選のリザルトをもってその大会の最終リザルトとする。出走する競技者はそれぞれの結果に基づいて順位を決定する；出走しない競技者はDNSと表記する。

### EC3.6.4 上位25競技者のビブの割り当て

ビブの1から25までは、直近のヨーロッパカップスタンディングの競技者ランキング順に割り当てる。もしくは、そのようなスタンディングが存在しない大会については、直近のFISポイントリストのFISランクを活用する。26番以降のビブは無作為に割り当てる。モーグルとデュアルモーグルが同じプログラムの一部として設定されている場合、ふたつのうち最初に行われる大会のビブの割り当てを、2番目の大会に持ち越すことも可能である。

EC3.6.5 デュアルモーグルのドロー  
ICR4310.1参照。

EC3.6.6 フォーマット  
ICR4005.1、4204、4304参照。

(クロスセクション)

#### EC 4.1 料金とチーム比率

##### EC 4.1.1 エントリーフィー選手

参加費は、1競技につき最大CHF 110、2競技につき最大CHF 180まで徴収され、トレーニングとすべての競技日における無料リフトパスが含まれます。

チーム比率（規則EC 1.3に定義）を超える追加のチーム関係者については、1日あたりCHF 30のリフトパス料金が適用されます。

##### EC 4.1.2 クロスチーム 比率

1-3 選手人数 3 チーム関係者

4-8 選手人数 5 チーム関係者

9-12 選手人数 6 チーム関係者

12 or 選手人数以上 8チーム関係者

チーム関係者、コーチ、サービススタッフ、医療スタッフは無料のリフトチケットを受け取ることができます。

チームの人員比を超える追加のスタッフは、1日あたり最大CHF 30のリフトパス料金が課金される場合があります。

##### EC 4.1.3 スキークロスのみ

参加者は、FISオンラインエントリーシステムを通じてヨーロッパカップに登録した場合、最初の公式競技日の3日前からコースでのトレーニングにアクセスできません。ただし、最初の公式競技日の3日前までに、FISオンラインで登録したすべての参加者がコースでのトレーニングにアクセスできるようになる場合を除きます。

##### EC 4.2.3 スキークロスのみ

ヨーロッパカップでは、選手は各有効なヨーロッパカップランキングリストの順位に基づいて並び替えシードされ、上位32名の男性/16名の女性まで順位付けされます。シーズン最初2回の最初のヨーロッパカップ大会では、前シーズンのヨーロッパカップ最終ランキングが考慮されます。

第2回ヨーロッパカップ競技会では、前シーズンのEC最終順位と第1回競技会後のEC順位が考慮されます（32名/16名）。第3回ヨーロッパカップ競技会では、当該シーズンのEC順位のみが考慮されます（32名/16名）。

競合する選手が同点の場合、有効なFISポイントリストでの上位順位が順位を決定します。それでも同点の場合、順位は抽選で決定されます。

これは、使用されるヨーロッパカップリストにおける上位32名の男性選手と16名の女性選手に適用されます。その他の選手は、有効なFISポイントリストに基づいて順位付けされます。ワールドカップ（WC）とヨーロッパカップ（EC）のランクを有する選手は、そのECランクまたはFISポイントランクに基づいて含まれます。

##### EC 4.5 フォアランナー、スキークロスのみ

主催者は、トレーニングと予選のために、有効なFIS FSコードとFIS SXポイントを持つフォアランナー（競技者）を少なくとも2名用意しなければならない。ファイナルフェーズの最初のラウンド前に、コースを完了したフォアランナーを少なくとも4名または1ヒート（4名）用意しなければならない。

中断が発生した場合、ジュリーは次の競技者またはヒート前にフォアランナーの使用を決定します。

主催者が資格を有するフォアランナーを提供できない場合、抽選で選ばれた最初のスノーシード参加者がフォアランナーの代わりに出場します。KO決勝フェーズでは最大2つのフォアランナーヒートが実施されます。

(一般セクション)

#### **NAC 6 エントリー費**

フリースキーとスノーボードのエントリー費は、各NorAmシーズン開始前にNorAm委員会によって審査され、秋のFIS会議でシーズンごとのエントリー費が設定される。2025/4/265シーズンの最大のベースエントリー費は

- NAC競技会ごとに1人あたりCHF 140、
- NACプレミアム競技会ごとに1人あたりCHF 175、

または、各年の9月30日現在の為替レートに基づき、\$5.00単位に四捨五入した現地通貨相当額とする。エントリー費は開催国の通貨で支払われる。ベースエントリー費には、1つの個人種目への参加費用が含まれる。

(フリースタイルセクション)

#### **NAC10.6 ノアムカップ手順—モーグル、デュアルモーグル、エアリアル競技会/シード**

ノースアメリカンカップのモーグルとデュアルモーグル大会のすべてのスタートリストは、ICRとワールドカップ規則 (IC4209、4310、WC3.6.2) に定義されている手順に従う。

#### **NAC10.6.1 ビブ**

##### **NAC10.6.1.1 上位25競技者のビブの割り当て**

ビブの1から25までは、直近の**NACノアムカップ**スタンディングの競技者ランキング順に割り当てる。もしくは、そのようなスタンディングが存在しない大会については、その大会のための直近のFISポイントリストのFISランクを活用する。26番以降のビブは無作為に割り当てる。モーグルとデュアルモーグルが同じプログラムの一部として設定されている場合、ふたつのうち最初に行われる大会のビブの割り当てを、2番目の大会に持ち越すことも可能である。

#### **NAC10.6.2 スタート順のドロー** ICR4310.1参照。

NAC10.6.3.1 スタート順を統括するICRにある規則に追加し、以下をノースアメリカンカップのモーグル大会に運用するものとする。ノースアメリカンカップスタンディングの上位30に掲載されている競技者は、無作為ドローでスタートリストの最初の30番の位置までに割り当て、残りの競技者は、無作為ドローで残りの位置に割り当てる。そのようなスタンディングが存在しない大会については、直近のFISポイントリストのFISランクを活用する。

NAC10.6.3.4 スタートリストの作成が上記10.6.3.1に従う大会については、競技会が中断し、続けられないとき、スタートリストの最初の30名がリザルトを得た場合、予選のリザルトをもってその大会の最終リザルトとする。出走する競技者はそれぞれの結果に基づいて順位を決定する；出走しない競技者はDNSと表記する。

NAC10.6.3.5 デュアルモーグル、エアリアル、エアリアル団体戦、デュアルモーグル団体戦とエアリアルシンクロ大会のスタートリストの制作手順は、ICRに定義されているとおりとする。

NAC10.6.4 フォーマット  
ICR4005、4204、430参照。

SBFSFKSX 用具ルールブック Equipment Rule Book (スキークロス)

7. カット防止用下着(実施シーズン 2026/27)

7.1 カット防止用下着

| <u>パラメーター</u>                         | <u>Value</u>     |
|---------------------------------------|------------------|
| <u>未切断測定長 (mm)</u>                    | <u>200mm Min</u> |
| <u>Cutting force 1 star level (N)</u> | <u>100</u>       |
| <u>Cutting force 2 star level (N)</u> | <u>200</u>       |
| <u>Cutting force 3 star level (N)</u> | <u>300</u>       |
| <u>Cutting force 4 star level (N)</u> | <u>400</u>       |
| <u>Cutting force 5 star level (N)</u> | <u>500</u>       |

7.2 定義

切断防止用下着は、競技用スーツの下に着用される衣類で、選手の切断傷からの保護を向上させるように設計されています。

7.3 一般仕様

適切な保護を提供するため、カット防止用下着は製造元のガイドラインに従って適切なサイズを選択し、製造元の使用説明書に従って厳格に装着する必要があります。下着は製造元が認証したとおり、変更または改造を加えずに使用する必要があります。カット防止用下着は補助的な保護を提供することを目的としており、無限の切断保護を提供するものではありません。

7.4 技術仕様

カット防止下着の保護レベルは、FIS-DITF試験規格2021の仕様により定義されます。

基本定義パラメーターは次の通りです:

各レベルの最小未切断測定長さは200mmです。対応するレベルの切断力におけるカット抵抗を測定します。同じテキスタイルの5回の試験のうち、テキスタイルの3方向 (0° /45° /90° ) において対応するカット抵抗値を満たす必要があります。最も低いカット抵抗値を示す方向が、FISスターレベルを決定します。

要件の履行は、これらの標準化された適合ラベルにより証明され、保護服の外側、スキーブーツの踵部分の上部にある左下腿の後ろ側に、取り外せない方法で取り付けられるものとする。「FIS仕様 CRU 2021 に準拠」と表示し、達成した FIS ☆星の等級を明示する。

|                      |            |            |            |             |              |
|----------------------|------------|------------|------------|-------------|--------------|
| <u>フォース (Nニュートン)</u> | <u>100</u> | <u>200</u> | <u>300</u> | <u>400</u>  | <u>500</u>   |
| <u>FIS-star</u>      | <u>*</u>   | <u>**</u>  | <u>***</u> | <u>****</u> | <u>*****</u> |

適合ラベルは、製造者が必要な認証 (FIS-DITF 2021) を取得し、上記の要件を満たしていることを証明します。このラベルを取得するには、試験報告書をFISアスリート健康管理部

に提出する必要があります。



FIS規格に準拠したカット防止下着の適合証明書。

## 7.5 カット防止下着の採用

レースレベル1 (WC / WSC / OWG / WJC、YOG) のすべての競技において、2026 / 2027シーズン以降、カット防止下着の着用が義務付けられます。必須実施には、競技用スーツで覆われるすべての部位 (ブーツの上部から競技用スーツの襟までおよび手首) に対し、FIS-DITFテスト基準に基づく最低3つ星の保護レベルが必須です。首の保護は可能な限り徹底的に行うことが強く推奨されます。

### 10. バックプロテクター(スキークロス用)

#### 10.1 定義

バックプロテクターは、選手の背中を天候や外部からの力から保護するための追加の装備品です。バックプロテクションズプロテクションの使用は、一般に強く推奨されます。エアバッグ式バックプロテクターの使用は特に強く推奨されます。

#### 10.2 仕様

バックプロテクターは、選手の脊椎の解剖学的曲線に適合し、身体に平らに密着していなければならない。バックプロテクターの上端は脊椎の領域に位置し、第7頸椎 (C7) を超えてはならない。最大の厚みは中央部に配置され、45mmを超えてはなりません。バックプロテクターの端部では厚みが薄くなっています。空力特性を向上させるための設計変更は禁止されています。バックプロテクターは競技用スーツの下に着用しなければなりません。最新 EN1621:2規格に準拠した保護具の使用が強く推奨されます。

バックプロテクターは、選手の脊椎の解剖学的曲線に適合し、身体に平らに密着する必要があります。バックプロテクターの上端は、脊椎の領域に位置する必要があります。バックプロテクターの固定は、ウェストベルト、ストラップかサスペンダーを使用して行うことができます。最大の厚みは中央部分で45mmを超えてはなりません。バックプロテクターは競技用スーツの下にのみ着用可能です。

### 10.3 エアバッグテクノロジー搭載プロテクター

#### 仕様

10.3.1 定義: スキークロス用エアバッグプロテクションは、膨張式エアクッションを基にした追加の保護具で、電子的に膨張させ、スキークロス競技に参加する選手の保護

レベルを向上させることを目的としています。

### 10.3.2 一般仕様

この装置の装着は、競技中の選手の動作の自由を制限してはなりません。エアバッグシステムは、アルゴリズムが衝突を検知し、自主的に作動した場合（任意の操作なしに）にのみ作動する必要があります。エアバッグ技術を搭載したプロテクターは、競技用スーツの下に装着され、第10条（背部プロテクター）に定める要件を満たす必要があります。  
毎年、製造者はFIS 装備規格への準拠を表明する必要があります。各製造者は、エアバッグシステムの信頼性を確認し、その機能に関する唯一の責任を負い、材料および設計の観点から製品の安全性を保証します。FIS 準拠ラベルは、プロテクターに永久的に取り付けられていなければなりません。

### 10.3.3 技術仕様

- トリガーが作動した際、膨張時間は-20° Cから+30° Cの温度範囲内で200ミリ秒を超えてはならない
- 膨張後、エアバッグクッションは直ちに収縮せず、最低 3 秒間完全に膨張した状態を維持しなければならない。
- 膨張後、エアバッグのクッションは、以下の領域のうち少なくとも 1 つを覆う必要があります：肩、背中、または胸。

エアークッションで保護された身体部位：エアバッグのエネルギー吸収効果を評価するため、指定された試験機関により指定された試験テンプレートを使用する必要があります。要件を満たすため、最大平均衝撃値は18 kN未満でなければならない、少なくとも1つの衝撃値は6 kN未満でなければなりません。これは、欧州規格EN1621の試験プロトコルに基づきます。

エアバッグは、意図しない展開で選手がスキーを滑り続けることを妨げないように設計されなければなりません。エアバッグ技術を採用したプロテクター（未展開時）の最大厚さは55mmを超えてはなりません。エアバッグには、欧州規格EN1621:2に準拠したバックプロテクターを組み込まなければなりません。

FISの装備仕様および サプライヤーの安全基準（製品説明）への適合は、以下の 適合ラベルによって証明されなければなりません。取り外せないラベルは、エアバッグプロテクターの外側、後部中央に、プロテクターの上端から1cm下に配置されなければなりません。適合ラベルには、以下の文言が含まれていなければなりません：「FIS仕様に準拠 AIRBAG 2024」。ラベルは 最小サイズ20mm×30mm（幅×高さ）で表示され、競技または公式トレーニング開始前に 確認可能であること（例：延長型ラベル）。

\*\*\*



## 10.1 FISジュニア世界選手権大会報告

| 種目                     | 2026                                    | 2027   | 2028                             |
|------------------------|---|--|----------------------------------|
| クロスカントリー               | <b>Trondheim</b><br>(ノルウェー)<br>3月2-8日   | <b>Shchuchinsk</b><br>(カザフスタン)<br>日程未定                             | <b>Falun</b><br>(スウェーデン)<br>日程未定 |
| スキージャンプ                |   |  |                                  |
| ノルディック<br>コンバインド       |   |  |                                  |
| アルペン                   | <b>Narvik</b> (ノル<br>ウェー)<br>3月7-15日    | <u>公募中</u>   | <u>公募中</u>                       |
| パーク&パイプ<br>(レールイベント含む) | <b>Calgary</b> (スイス)<br>2月23日-3月7日      |  |                                  |
| モーグル& エアリアル            | <b>Airolo</b> (スイス)<br>3月17-22日         | モーグル:<br><b>Are-Duved</b><br>(スウェーデン)<br>4月10-13日<br>エアリアル:<br>公募中 |                                  |
| スキークロス                 | <b>St Moritz</b> (スイス)<br>3月27-30日 (予定) | <b>Are-Duved</b><br>(スウェーデン)<br>4月12-13日                           |                                  |
| スノーボードクロス              | <b>St Moritz</b> (スイス)<br>3月23-26日 (予定) | <u>公募中</u>   |                                  |
| スノーボードアルペン             | <u>公募中</u>                              |  |                                  |

2024年秋季の入札に関する招待開始に伴い、FISは数件の意向および申請を受領した。しかしながら、とりわけ2026年および2027年スノーボードアルペンジュニア世界選手権大会の申請については募集が続いている。ジュニア世界選手権大会のガイドは[FISウェブサイト](#)より閲覧可能となっている。

2027年に関するタイムラインは下記となる：

|   | マイルストーン | 日付              | 詳細   |
|---|---------|-----------------|--|
| 1 | 意向表明書   | 現在              | 意向表明書と、提案会場およびインフラに関する情報を提出してください。   |
| 2 | 非公式会談   | 現在 – 2025年9月15日 | FISがプロジェクトの定義を支援するため、実務的なサポートを提供します。   |
| 3 | 申請締切    | 2025年9月15日      | 応募者は <a href="mailto:events@fis-ski.com">events@fis-ski.com</a> 宛に申請書を提出する必要があります。 |
| 4 | 主催者任命   | 2025年10月頃       | FIS評価グループが、FIS理事会に推奨する主催者の任命を提案。   |

## Summary report – 2026 FIS Junior World Championships 概要報告-2026年FISジュニア世界選手権大会

### Trondheim(ノルウェー)-ノルディック大会

- 記録を打ち破ったトロンハイムでの2025年FISノルディック世界選手権大会に続きレガシーとなる大会。
- 計画はスケジュール通りに進行中。
- 経験豊富なスタッフ(各種レースディレクター含む)および2025年世界選手権大会からのボランティアが今大会には携わる予定であり、安定性と強固な運営体制が確保されている。
- 2025年世界選手権大会で使用された大会インフラが効率的に再利用される予定である、世界大会規模の競技環境がジュニアアスリートに提供される予定である。
- 本大会はノルウェーによるノルディック種目およびジュニアレベルでのタレント育成に出資している。
- 世界選手権大会基準から、ジュニアおよびU23世代基準に向けてコースを順応させている。

### Narvik(ノルウェー)-アルペン大会

- Narvikは2029年FISアルペンジュニア世界選手権大会に続く重要なマイルストーンとなる大会を開催する。
- 2025年5月26-29日に現地視察が実施され、会場準備およびFIS基準に即した計画の評価確認がなされた。
- 建設状況は順調であり、2029年世界選手権大会の準備に向けて、いくつかの競技および競技外会場が本大会期間に試験運用される。
- 使用される滑走面は計画されている2029年の滑走面と同一ではないものの、本大会は大会運営および組織機能の試験するうえで重要な大会となる。
- 本大会は自治体の知見を築くうえで戦略的な役割を担う。

### Calgary (カナダ) – パーク&パイプ

- Calgaryは、スノーボードおよびフリースタイルスキーのすべてのパーク&パイプ種目（ハーフパイプ、スロープスタイル、ビッグエア、新設のレール競技=本大会で初実施）を開催する。
- 2025年2月にワールドカップおよびNorAm大会開催時に現地視察が実施された。
- 1988年冬季オリンピックで使用された既存のワールドカップ会場・施設がジュニア世界選手権で活用される。
- 大会の開会式および閉会式では先住民族による儀式が行われる。
- Canadaは、通常2月に行われるワールドカップに代わり、オリンピックシーズンには4年ごとにジュニア世界選手権を開催する方針をとっている。

### Airolo (スイス) – モーグル&エアリアル

- Airoloは、Swiss-Skiの新トレーニングセンター開設とあわせて、フリースタイル・モーグル&エアリアルのジュニア世界選手権を開催する。
- AiroloはSwiss-Skiと数年にわたりこのプロジェクトに取り組んでおり、最終的に320万スイスフランの投資をもって完成した。
- Airoloは伝統的なフリースタイル開催地であり、過去に2度のワールドカップ、1度のジュニア世界選手権、数多くのヨーロッパカップやFIS大会を開催してきた。

St. Moritz (スイス) – スキー&スノーボードクロス

- 2025年FISスノーボード、フリースタイル&フリースキー世界選手権のレガシー会場。
- 国際大会運営の実績豊富な強力なローカル組織委員会を有している。
- Engadin溪谷において、スノーボード、フリースタイル、フリースキー各種目の主要開催地としてのSt. Moritzの地位をさらに強化する。

## Annex 12 – 財政支援の要請

### クロスカントリー

|   |            |               |
|---|------------|---------------|
| New Technology implementation World Cup TV production, World Cup stages   | CHF        | 10'000        |
| TV expert seminar (TV directors & commentators)   | CHF        | 8'000         |
| Seminar for the development of race formats   | CHF        | 8'000         |
| Waxing support for developing nations, WC / JWSC&U23 WSC  | CHF        | 10'000        |
| Organisers Seminar  | CHF        | 4'000         |
| Financial support to live streaming JWSC & U23 WSC 2026 only in case of sufficient <u>production quality, subject of approval by FIS office</u> | CHF        | 15'000 (max)  |
| Education Coordination  | CHF        | 5'900         |
| TD Seminar – FIS (ITA)  | CHF        | 4'500         |
| TD Seminar Far East   | CHF        | 4'500         |
| World Cup TD Update   | CHF        | 4'500         |
| Homologation Seminar  | CHF        | 4'500         |
| TD Seminar Central/Eastern Europe   | CHF        | 4'500         |
| <b>合計 クロスカントリー</b>  | <b>CHF</b> | <b>83'400</b> |

### スキージャンプ

#### Requests Committees

|                                  |     |        |
|----------------------------------|-----|--------|
| TD/JJ Course USA                 | CHF | 4'300  |
| Obmen Meeting, S.C. meetings     | CHF | 5'490  |
| CoC seminar and tests            | CHF | 2'000  |
| CoC practical workshops          | CHF | 5'800  |
| Education Coordination           | CHF | 12'000 |
| Data service / VDM certification | CHF | 6'875  |
| Hill preparation workshop        | CHF | 6'000  |

**小計 委員会要請** **CHF 42'465**

#### スキージャンプ プロジェクト

|  |            |               |
|--|------------|---------------|
| Limitation of Ski Jumping Suits 2025/2026                                    | CHF        | 27'000        |
| Evolution of Jump 3.5  | CHF        | 3'000         |
| LOC Seminar Nordic Disciplines   | CHF        | 4'000         |
| Develop Technology (project across departments Sport and Digital Innovation) | CHF        | 10'000        |
| Science & Ski Jumping  | CHF        | 15'000        |
| Future Development of equipment in Ski Jumping & Nordic Combined             | CHF        | 21'000        |
| <b>小計 スキージャンプ プロジェクト</b>   | <b>CHF</b> | <b>76'000</b> |

**合計 スキージャンプ** **CHF 122'465**

ノルディックコンバインド

|   |            |               |
|---|------------|---------------|
| Education Coordination (Moodle, Material, Womens Webinar etc) | CHF        | 9'500         |
| FIS Nordic Combined Women Training Camp, Oberstdorf (GER)     | CHF        | 16'400        |
| FIS Nordic Combined Women Training Camp, Harachow (CZE)       | CHF        | 12'900        |
| FIS Nordic Combined Educational Camp (Coaches - athletes)     | CHF        | 14'200        |
| Jumping suit development project                              | CHF        | 30'000        |
| Nordic LOC Seminar  | CHF        | 4'000         |
| <b>合計 ノルディックコンバインド</b>  | <b>CHF</b> | <b>87'000</b> |

アルペン

|  |            |               |
|--|------------|---------------|
| TD Update NZE-AUS                                  | CHF        | 5'000         |
| TD Update South America                            | CHF        | 3'900         |
| TD Update Scandinavia                              | CHF        | 2'100         |
| TD Update Asia                                     | CHF        | 4'900         |
| TD Update East Balkan Region                       | CHF        | 2'200         |
| TD Update East Europe                              | CHF        | 1'600         |
| TD Update North America West                       | CHF        | 4'500         |
| TD Update North America East                       | CHF        | 4'500         |
| TD Update Balkan Region                            | CHF        | 1'300         |
| TD Update FRA-MON                                  | CHF        | 1'800         |
| TD Update AUT                                      | CHF        | 1'400         |
| TD Update Lowland                                  | CHF        | 2'600         |
| TD Update SUI-LIE                                  | CHF        | 1'400         |
| TD Update ITA                                      | CHF        | 1'500         |
| TD Update ESP-AND                                  | CHF        | 1'200         |
| TD Update GER                                      | CHF        | 1'200         |
| Education Coordination (Examers Seminar)           | CHF        | 4'100         |
| Speed Clinic Central Europe                        | CHF        | 4'500         |
| Equipment for Updates and Clinics FIS Office       | CHF        | 3'000         |
| Speed Clinic                                       | CHF        | 4'700         |
| Speed Clinic                                       | CHF        | 4'500         |
| Working Group Rules Sub-Committee, Erding (GER)    | CHF        | 4'700         |
| Gate Measurement Device (World Cup & European Cup) | CHF        | 20'000        |
| Women Coaches Working Group (World Cup)            | CHF        | 3'500         |
| Men Coaches Working Group (World Cup)              | CHF        | 3'500         |
| <b>合計 アルペン</b>                                     | <b>CHF</b> | <b>93'600</b> |

## スノーボード、フリースタイル、フリースキー、およびスキークロス

### TD Clinics Snowboard/Freestyle/Freeski and Ski Cross

|   |            |               |
|---|------------|---------------|
| TD Clinic and Update Cross, Park&Pipe, TD Assist program Cross, AUS Melbourne, Mt. Hotham | CHF        | 7'000         |
| TD Clinic and Update Cross, Park&Pipe, Snowboard Alpine, China tbd                        | CHF        | 7'000         |
| TD Clinic and Update Cross, Park&Pipe, PAR, Balkan Region                                 | CHF        | 3'000         |
| TD Update, Zurich SUI   | CHF        | 1'500         |
| TD Clinic and Update Cross, Park&Pipe, PAR, Salzburg AUT                                  | CHF        | 4'000         |
| TD Clinic and Update Cross, Park&Pipe, MO, AE, Scandinavia                                | CHF        | 3'500         |
| TD Clinic and Update Cross, Park&Pipe, MO, AE, SB Alpine, Annecy FRA                      | CHF        | 3'000         |
| TD Clinic and Update Cross, Park&Pipe, MO, AE, SB Alpine, Tokyo JPN                       | CHF        | 7'000         |
| Assist Program at the AE/MO WC, Ruka (FIN)  | CHF        | 8'700         |
| Assist Program AE/MO, Cross, P&P, Almaty (KAZ)  | CHF        | 7'200         |
| Assist Program, Europe tbd, Sport tbd   | CHF        | 5'800         |
| Education Coordination  | CHF        | 8'000         |
| <b>小計 スノーボード、フリースタイル、フリースキー、およびスキークロスTDクリニック</b>  | <b>CHF</b> | <b>65'700</b> |

### Moguls/Aerials judges Clinics

|  |            |               |
|--|------------|---------------|
| Education Coordination   | CHF        | 13'000        |
| Shadow Panel GSS Online system,  | CHF        | 6'000         |
| FS Judges Clinic MOAE, TBD, Asia   | CHF        | 4'400         |
| FS Judges Clinic MOAE, TBD, Europe   | CHF        | 4'600         |
| FS Judges Clinic MOAE, TBD, North America West   | CHF        | 4'900         |
| FS Judges Clinic MOAE, Online Seminar, Zone 1 (Asia)   | CHF        | 500           |
| FS Judges Clinic MOAE, Online Seminar, Zone 2 (Europe)   | CHF        | 500           |
| FS Judges Clinic MOAE, Online Seminar, Zone 3 (North America)  | CHF        | 500           |
| Freestyle Video tool for Judges EC, Freestyle VAR EC Project Part 2  | CHF        | 15'000        |
| Freestyle Junior WSC Live Streaming support only in case of sufficient Production quality, subject of approval by FIS office | CHF        | 15'000 (max)  |
| <b>小計 モーグルおよびエアリアル ジャッジクリニック</b>   | <b>CHF</b> | <b>64'400</b> |

### Snowboard & Freeski Judges Clinics

|   |            |                |
|---|------------|----------------|
| Freeski Judges Clinic HP/SS/BA, Innsbruck, Austria - Central Europe | CHF        | 5'500          |
| Freeski Judges Clinic HP/SS/BA, Oslo, Norway - Scandinavia          | CHF        | 5'500          |
| Freeski Judges Clinic HP/SS/BA, Park City, Utah - North America     | CHF        | 4'600          |
| Freeski Judges Clinic HP/SS/BA, Calgary, Canada - North America     | CHF        | 5'100          |
| Freeski Education Coordinator                                       | CHF        | 17'000         |
| SB Judges Clinic Europe   | CHF        | 5'800          |
| SB Judges Clinic USA  | CHF        | 6'500          |
| SB Judges Clinic CAN  | CHF        | 4'200          |
| SB Judges Clinic Asia   | CHF        | 7'300          |
| SB Education Coordinator  | CHF        | 17'000         |
| Artificial Intelligence Support                                     | CHF        | 20'000         |
| SB FK Elite level Judges Clinic, Milano (Italy)                     | CHF        | 10'000         |
| <b>小計 パークアンドパイプ ジャッジクリニック</b>                                       | <b>CHF</b> | <b>108'500</b> |

SBFKFS-組織委員会セミナー、映像ジャッジおよびコースデザイン教育

|  |            |                             |
|--|------------|-----------------------------|
| Ski Cross – Organiser Meeting in Zurich  | CHF        | 2'000                       |
| SBX, season preparation meetings (staff & sub-contractors)   | CHF        | 2'500                       |
| SBX Organiser Meeting Zurich (& online), SBX & SB Alpine   | CHF        | 3'000                       |
| Video Control/Analysis Ski Cross   | CHF        | 15'000                      |
| Video Control/Analysis SB Cross  | CHF        | 15'000                      |
| Education Coordination   | CHF        | 8'000                       |
| <b>小計 スキークロス、スノーボードクロス、およびスノーボードアルペン</b>   | <b>CHF</b> | <b>45'500</b>               |
| <b>合計 スノーボード、フリースタイル、フリースキー、およびスキークロス</b>  | <b>CHF</b> | <b>284'100</b>              |
| <b>テレマークスキー</b>  |            |                             |
| Techn. Equipment for Photo-Finish, Judging and other Development, Various  | CHF        | 7'500                       |
| Chairman & Comm. Member inspection World Cup & JWCS Media Coordinator Telemark World Cup 2025/26   | CHF        | 5'000                       |
| Coordinator Live streaming coverage (quality coordination with FIS Office)   | CHF        | 20'000                      |
| Working Group (x4) incl. inspections and research during WC 2025/26  | CHF        | 5'000                       |
| World Cup Organisers Coordination 2025/26, Various WC events   | CHF        | 10'000                      |
| Education Coordination   | CHF        | 5'000                       |
| <b>合計 テレマークスキー</b>   | <b>CHF</b> | <b>52'500</b>               |
| <b>スピードスキー</b>   |            |                             |
| Standardisation of Race Organisation and new venues  | CHF        | 2'000                       |
| Education Coordination   | CHF        | 1'000                       |
| Travel Expenses TD WG meeting  | CHF        | 1'500                       |
| Travel to FIS, NSAs Events and ski resorts for promotion of speedski production at WC events (Live Streaming support only in case of sufficient Production quality, subject of approval by FIS office) | CHF        | 2'000 Video<br>15'000 (max) |
| Speedski Content Development for FIS Social Media (in coordination with Director Digital and Innovations)  | CHF        | 5'000                       |
| <b>合計 スピードスキー</b>  | <b>CHF</b> | <b>26'500</b>               |
| <b>概要</b>  |            |                             |
| クロスカントリー   | CHF        | 83'400                      |
| スキージャンプ  | CHF        | 122'465                     |
| ノルディックコンバインド   | CHF        | 87'000                      |
| アルペン   | CHF        | 93'600                      |
| スノーボード、フリースタイル、フリースキー、およびスキークロス  | CHF        | 284'100                     |
| テレマークスキー   | CHF        | 52'500                      |
| スピードスキー  | CHF        | 26'500                      |
| <b>総計</b>  | <b>CHF</b> | <b>749'565</b>              |

\* 教育実施調整は教育戦略に関連しており、FIS教育マネージャーと協働で行われている。

## 2025年賞金、財政支援および特別分配金

**賞金総額: CHF 6,399,000,000**

世界選手権大会賞金: CHF 2,032,000,000

ワールドカップ賞金(20% FIS): CHF 4,367,000,000  
(2024/2025シーズンについては既に支払い済み)

**CHF 5,000,000**

**財政支援**

(2025年9月に各国スキー  
連盟の口座へ入金予定)

**CHF 7,500,000**

**スキーおよびスノー  
ボード普及のための  
特別分配金\***

(2025年9月に各国スキー  
連盟の口座へ入金予定)

\* 承認のため、2025年FIS総会に提出される予定

## Annex 14 – FISインテグリティ報告

### 14.1 アンチドーピング検査活動

下記の表はFISによりドーピング検査活動の概要であり、2024/2025シーズンのドーピング検査総数および各検査形式(競技内/競技外検査、サンプルタイプ(尿検査、血液検査、血液パスポート、乾燥血液スポット検査)、種目)での振り分けを示している

### 14.2 検査統計

2024年5月から2025年4月の期間において、下記の競技内/競技外検査サンプルが集約された。

#### 2024/25 シーズン競技内検査

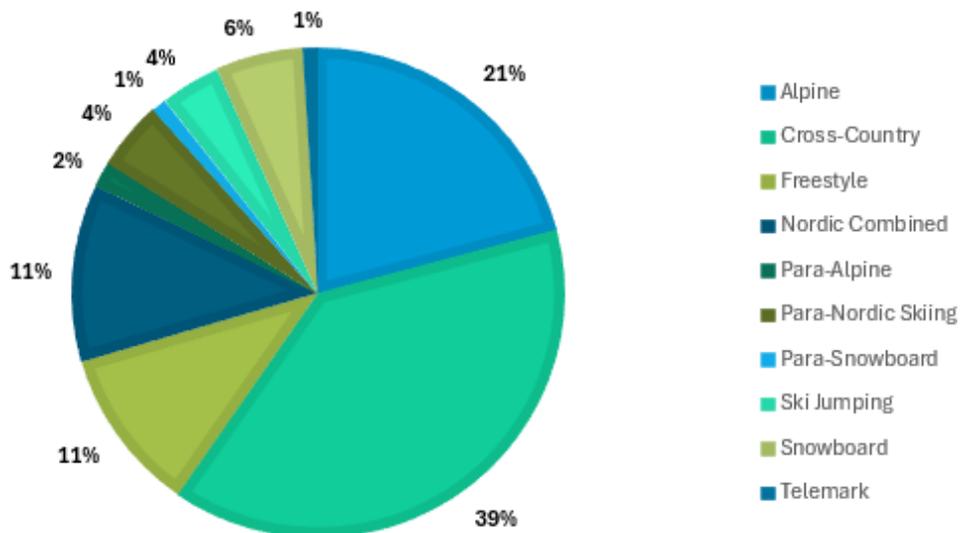
|              | 尿検査         | 赤血球造血刺激因子製剤 (ESAs) の尿検査および血液検査 | 血液検査       | 血液パスポート    | 乾燥血液スポット検査 |
|--------------|-------------|--------------------------------|------------|------------|------------|
| クロスカントリー     | 303         | 225                            | 113        | 94         | 21         |
| ノルディックコンバインド | 90          | 66                             | 43         | 31         | -          |
| スキージャンプ      | 95          | -                              | 6          | -          | 2          |
| アルペン         | 205         | 70                             | 66         | -          | 4          |
| フリースタイル      | 233         | 28                             | 10         | -          | 2          |
| スノーボード       | 144         | 21                             | 2          | -          | 6          |
| テレマーク        | 40          | -                              | -          | -          | -          |
| パラアルペン       | 30          | 12                             | 10         | -          | -          |
| パラクロスカントリー   | 30          | 18                             | 9          | -          | -          |
| パラスノーボード     | 18          | 7                              | 2          | -          | -          |
| <b>計</b>     | <b>1188</b> | <b>447</b>                     | <b>261</b> | <b>125</b> | <b>35</b>  |

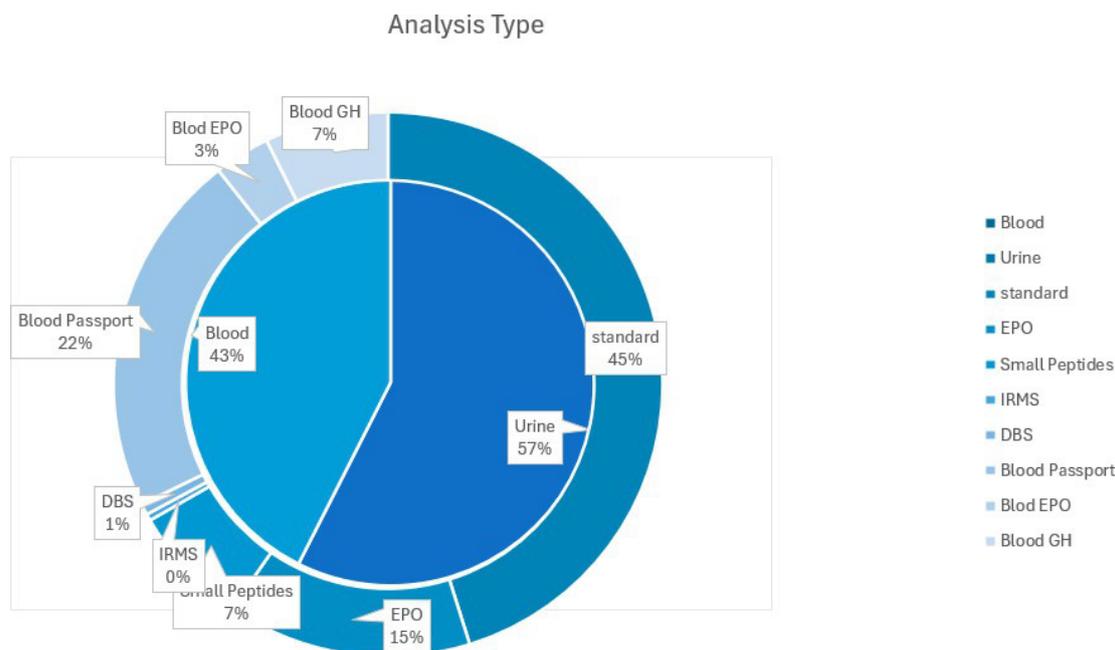
## 2024/25 シーズン競技内検査

|              | 尿検査         | 赤血球造血刺激因子製剤 (ESAs) の尿検査および血液検査 | 血液検査       | 血液パスポート     |
|--------------|-------------|--------------------------------|------------|-------------|
| クロスカントリー     | 406         | 295                            | 212        | 471         |
| ノルディックコンパインド | 133         | 64                             | 39         | 150         |
| スキージャンプ      | 53          | 1                              | 8          | -           |
| アルペン         | 282         | 79                             | 31         | 281         |
| フリースタイル*     | 153         | 13                             | 12         | 42*         |
| スノーボード       | 81          | 16                             | 5          | 1           |
| テレマーク        | 21          | 2                              | 11         | -           |
| パラアルペン       | 68          | 22                             | 7          | 79          |
| パラクロスカントリー   | 14          | 1                              | 6          | -           |
| <b>計</b>     | <b>1211</b> | <b>498</b>                     | <b>332</b> | <b>1024</b> |

\*スキークロス

SAMPLES DISTRIBUTION PER DISCIPLINE





### 14.3 検査プールおよび関連する居場所情報提供結果マネジメント

ドーピング検査努力を効率的に管理するため、FISは2段階の検査プールシステムを設立した。

1部: FIS登録検査プール(RTP) : アスリートはFISアンチドーピング規則および有効なWADAの基準に即して、日ごとの居場所情報を提出する必要がある。

RTPの対象となる選手総数: 289

- クロスカントリー: 115
- ノルディックコンバインド: 37
- アルペン: 87
- スキークロス: 16
- パラノルディック: 29

- RTPのうち55%は男性選手
- RTPのうち45%は女性選手

**2024** 居場所情報提供義務違反 – 記録された居場所情報提供義務違反の総数: 50

- 検査未実施: 39
- 居場所情報提供未実施: 11

2部: FIS追加検査プール : より柔軟性を確保するため、FISは追加検査プールシステムを設立した。このプールには、競技会外検査を実施するために、一定の居場所情報の提供が求められるアスリートが含まれる。

ATPの対象となる選手総数: 123

- スキージャンプ: 21
  - フリースタイル: 45
  - スノーボード: 40
  - パラアルペン: 9
  - パラスノーボード: 6
  - クロスカントリー: 1
  - ノルディックコンバインド: 1
- 
- ATPのうち56%は男性選手
  - ATPのうち44%は女性選手

\*\*\*

#### 14.4 国際/国内ドーピング事例

##### 14.4.1 国際ドーピング事例

前回のFIS理事会への報告以降、国際ドーピング事例は記録されなかった。該当となりうる2件の事例については大会記録マネジメント段階にあるが、本報告時点では完了した事例になることはなかった。

##### 国際パラリンピックドーピング事例 (IPC決定)

| 氏名                   | 国   | 種目       | 検査実施大会 | 実施物質/ 実施形式                        | 罰則   |
|----------------------|-----|----------|--------|-----------------------------------|--|
| POLUKHIN,<br>Nikolay | ロシア | クロスカントリー | 捜査中    | 2011年規程第2.2条に基づく、尿のすり替えという禁止手法の使用 | ソチパラリンピックにおける男子7.5km視覚障がい者パラバイアスロンの成績およびその他個人競技の成績は失格。メダル、ポイント、賞品の剥奪を含む。 |

\*\*\*

##### 14.4.2 国内ドーピング事例

前回のFIS理事会への報告以降、下記の国内ドーピング事例が記録：

世界アンチドーピング規則に基づき、国内アンチドーピング機構により実施された検査によりドーピング事例の決定を再考および/または修正することはできないが、事例に対する決定事項が不当であると一方の組織が判断をした場合、FISおよびWADAは関連する規則および期限に即してスポーツ仲裁機構へ提訴することができる：

| 氏名                        | 国      | 種目           | 検査実施大会               | 実施物質/<br>実施形式                                  | 罰則   |
|---------------------------|--------|--------------|----------------------|--|--|
| BINGQIANG,<br>Mao         | 中国     | フリースタイル      | 2024年2月26日、IC、国内冬季大会 | 利尿薬（アセタゾラミド）                                   | 1年（2025年3月6日まで）および成績失効（2024年3月7日～2025年3月6日）  |
| CHASE, Elana              | コーチ    | フリースタイル      | 中国Bingqiangの事例に関連する  |  | 1年（2025年7月17日まで）   |
| OVSYANNIKOV,<br>Aleksandr | ロシア    | ノルディックコンバインド | 2023年2月23日           | カルフェドン   | 4年（2027年3月30日まで）   |
| PENCHEVA,<br>Tedora       | ブルガリア  | スノーボード       | 2024年4月4日、IC         | S.6 刺激物（シブトラミン）                                | 2年（2026年5月9日まで）；重大な協力による制裁軽減および成績失格（2024年4月4日～2024年5月9日）   |
| PIERCE,<br>Nicholas       | アメリカ   | スノーボード       |                      | 所持および使用未遂（IGF、インスリン様成長因子）；および使用未遂の輸送行為（エフェドリン） | 3年   |
| SAUTIYEVA,<br>Polina      | カザフスタン |              | 2023年12月21日、IC       | スタノゾロール、メタンジェノンおよびOTB代謝物                       | 4年（2028年4月22日まで）   |
| SEIDL, Mario              | オーストリア | ノルディックコンバインド |                      | (血液パスポート事例)                                    | 4年（2019年11月28日～2023年11月27日）および成績失効（制裁期間中、加えて以下の期間も対象：2016年10月6日～2017年2月18日、2019年2月19日～2019年4月1日） |

# FISデベロップメンおよびメンバーシップ部門 : 2024/25シーズンにおけるファクトおよび表

## 定量的な影響

### 到達規模:

- 6,697日に相当するデベロップメント提供-1年間、毎日18名の選手やコーチがスキーを行ったことになる
- 直接サポートした選手・コーチ数: 765名
- 関与した各国スキー連盟: 57協会
- すべてのFISデベロップメント対象である各国スキー連盟のうち87.7%が活動に参加

### 成長の軌跡: 2023/24シーズンとの比較:

- サポート対象の選手・コーチ: 81.3%増
- サポート対象NSA: 20.4%増
- 実施された個別活動: 20.7%増



## 戦略的な影響



### グローバルデベロップメント

3大陸（アジア、ヨーロッパ、南アメリカ）で活動を実施

FISオリンピック・パラリンピック競技すべてを網羅する35種類のユニークな活動デベロップメント対象国のほぼ90%が参加

6,697

年間で提供されたデベロップ活動日数



### 種目-特有の影響

プログラムは種目ごとに異なるものの、いずれも有意義な浸透を示す。とりわけ:

**スキージャンプ/ノルディックコンバインド:** ライセンス保有選手の41.5%が参加し、最も高い影響  
**スノーボード/フリースタイル:** 参加率15.3%、デベロップ対象各国スキー連盟の83.3%が関与

765

直接支援を受けたコーチおよびアスリート

87.7%

発展途上の各国スキー連盟間の参加率

# 体系的影響

## 能力開発

- 準加盟国の初のデベロップメントプログラムへの参加
- FISサミットおよび新設のデベロップメント事業のオリエンテーション・セッションを通じたコミュニケーション強化
- 種目間を超えたコース、ユース・チルドレン委員会の共同セッション

## 長期戦略的影響

### サステナビリティ

- 4年サイクル(2026-2030)でのデベロップメント
- 各国スキー連盟規模に応じた異なるプログラムの立案
- P大規模な各国スキー連盟が発展途上の各国スキー連盟を支援することができるパートナーシップモデル

## エンゲージメントの革新

- 世界スノーデーの取り組みによる、団との新たなエンゲージメントに繋がる道の開拓
- 会員層に応じたFISプラスおよびFISスタートプログラムの開発
- デベロップメントおよびメンバーシップHUBを通じた透明性の高いコミュニケーション

## 総合的影響

全体的な影響として、FISはハイレベルなスキー競技の発展へのアクセスをうまく民主化し、新興国に新たな道を開き、冬季スポーツの持続的なインフラを構築して世界的な長期的成長を実現していることが示唆される。発展途上の各国スキー連盟における87.7%という高いエンゲージメント率は、このプログラムがスキーコミュニティにおける実際の需要に答えていることを示している



## 附属 15b FISプラスおよびFISスタートプログラムの概要

### FISプラスプログラム

**FISプラスプログラム**は、各国スキー連盟（投票権1・2・3票）向けに開発されたプログラムである。2025年版は4月に申請受付を開始してスタートした。

このプログラムは、各国スキー連盟がインテグリティ・サステナビリティ・運営管理といったさまざまな分野で能力を強化できるように設計されており、さらにFISが関心を持つ特定のプログラムも評価・認定する。

FISプラスプログラムへの公式申請は、デベロップメント部門が教育マネージャーと協力して審査を行い、以下の国内スキー協会が支援対象として認められる。

| 国        | 活動事業   | 申請額        | 内示額       |
|----------|--|------------|-----------|
| アルジェリア   | SAC B Judges   | 16'000 CHF | 7'000 CHF |
| ブルガリア    | Training Camp  | 10'000 CHF | 対象外       |
| 中国       | Camp Cross South America 2025                            | 10'000 CHF | 対象外       |
|          | Judges clinic FS&SB in South America                     | 7'000 CHF  | 5'000 CHF |
| ギリシャ     | Shaping the Youth Alpine Athletes                        | 10'000 CHF | 対象外       |
|          | Motivating women participation in CC skiing              | 10'000 CHF | 7'000 CHF |
| ハンガリー    | Become a CrossCountry skier                              | 14'000 CHF | 対象外       |
|          | She leads Cross-Country Skiing                           | 8'000 CHF  | 6'000 CHF |
| 日本       | SAJ Coach Conference 2025                                | 10'000 CHF | 対象外       |
|          | SB Asian Judge Clinic                                    | 3'000 CHF  | 3'000 CHF |
| 韓国       | Asian Snowboard Judge Clinic                             | 1'700 CHF  | 1'700 CHF |
|          | Asian Freeski Judge Development Program                  | 6'000 CHF  | 対象外       |
| マケドニア共和国 | Digital Transformation of Ski Federation North Macedonia | 10'000 CHF | 9'000 CHF |
| パキスタン    | Educational Workshops                                    | 9'000 CHF  | 5'000 CHF |
|          | Ice Hockey Rink  | 27'000 CHF | 否決        |
| ポルトガル    | Snowplay+Program, Seminars and Activities                | 9'500 CHF  | 6'000 CHF |

|          |  |                    |                   |
|----------|--|--------------------|-------------------|
| ルーマニア    | Para Sitting Competition – Alpine skiing | 10'000 CHF         | 5'000 CHF         |
| サンマリノ共和国 | Bring Children to Snow                   | TBD                | 否決                |
|          |  | <b>171'200 CHF</b> | <b>54'700 CHF</b> |

#### FISスタートプログラム

##### ➤ Shred Parks

FISスタートプログラムの一環であるShred Parksは各国スキー連盟が要請する支援および事業についてどれを選択するかが任意となっている。

下記のスキー連盟がアルペンShred Parkへの支援を申請した。

| 国        | 種目            | 備考        |
|----------|---------------|-----------|
| アイスランド   | Alpine skiing | Supported |
| サンマリノ共和国 | Alpine skiing | Supported |

Both NSAs are developing NSAs and applications were submitted directly by the respective NSAs.

##### ➤ Project-Based Support

| 国            | アクティビティ   | 申請額                | 内示額                     |
|--------------|---|--------------------|-------------------------|
| ボスニア・ヘルツェゴビナ | Education Way and Fluor                             | 10'000 CHF         | 2'000 CHF+<br>FISエキスパート |
| ギニアビサウ       | Grass roots Cross-Country skiing startup program    | 20'000 CHF         | 6'000 CHF+<br>FISエキスパート |
| ハンガリー        | FIS Junior Regional Camp and Cup- South-East Europe | 80'000 CHF         | 対象外                     |
| セルビア         | Snow Park Kopaonik                                  | 10'000 CHF         | 5'500 CHF               |
|              |   | <b>120'000 CHF</b> | <b>13'500 CHF</b>       |

+FISエキスパート(約6'000 CHF)

➤ スポーツ&普及支援パッケージ

| 国        | 種目                          | 備考 |
|----------|-----------------------------|----|
| ベラルーシ    | Ski Jumping/Nordic Combined | 承認 |
|          | Snowboard                   | 承認 |
| マケドニア共和国 | Alpine                      | 承認 |
| ポルトガル    | Alpine                      | 承認 |
| ルーマニア    | Alpine                      | 否決 |
|          | Snowboard                   | 承認 |
|          | Ski Jumping/Nordic Combined | 承認 |
| サンマリノ共和国 | Promotion Package           | 承認 |
|          | Alpine                      | 否決 |
|          | Cross-Country               | 承認 |
| セルビア     | Cross-Country               | 承認 |
| ウクライナ    | Snowboard                   | 承認 |

FISスタートプログラム2025は各国スキー連盟に対する大規模な支援プログラムである。2024年の本プログラムの提供からデベロップメント部門は多くの前向きなフィードバックを受けた。支援パッケージをもとに、各国スキー連盟はシーズン内外を問わず基本的なアクティビティを企画および提供できる状況に置かれ、パラアスリートと共に行う内容をを含めすべての種目においてアクティビティを実施する。

各国スキー連盟は、写真や映像資料を添えた書面報告を提出することが求められる。その中でも特に関心を寄せる内容を持つプログラムは、FISデベロップメント・メンバーシップHUBにおいて最良の実践例として紹介される。

#### メンバーシップ – 新規加盟の各国スキー連盟

FISに新規加盟した各国スキー連盟には、歓迎の意を込めて普及支援支援パッケージが一件提供される。普及支援パッケージには、バナー、ゼッケン、マジックスキーサーフェスといった基本的な広報ツールが含まれる。

\*\*\*

## 附属16 – パートナーシップおよびスポンサー契約

現在のパートナーシップおよびスポンサー広告契約の状況は下記の通りである：

### FISワールドカップ タイトル/プレゼンティングスポンサー

#### ノルディック種目 タイトル/プレゼンティングスポンサー

スキージャンプ/ノルディックコンバインド“タイトルスポンサー”：  
Viessmann, 契約年 2025/26まで

スキージャンプ“プレゼンティングスポンサー”：  
Hylo, 契約年 2025/26まで

ノルディックコンバインド“プレゼンティングスポンサー”：  
Azerbaijan Tourism Board, 契約年 2029/30まで

クロスカントリースキー“タイトルスポンサー”：  
Coop, 契約年 2025/26まで

クロスカントリースキー“プレゼンティングスポンサー”：  
Le Gruyère, 契約年 2025/26まで

クロスカントリー“Tour de Ski メインパートナー”：  
Azerbaijan Tourism Board, 契約年 2029/30まで

### アルペン

タイトルスポンサー  
Audi, 契約年 2025/26まで

### Snowboard / Freestyle / Freeski “Title Sponsors”

#### スノーボード/フリースタイルスキー/フリースキー タイトルスポンサー

スキークロス“タイトルスポンサー”：  
Azerbaijan Tourism Board, 契約年 2029/30まで

エアリアル“タイトルスポンサー”：  
Azerbaijan Tourism Board, 契約年 2029/30まで

モーグル“タイトルスポンサー”：  
Azerbaijan Tourism Board, 契約年 2029/30まで

スノーボードクロス“タイトルスポンサー”：  
Azerbaijan Tourism Board, 契約年 2029/30まで

スノーボードアルペン“タイトルスポンサー”：  
Visa, 契約年 2025/26まで

パーク&パイプ（スノーボード／フリースキー）“タイトルスポンサー”：  
募集中

**FISワールドカップデータ・時計スポンサーおよびサービスプロバイダー**

データ／時計スポンサー クロスカントリー：

Certina, 契約年 2025/26まで

データ／時計スポンサー パーク&パイプ：

Swatch, 契約年 2025/26まで

データ／時計スポンサー スキージャンプ／ノルディックコンバインド：

募集中

データ／時計スポンサー フリースタイル／スノーボード：

募集中

データ／時計パートナーおよびサービス／スポンサー アルペンワールドカップ：

Longines（Swiss Timingによるサービス提供）, 契約年 2025/26まで

データ／時計サービス クロスカントリー、スキージャンプ、ノルディックコンバインド：

Swiss Timing, 契約年 2025/26まで

データ／時計サービス FISフリースタイル&スノーボードワールドカップ：

Swiss Timing, 契約年 2025/26まで

**FIS世界選手権大会**

**アルペン**

2027 Crans Montana “プレミアムパートナー”：

Azerbaijan Tourism Board

2029 Narvik “プレミアムパートナー”：

Azerbaijan Tourism Board

**ノルディック種目**

2027 Falun “プレミアムパートナー”：

Azerbaijan Tourism Board

2029 Lahti “プレミアムパートナー”：

Azerbaijan Tourism Board

2026 Ski Flying Oberstdorf “プレゼンティングパートナー”：

Azerbaijan Tourism Board

2028 Ski Flying Planica “プレゼンティングパートナー”：

Azerbaijan Tourism Board

2030 Ski Flying (組織委員会未定) “プレゼンティングパートナー/プレミアムパートナー”:  
Azerbaijan Tourism Board

### スノーボード、フリースタイル、フリースキー

2027 Montafon “プレミアムパートナー”:  
Azerbaijan Tourism Board

2029 Zhangjiakou “プレミアムパートナー”:  
Azerbaijan Tourism Board

### FISパートナー

FIS アパレルパートナー

アルペン: Colmar / ノルディック種目: Craft / フリースタイル&スノーボード: Sun Valley /  
グローブ: Kinettix  
契約年 2026まで

ケーブルウェイ

Doppelmayr / Garaventa, 契約年 2025/26まで (解約通知受領済)

ビデオウォール FISアルペンスキーワールドカップ:  
Faber Audiovisuals, 契約年 2025/26まで

造雪サービス:

TechnoAlpin, 契約年 2025/26まで

Sherpa Snowhow (KRS Sistemi), 契約年 2025/26まで (解約通知受領済)

仮施設:

Nüssli, 契約年 2025まで (自動更新あり)

通信サービス:

Riedel, 契約年 2025まで (更新交渉中)

コース整備サービス フリースタイルスキー&スノーボード:

Prinoth, 契約年 2025まで (更新交渉中)

ハーフパイプグラインダー スノーボード:

Zaugg, 契約年 2025まで

競技資材:

Liski, 契約年 2026まで

ローラースキー提供:

FF Rollerski, 契約年 2025まで

## FISアルペンスキーワールドカップ 2025/26

### 男子 ドラフト 3

| Date                                      | Day            | Site                      | Nation     | DH       | SG       | GS       | SL       | TC       | Remarks      |
|---|----------------|---------------------------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|--------------|
| <b>October 25</b>                         |                |                           |            |          |          |          |          |          |              |
| 26.                                       | Sun            | Sölden                    | FIS/AUT    |          |          | 26.      |          |          | Opening W&M  |
| <b>November 25</b>                        |                |                           |            |          |          |          |          |          |              |
| 16.                                       | Sun            | Levi                      | FIN        |          |          |          | 16.      |          | W&M          |
| 22.                                       | Sat            | Gurgl                     | AUT        |          |          |          | 22.      |          | M&W          |
| 27.-28.                                   | Thu-Fri        | Copper Mt.                | USA        |          | 27.      | 28.      |          |          |              |
| <b>December 25</b>                        |                |                           |            |          |          |          |          |          |              |
| 04.-07.                                   | Thu-Sun        | Beaver Creek              | USA        | 04./05.  | 06.      | 07.      |          |          |              |
| 13.-14.                                   | Sat-Sun        | Val d'Isere               | FRA        |          |          | 13.      | 14.      |          |              |
| 19.-20.                                   | Fri-Sat        | Val Gardena/Gröden        | ITA        | 20.      | 19.      |          |          |          |              |
| 21.-22.                                   | Sun-Mon        | Alta Badia                | ITA        |          |          | 21.      | 22.      |          |              |
| 27.                                       | Sat            | Livigno                   | ITA        |          | 27.      |          |          |          |              |
| <b>January 26</b>                         |                |                           |            |          |          |          |          |          |              |
| 07.                                       | Wed            | Madonna di Campiglio      | ITA        |          |          |          | 07.      |          | Night event  |
| 10.-11.                                   | Sat-Sun        | Adelboden                 | SUI        |          |          | 10.      | 11.      |          |              |
| 16.-18.                                   | Fri-Sun        | Wengen                    | SUI        | 17.      | 16.      |          | 18.      |          |              |
| 23.-25.                                   | Fri-Sun        | Kitzbühel                 | AUT        | 24.      | 23.      |          | 25.      |          |              |
| 27.-28.                                   | Tue-Wed        | Schladming                | AUT        |          |          | 27.      | 28.      |          | Night event  |
| <b>February 26</b>                        |                |                           |            |          |          |          |          |          |              |
| 01.                                       | Sun            | Crans Montana             | SUI        | 01.      |          |          |          |          | WSC Test W&M |
| <b>06.-22</b>                             | <b>Fri-Sun</b> | <b>OWG Milano-Cortina</b> | <b>ITA</b> | <b>X</b> | <b>X</b> | <b>X</b> | <b>X</b> | <b>X</b> |              |
| 28.-01.                                   | Sat-Sun        | Garmisch Partenk.         | GER        | 28.      | 01.      |          |          |          |              |
| <b>March 26</b>                           |                |                           |            |          |          |          |          |          |              |
| 07.-08.                                   | Sat-Sun        | Kranjska Gora             | SLO        |          |          | 07.      | 08.      |          |              |
| 14.-15.                                   | Sat-Sun        | Courchevel                | FRA        | 14.      | 15.      |          |          |          |              |
| 21.-25.                                   | Sat-Wed        | Lillehammer               | NOR        | 21.      | 22.      | 24.      | 25.      |          | Finals W&M   |
| <b>Total resorts 19 / Competitions 38</b> |                |                           |            | 9        | 9        | 9        | 11       |          |              |
| <b>Total Speed / Tech.</b>                |                |                           |            |          | 18       |          | 20       |          |              |

\*:official replacement for speed events:Thu, 18.12. (Val Gardena/Gröden) and Fri, 13.03. (Courchevel)

FISアルペンスキーワールドカップ2025/26

女子 ドラフト 4

| Date   | Day   | Site  | Nation  | DH       | SG         | GS                | SL                | TC       | Remarks                            |
|--|---|---|---|----------|------------|-------------------|-------------------|----------|------------------------------------|
| <b>October 25</b><br>25.   | Sat   | Sölden  | FIS/AUT                                       |          |            | 25.               |                   |          | Opening W&M                        |
| <b>November 25</b><br>15.<br>23.<br>29.-30.  | Sat<br>Sun<br>Sat-Sun   | Levi<br>Gurgl<br>Copper Mt.   | FIN<br>AUT<br>USA                             |          |            |                   | 15.<br>23.<br>30. |          | W&M<br>M&W                         |
| <b>December 25</b><br>06.-07.<br>12.-14.<br>16.<br>20.-21.<br>28.-29.                  | Sat-Sun<br>Fri-Sun<br>Tue<br>Sat-Sun<br>Sun-Mon                   | Tremblant<br>St. Moritz<br>Courchevel<br>Val d'Isère<br>Semmering                                   | CAN<br>SUI<br>FRA<br>FRA<br>AUT               | 12./13.  | 14.        | 06./07.           | 16.<br>29.        |          | Night event                        |
| <b>January 26</b><br>03.-04.<br>10.-11.<br>13.<br>17.-18.<br>20.<br>24.-25.<br>30.-31. | Sat-Sun<br>Sat-Sun<br>Tue<br>Sat-Sun<br>Tue<br>Sat-Sun<br>Fri-Sat | Kranjska Gora<br>Zauchensee<br>Flachau<br>Tarvisio<br>Kronplatz<br>Špindleruv Mlyn<br>Crans Montana | SLO<br>AUT<br>AUT<br>ITA<br>ITA<br>CZE<br>SUI | 10.      | 11.<br>18. | 03.<br>20.<br>24. | 04.<br>13.<br>25. |          | Night event<br><br>WSC Test<br>W&M |
| <b>February 26</b><br>06.-22.<br>28.-01.   | <b>Fri-Sun</b><br>Sat-Sun   | <b>OWG Milano-Cortina</b><br>Soldeu/El Tarter *   | <b>ITA</b><br>AND                             | <b>X</b> | <b>X</b>   | <b>X</b>          | <b>X</b>          | <b>X</b> |                                    |
| <b>March 26</b><br>07.-08.<br>14.-15.<br>21.-25.                                       | Sat-Sun<br>Sat-Sun<br>Sat-Wed                                     | Val di Fassa *<br>Åre<br>Lillehammer  | ITA<br>SWE<br>NOR                             | 07.      | 08.<br>22. | 14.<br>25.        | 15.<br>24.        |          | Finals W&M                         |
| <b>Total resorts 20 / Competitions 37</b>  |   |   |   | 9        | 8          | 10                | 10                |          |                                    |
| <b>Total Speed / Tech</b>  |   |   |   |          | <b>17</b>  | <b>20</b>         |                   |          |                                    |

\*\* official replacement for speed events: Fri 27.02. (Soldeu) and Fri 06.03. (Val di Fassa)

ドラフト: FIS クロスカン트리 スキーワールドカップ 2025/26

| Date   | Day | Site          | Nation | Distance / Format      | Remarks                |
|--|-----|---------------|--------|------------------------|------------------------|
| <b>Period I</b>  |     |               |        |                        |                        |
| 28.11.   | Fri | Ruka          | FIN    | 10 km Interval Start C |                        |
| 29.11.   | Sat | Ruka          | FIN    | Sprint C               |                        |
| 30.11.   | Sun | Ruka          | FIN    | 20 km Mass Start F     |                        |
| 05.12.   | Fri | Trondheim     | NOR    | 10 km Interval Start F |                        |
| 06.12.   | Sat | Trondheim     | NOR    | Sprint C               |                        |
| 07.12.   | Sun | Trondheim     | NOR    | 20 Skiathlon           |                        |
| 12.12.   | Fri | Davos         | SUI    | Team Sprint F          |                        |
| 13.12.   | Sat | Davos         | SUI    | Sprint F               |                        |
| 14.12.   | Sun | Davos         | SUI    | 10 km Interval Start F |                        |
| <b>Period II</b>   |     |               |        |                        |                        |
| <b>Tour de Ski</b>   |     |               |        |                        |                        |
| 28.12.   | Sun | Toblach       | ITA    | Sprint F               |                        |
| 29.12.   | Mon | Toblach       | ITA    | 10 km Interval Start C |                        |
| 31.12.   | Wed | Toblach       | ITA    | 5 km Heat Mass Start F |                        |
| 01.01.   | Thu | Toblach       | ITA    | 15 km C Pursuit*       |                        |
| 03.01.   | Sat | Val di Fiemme | ITA    | Sprint C               |                        |
| 04.01.   | Sun | Val di Fiemme | ITA    | Final Climb            |                        |
| <b>Period III</b>  |     |               |        |                        |                        |
| 17.01.   | Sat | Oberhof       | GER    | Sprint F               |                        |
| 18.01.   | Sun | Oberhof       | GER    | 10 km Interval Start C |                        |
| 23.01.   | Fri | Goms          | SUI    | Team Sprint F          |                        |
| 24.01.   | Sat | Goms          | SUI    | Sprint C               |                        |
| 25.01.   | Sun | Goms          | SUI    | 20 km Mass Start C     |                        |
| <b>04.02. – 22.02.2026 Olympic Winter Games 2026, Milano-Cortina (ITA)</b> |     |               |        |                        |                        |
| <b>Period IV</b>   |     |               |        |                        |                        |
| 28.02.   | Sat | Falun         | SWE    | Sprint F               |                        |
| 01.03.   | Sun | Falun         | SWE    | 20 km Skiathlon        |                        |
| 07.03.   | Sat | Lahti         | FIN    | Sprint F               | <i>Common waxing**</i> |
| 08.03.   | Sun | Lahti         | FIN    | 10 km Interval Start F | <i>Common waxing**</i> |
| 12.03.   | Thu | Drammen       | NOR    | Sprint C               |                        |
| 14.03.   | Sat | Oslo***       | NOR    | 50 km Mass Start F M   |                        |
| 15.03.   | Sun | Oslo          | NOR    | 50 km Mass Start F W   |                        |
| 20.03.   | Fri | Lake Placid   | USA    | 10 km Interval Start C |                        |
| 21.03.   | Sat | Lake Placid   | USA    | Sprint F               |                        |
| 22.03.   | Sun | Lake Placid   | USA    | 20 km Mass Start F     |                        |

FIS Nordic Junior World Ski Championships & U23 WSC Cross-Country, Trondheim (NOR): 02<sup>nd</sup> – 08<sup>th</sup> March 2026

\*Start list based on the Overall Tour de Ski Standing

\*\* TBC – in case of common waxing not possible, techniques to be reviewed. Final decision in the autumn.

\*\*\*50 km for women and men to be held on the same day. Feasibility study to be completed

FIS ローラースキーワールドカップ2025

| Date             | Day | Site   | Nation | Format           | Distance SW/SM | Distance JW/JM |
|------------------|-----|--|--------|------------------|----------------|----------------|
| <b>July</b>      |     | <b>Roller Ski Junior World Championships</b> |        |                  |                |                |
| 17.07.           | Thu | Madona                                       | LAT    | Interval start C | 10k/10k        | 10k/10k        |
| 18.07.           | Fri | Madona                                       | LAT    | Team Sprint F    | 2x3x1.7km      | 2x3x1.7km      |
| 19.07.           | Sat | Madona                                       | LAT    | Sprint F         | 200m           | 200m           |
| 20.07.           | Sun | Madona                                       | LAT    | Mass start F     | 20k            | 14k/14k        |
| <b>August</b>    |     |  |        |                  |                |                |
| 29.08.           | Fri | Trollhättan                                  | SWE    | Sprint F         | 1.3km          | 1.3km          |
| 30.08.           | Sat | Trollhättan                                  | SWE    | Mass start C     | 48km           | 32km           |
| 31.08.           | Sun | Trollhättan                                  | SWE    | Interval start C | 15km           | 7.5km          |
| <b>September</b> |     |  |        |                  |                |                |
| 16.09.           | Tue | Rome   | ITA    | Sprint F         | 150 m          | 150 m          |
| 17.09.           | Wed | Rome   | ITA    | Mass start F     | TBC            | TBC            |
| 19.09.           | Fri | Val di Fiemme                                | ITA    | Sprint F         | 200m           | 200m           |
| 20.09.           | Sat | Val di Fiemme                                | ITA    | Team Sprint F    | 2x3x2.2km      | 2x3x2.2km      |
| 21.09.           | Sun | Val di Fiemme                                | ITA    | Mass Start F     | 15/15km        | 10/10km        |

\* For WC Madona, WC Rome, WC Val di Fiemme events official rollerski equipment will be provided by FF Rollerskis AS <https://ffskis.com/> for all distance events.

\*\*All 200m sprint competitions will be carry out on athletes' own equipment according ICR 396.2.3 - 396.2.4

\*\*\* For WC Trollhättan official rollerski equipment will be provided by 2 brands: Swenor and IDT for all competitions.

ドラフト: FISスキージャンプワールドカップ2025/26 – 男子

| Date  | Day | Site             | Nation | Hill   | Event                    | Remarks                   |
|---|-----|------------------|--------|--------|--------------------------|---------------------------|
| <b>III. Period</b>  |     |                  |        |        |                          |                           |
| 21.11.  | Fri | Lillehammer      | NOR    | HS 140 | Mixed Team               |                           |
| 22.11.  | Sat | Lillehammer      | NOR    | HS 140 | Individual               |                           |
| 23.11.  | Sun | Lillehammer      | NOR    | HS 140 | Individual               |                           |
| 25.11.  | Tue | Falun            | SWE    | HS 105 | Individual               |                           |
| 26.11.  | Wed | Falun            | SWE    | HS 134 | Individual               |                           |
| 29.11.  | Sat | Ruka             | FIN    | HS 142 | Individual               | <b>Nordic Opening</b>     |
| 30.11.  | Sun | Ruka             | FIN    | HS 142 | Individual               |                           |
| 06.12.  | Sat | Wisla            | POL    | HS 134 | Individual               |                           |
| 07.12.  | Sun | Wisla            | POL    | HS 134 | Individual               |                           |
| 13.12.  | Sat | Lake Placid      | USA    | HS 128 | Individual               |                           |
| 14.12.  | Sun | Lake Placid      | USA    | HS 128 | Mixed Team               |                           |
| 20.12.  | Sat | Engelberg        | SUI    | HS 140 | Individual               |                           |
| 21.12.  | Sun | Engelberg        | SUI    | HS 140 | Individual               |                           |
| <b>IV. Period</b>   |     |                  |        |        |                          |                           |
| 29.12.  | Mon | Oberstdorf       | GER    | HS 137 | Individual               | <b>4-Hills Tournament</b> |
| 01.01.  | Thu | Ga-Partenkirchen | GER    | HS 142 | Individual               |                           |
| 04.01.  | Sun | Innsbruck        | AUT    | HS 128 | Individual               |                           |
| 06.01.  | Tue | Bischofshofen    | AUT    | HS 142 | Individual               |                           |
| <b>V. Period</b>  |     |                  |        |        |                          |                           |
| 10.01.  | Sat | Zakopane         | POL    | HS 140 | Team                     |                           |
| 11.01.  | Sun | Zakopane         | POL    | HS 140 | Individual               |                           |
| 17.01.  | Sat | Sapporo          | JPN    | HS 137 | Individual               |                           |
| 18.01.  | Sun | Sapporo          | JPN    | HS 137 | Individual               |                           |
| 23.01.  | Fri | Oberstdorf       | GER    | HS 235 | Individual $\frac{1}{2}$ | <b>SF WSC</b>             |
| 24.01.  | Sat | Oberstdorf       | GER    | HS 235 | Individual $\frac{3}{4}$ |                           |
| 25.01.  | Sun | Oberstdorf       | GER    | HS 235 | Team                     |                           |
| <b>VI. Period</b>   |     |                  |        |        |                          |                           |
| 30.01.  | Fri | Willingen        | GER    | HS 147 | Mixed Team               |                           |
| 31.01.  | Sat | Willingen        | GER    | HS 147 | Individual               |                           |
| 01.02.  | Sun | Willingen        | GER    | HS 147 | Individual               |                           |
| <b>Olympic Winter Games 2026, Milano Cortina (ITA) 06.02 – 22.02.2026</b> |     |                  |        |        |                          |                           |
| 28.02.  | Sat | Kulm             | AUT    | HS 235 | Individual               |                           |
| 01.03.  | Sun | Kulm             | AUT    | HS 235 | Individual               |                           |
| <b>VII. Period</b>  |     |                  |        |        |                          |                           |
| 07.03.  | Sat | Lahti            | FIN    | HS 130 | Individual               |                           |
| 08.03.  | Sun | Lahti            | FIN    | HS 130 | Super Team               |                           |
| 14.03.  | Sat | Oslo             | NOR    | HS 134 | Individual               |                           |
| 15.03.  | Sun | Oslo             | NOR    | HS 134 | Individual               |                           |
| 21.03.  | Sat | Vikersund        | NOR    | HS 240 | Individual               |                           |
| 22.03.  | Sun | Vikersund        | NOR    | HS 240 | Individual               |                           |
| 27.03.  | Fri | Planica          | SLO    | HS 240 | Ski Flying / Ind.        | <b>WC Finale</b>          |
| 28.03.  | Sat | Planica          | SLO    | HS 240 | Ski Flying / Team        |                           |
| 29.03.  | Sun | Planica          | SLO    | HS 240 | Ski Flying / Ind.        |                           |

Olympic Winter Games 2026, Milano Cortina (ITA), 06.02 – 22.02.2026  
 FIS Nordic Junior World Ski Championships, 02-08.03.2026 Trondheim (NOR)

ドラフト: FISスキージャンプワールドカップ2025/26 - 女子

| Date  | Day | Site        | Nation | Hill   | Event      | Remarks                    |
|---|-----|-------------|--------|--------|------------|----------------------------|
| 21.11.  | Fri | Lillehammer | NOR    | HS 140 | Mixed Team |                            |
| 22.11.  | Sat | Lillehammer | NOR    | HS 140 | Individual |                            |
| 23.11.  | Sun | Lillehammer | NOR    | HS 140 | Individual |                            |
| 28.11.  | Fri | Falun       | SWE    | HS 105 | Individual |                            |
| 29.12.  | Sat | Falun       | SWE    | HS 134 | Individual |                            |
| 04.12.  | Thu | Wisla       | POL    | HS 134 | Individual |                            |
| 05.12.  | Fri | Wisla       | POL    | HS 134 | Individual |                            |
| 13.12.  | Sat | Lake Placid | USA    | HS 128 | Individual |                            |
| 14.12.  | Sun | Lake Placid | USA    | HS 128 | Mixed Team |                            |
| 20.12.  | Sat | Engelberg   | SUI    | HS 140 | Individual |                            |
| 21.12.  | Sun | Engelberg   | SUI    | HS 140 | Individual |                            |
| 31.12.  | Wed | Garmisch-P. | GER    | HS 142 | Individual | <b>Two Nights<br/>Tour</b> |
| 01.01.  | Thu | Oberstdorf  | GER    | HS 137 | Individual |                            |
| 03.01.  | Sat | Villach     | AUT    | HS 98  | Individual |                            |
| 04.01.  | Sun | Villach     | AUT    | HS 98  | Individual |                            |
| 10.01.  | Sat | Ljubno      | SLO    | HS 94  | Individual |                            |
| 11.01.  | Sun | Ljubno      | SLO    | HS 94  | Individual |                            |
| 16.01.  | Fri | Zhangjiakou | CHN    | HS 140 | Individual |                            |
| 17.01.  | Sat | Zhangjiakou | CHN    | HS 140 | Individual |                            |
| 20.01.  | Tue | Zao         | JPN    | HS 102 | Individual |                            |
| 21.01.  | Wed | Zao         | JPN    | HS 102 | Individual |                            |
| 24.01.  | Sat | Sapporo     | JPN    | HS 137 | Individual |                            |
| 25.01.  | Sun | Sapporo     | JPN    | HS 137 | Individual |                            |
| 30.01.  | Fri | Willingen   | GER    | HS 147 | Mixed Team |                            |
| 31.01.  | Sat | Willingen   | GER    | HS 147 | Individual |                            |
| 01.02.  | Sun | Willingen   | GER    | HS 147 | Individual |                            |
| <b>Olympic Winter Games 2026, Milano Cortina (ITA) 06.02 – 22.02.2026</b> |     |             |        |        |            |                            |
| 27.02.  | Fri | Hinzenbach  | AUT    | HS 90  | Individual |                            |
| 28.02.  | Sat | Hinzenbach  | AUT    | HS 90  | Individual |                            |
| 06.03.  | Fri | Lahti       | FIN    | HS 130 | Individual |                            |
| 07.03.  | Sat | Lahti       | FIN    | HS 130 | Individual |                            |
| 14.03.  | Sat | Oslo        | NOR    | HS 134 | Individual |                            |
| 15.03.  | Sun | Oslo        | NOR    | HS 134 | Individual |                            |
| 21.03.  | Sat | Vikersund   | NOR    | HS 240 | Individual |                            |
| 22.03.  | Sun | Vikersund   | NOR    | HS 240 | Individual |                            |
| 28.03.  | Sat | Planica     | SLO    | HS 240 | Individual | <b>WC Final</b>            |

Olympic Winter Games 2026, Milano Cortina (ITA), 06.02 – 22.02.2026

FIS Nordic Junior World Ski Championships, 02-08.03.2026 Trondheim (NOR)

ドラフト: FISスキージャンプグランプリ 2025

| Date             | Day | Men                 |                               | Women               |                               |
|------------------|-----|---------------------|-------------------------------|---------------------|-------------------------------|
|                  |     | Site                | Hill                          | Site                | Hill                          |
| <b>I. Period</b> |     |                     |                               |                     |                               |
| 09.08.           | Sat | Courchevel, FRA     | HS 135                        | Courchevel, FRA     | HS 135                        |
| 10.08.           | Sun | Courchevel, FRA     | HS 135                        | Courchevel, FRA     | HS 135                        |
| 16.08.           | Sat | Wisla, POL          | HS 134                        | Wisla, POL          | HS 134                        |
| 17.08.           | Sun | Wisla, POL          | HS 134                        | Wisla, POL          | HS 134                        |
|                  |     |                     |                               |                     |                               |
| 13.09            | Sat | Rasnov (ROU)        | HS 97                         | Rasnov (ROU)        | HS 97                         |
| 14.09.           | Sun | Rasnov (ROU)        | HS 97                         | Rasnov (ROU)        | HS 97                         |
| 18.09.           | Thu | Val di Fiemme (ITA) | HS 109                        | Val di Fiemme (ITA) | HS 109                        |
| 20.09.           | Sat | Val di Fiemme (ITA) | HS 143                        | Val di Fiemme (ITA) | HS 143                        |
| 21.09            | Sun | Val di Fiemme (ITA) | Super Team<br>HS 143          |                     |                               |
| <b>II.Period</b> |     |                     |                               |                     |                               |
| 18.10.           | Sat | Hinzenbach, AUT     | HS 90 – Hybrid                |                     |                               |
| 19.10.           | Sun | Hinzenbach, AUT     | HS 90 – Hybrid                |                     |                               |
| 25.10.           | Sat | Klingenthal, GER    | HS 140 – Hybrid               | Klingenthal, GER    | HS 140 – Hybrid               |
| 26.10.           | Sun | Klingenthal, GER    | Mixed Team HS<br>140 - Hybrid | Klingenthal, GER    | Mixed Team HS 140 -<br>Hybrid |

ドラフト: FISノルディックコンバインドワールドカップ 2025/26 男子&女子

|  |     |                          | MEN    |           | WOMEN  |          |                                    |  |
|--|-----|--------------------------|--------|-----------|--------|----------|------------------------------------|--|
| Date   | Day | Site                     | Hill   | Event     | Hill   | Event    | Remarks                            |  |
| <b>I. Period</b>   |     |                          |        |           |        |          |                                    |  |
| 28.11  | Fri | Ruka, FIN                | HS142  | IC        |        |          | <b>Opening Tour</b>                |  |
| 29.11  | Sat | Ruka, FIN                | HS142  | IG        |        |          |                                    |  |
| 30.11  | Sun | Ruka, FIN                | HS142  | MS        |        |          |                                    |  |
| 05.12  | Fri | Trondheim, NOR           |        |           | HS 102 | IG       |                                    |  |
| 06.12.   | Sat | Trondheim, NOR           | HS 102 | IG        | HS 102 | IG       |                                    |  |
| 07.12  | Sun | Trondheim, NOR           | HS 138 | IG        |        |          |                                    |  |
| 12.12  | Fri | <i>Lake Placid, USA*</i> | HS 128 | MS        | HS 128 | MS       |                                    |  |
| 13.12  | Sat | <i>Lake Placid, USA*</i> | HS 128 | IG        | HS 128 | IC       |                                    |  |
| 19.12  | Fri | Ramsau, AUT              | HS 98  | MS        | HS 98  | MS       |                                    |  |
| 20.12  | Sat | Ramsau, AUT              | HS 98  | IG        | HS 98  | IG       |                                    |  |
| <b>II. Period</b>  |     |                          |        |           |        |          |                                    |  |
| 09.01  | Fri | Otepää, EST              | HS 97  | MS        | HS 97  | MS       |                                    |  |
| 10.01  | Sat | Otepää, EST              | HS 97  | IG        | HS 97  | IG       |                                    |  |
| 11.01  | Sun | Otepää, EST              | HS 97  | IC        | HS 97  | IC       |                                    |  |
| 17.01  | Sat | Oberhof, GER             | HS 100 | IG        | HS 100 | IG       |                                    |  |
| 18.01.   | Sun | Oberhof, GER             | HS 100 | IG        | HS 100 | IG       |                                    |  |
| <b>III. Period</b>   |     |                          |        |           |        |          |                                    |  |
| 24.01  | Sat | Schonach, GER*           | HS 100 | IG        | HS 100 | IG       |                                    |  |
| 25.01  | Sun | Schonach, GER*           | HS 100 | TS        | HS 100 | TS       |                                    |  |
| 30.01  | Fri | Seefeld, AUT             | HS 109 | 10km MS   | HS 109 | 5km MS   | <b>TRIPLE</b>                      |  |
| 31.01  | Sat | Seefeld, AUT             | HS 109 | 7,5km IC  | HS 109 | 5km IC   |                                    |  |
| 01.02  | Sun | Seefeld, AUT             | HS 109 | 12,5km IG | HS 109 | 7,5km IG |                                    |  |
| <b>06.02-22.02.2026 Olympic Winter Games, Milano-Cortina (ITA)</b> |     |                          |        |           |        |          |                                    |  |
| <b>IV. Period</b>  |     |                          |        |           |        |          |                                    |  |
| 27.02  | Fri | Kulm, AUT                | HS 235 | IC        |        |          | Common Waxing**<br>Common Waxing** |  |
| 06.03  | Fri | Lahti, FIN               | HS 130 | IG        | HS 130 | IG       |                                    |  |
| 07.03  | Sat | Lahti, FIN               | HS 130 | MT        | HS 130 | MT       |                                    |  |
| 14.03  | Sat | Oslo, NOR                | HS 134 | IG        | HS 134 | IG       |                                    |  |
| 15.03  | Sun | Oslo, NOR                | HS 134 | IC        | HS 134 | IC       |                                    |  |

FIS Nordic Junior World Ski Championships, 02-08.03.2026 Trondheim (NOR)

\*Pending final confirmation from NSA.

\*\*Final decision to be made during the summer in cooperation with Cross Country.

ドラフト FIS ノルディックコンバインドサマーグランプリ 2025

男子 & 女子

|       |     | Men                |                   | Women              |                   |
|-------|-----|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| Date  | Day | Site, Nation       | Hill, Event       | Site, Nation       | Hill, Event       |
| 27.08 | Wed | Oberstdorf, GER    | HS 137, Compact   | Oberstdorf, GER    | HS137, Compact    |
| 30.08 | Sat | Chaux-Neuve, FRA   | HS 118, Gundersen | Chaux-Neuve, FRA   | HS 118, Gundersen |
| 31.08 | Sun | Chaux-Neuve, FRA   | HS 118, Team Sp   | Chaux-Neuve, FRA   | HS 118, Team Sp   |
| 19.09 | Fri |                    |                   | Val Di Fiemme, ITA | HS109, Gundersen  |
| 20.09 | Sat | Val Di Fiemme, ITA | HS 109, Mixed T   | Val Di Fiemme, ITA | HS109, Mixed T    |
| 21.09 | Sun | Val Di Fiemme, ITA | HS 143, Gundersen |                    |                   |

ドラフト 8

FIS フリースタイルスキー ワールドカップカレンダー 2025/2026

女子 / 男子

| Date  | Day     | Site                        | NAT | MO                | DM         | AE                | AET | AES   | Notes |
|---|---------|-----------------------------|-----|-------------------|------------|-------------------|-----|-------|-------|
| <b>December 25</b>                          |         |                             |     |                   |            |                   |     |       |       |
| 06.-07.                                     | Sat-Sun | Ruka                        | FIN | 07                |            | 06                |     |       |       |
| 13.-14.                                     | Sat-Sun | Idre Fjäll                  | SWE | 13                | 14         |                   |     |       |       |
| 20.-21.                                     | Sat-Sun | Bakuriani                   | GEO | 20                | 21         |                   |     |       |       |
| 20.-21.                                     | Sat-Sun | Secret Garden               | CHN |                   |            | 20                | 21  |       |       |
| <b>January 26</b>                           |         |                             |     |                   |            |                   |     |       |       |
| 06.-07.                                     | Tue-Wed | Lac-Beauport                | CAN |                   |            | 06/07             |     |       |       |
| 09.-10.                                     | Fri-Sat | Val St. Come                | CAN | 09                | 10         |                   |     |       |       |
| 11.-12.                                     | Sun-Mon | Lake Placid                 | USA |                   |            | 11                | 12  |       |       |
| 16.-18.                                     | Fri-Sun | Deer Valley                 | USA | 16                | 17         | 18                |     |       |       |
| <b>February 26</b>                          |         |                             |     |                   |            |                   |     |       |       |
| 06.-21.                                     | Tue-Sat | Milano-Cortina<br>(Livigno) | ITA | 10Q<br>11W<br>12M | 14W<br>15M | 17Q<br>18W<br>19M | 21  |       | OWG   |
| <b>March 26</b>                             |         |                             |     |                   |            |                   |     |       |       |
| 28.-01                                      | Sat-Sun | Nanton-Toyama               | JPN | 28                | 01         |                   |     |       |       |
| 07.-08.                                     | Fri-Sun | Almaty                      | KAZ | 07                | 08         |                   |     |       |       |
| 14.-15.                                     | Sat-Sun | Shahdag                     | AZE | 14                | 15         |                   |     |       |       |
| Locations 12 / Nations 09 / Competitions 44 |         |                             |     | 08/08             | 07/07      | 06/06             | 02  | 00/00 |       |

ドラフト 5

スノーボード フリースキー/パークアンドパイプ FIS ワールドカップカレンダー

2025/2026

女子 / 男子

| Date                                       | Day     | Site          | NAT | Freeski              |                    |                      | Snowboard            |                    |                      | Notes     |
|--|---------|---------------|-----|----------------------|--------------------|----------------------|----------------------|--------------------|----------------------|-----------|
|  |         |               |     | HP                   | SS                 | BA                   | HP                   | SS                 | BA                   |           |
| <b>November 25</b>                         |         |               |     |                      |                    |                      |                      |                    |                      |           |
| 21.-22.                                    | Fri-Sat | Stubai        | AUT |                      | 21-22              |                      |                      |                    |                      |           |
| 27.-30.                                    | Thu-Sun | Secret Garden | CHN |                      |                    | 27-29                |                      |                    | 28-30                |           |
| <b>December 25</b>                         |         |               |     |                      |                    |                      |                      |                    |                      |           |
| 04.-06.                                    | Thu-Sat | Beijing       | CHN |                      |                    | 04-06                |                      |                    | 05-06                | Sun?      |
| 10.-13.                                    | Wed-Sat | Secret Garden | CHN | 11-13                |                    |                      | 10-12                |                    |                      |           |
| 11.-13.                                    | Thu-Sat | Steamboat     | USA |                      |                    | 12-13                |                      |                    | 11-13                |           |
| 17.-20.                                    | Wed-Sat | Copper        | USA | 18-20                |                    |                      | 17-19                |                    |                      |           |
| <b>January 26</b>                          |         |               |     |                      |                    |                      |                      |                    |                      |           |
| 31.-03.                                    | Wed-Sat | Calgary       | CAN | 01-03                |                    |                      | 31-02                |                    |                      |           |
| 07.-10.                                    | Wed-Sat | Aspen         | USA | 08-10                | 07-09              |                      | 07-09                | 08-10              |                      |           |
| 15.-18.                                    | Thu-Sun | Laax          | SUI |                      | 16-17              |                      | 16-17                | 15-17-18           |                      |           |
| <b>February 26</b>                         |         |               |     |                      |                    |                      |                      |                    |                      |           |
| 03.-22.                                    |         | Livigno       | ITA | M 19-20*<br>W 19-21* | W 07-09<br>M 07-10 | W 14-16*<br>M 15-17* | W 11-12*<br>M 11-13* | W 16-17<br>M 16-18 | M 05-07*<br>W 08-09* | OWG       |
| <b>March 26</b>                            |         |               |     |                      |                    |                      |                      |                    |                      |           |
| 07.-08.                                    | Sat-Sun | Ban-K         | JPN |                      |                    |                      | 07-08                |                    |                      |           |
| 12.-14.                                    | Thu-Sat | Stoneham      | CAN |                      | 12-13-14           |                      |                      |                    |                      | TBC       |
| 19.-21..                                   | Thu-Sat | Flachau       | AUT |                      |                    |                      |                      | 19-20-21           |                      | TBC       |
| 18.-21.                                    | Wed-Sat | Tignes        | FRA |                      | 18-19-21           | 18-19-20             |                      |                    |                      |           |
| 25.-29.                                    | Wed-Sun | Silvaplana    | SUI | 26-28                | 25-27              |                      | 27-28                | 26-29              |                      | HP<br>TBC |
| Locations 14 / Nations 7 / Competitions 58 |         |               |     | 5/5                  | 6/6                | 4/4                  | 7/7                  | 4/4                | 3/3                  |           |

Note \* Night Finals

### ドラフト3

## スノーボードアルペンFISワールドカップカレンダー

2025/2026

女子 / 男子

| Date                                       | Day     | Site               | NAT | PGS   | PGS Team | PSL   | PSL Team | Notes    |
|--|---------|--------------------|-----|-------|----------|-------|----------|----------|
| <b>November 25</b>                         |         |                    |     |       |          |       |          |          |
| 27.-28.                                    | Fri-Sun | Mylin              | CHN |       |          | 27/28 |          |          |
| <b>December 25</b>                         |         |                    |     |       |          |       |          |          |
| 06.-07.                                    | Sat-Sun | Thaiwoo            | CHN | 06/07 |          |       |          | TBC      |
| 13.  | Sat     | Cortina d' Ampezzo | ITA | 13    |          |       |          |          |
| 18.  | Thu     | Carezza            | ITA | 18    |          |       |          |          |
| 20.  | Sat     | Davos              | SUI |       |          | 20    |          |          |
| <b>January 26</b>                          |         |                    |     |       |          |       |          |          |
| 10.  | Sat     | Scuol              | SUI | 10    |          |       |          |          |
| 13.-14.                                    | Tue-Wed | Bad Gastein        | AUT |       |          | 13    | 14       |          |
| 17.-18.                                    | Sat-Sun | Bansko             | BUL | 17/18 |          |       |          |          |
| 23.-24.                                    | Fri-Sat | Simonhöhe          | AUT | 23    | 24       |       |          |          |
| 31.  | Sat     | Rogla              | SLO | 31    |          |       |          |          |
| <b>February 26</b>                         |         |                    |     |       |          |       |          |          |
| 10.  | Thu-Sun | Milan - Cortina    |     | 08    |          |       |          | OWG      |
| 28.-01.                                    | Sat-Sun | Krynica            | POL | 28/01 |          |       |          |          |
| <b>March 26</b>                            |         |                    |     |       |          |       |          |          |
| 07.-08.                                    | Sat-Sun | Spindleruy Mlyn    | CZE |       |          | 07/08 |          | Date TBC |
| 14.-15.                                    | Sat-Sun | Val. St.Come       | CAN | 14/15 |          |       |          | Date TBC |
| 21.-22                                     | Sat-Sun | Winterberg         | GER |       |          | 21    | 22       |          |
| Locations 14/ Nations 10 / Competitions 43 |         |                    |     | 13/13 | 01       | 07/07 | 02       |          |

### ドラフト3

## スノーボードクロスFISワールドカップカレンダー 2025/2026

### 女子 / 男子

| Date  | Day            | Site                    | NAT | SBX          | SBX-Team  | Notes      |
|---|----------------|-------------------------|-----|--------------|-----------|------------|
| <b>December 25</b><br>19.-21.               | Fri-Sat        | Cervinia                | ITA | 19-20        | 21        |            |
| <b>January 26</b><br>08.-10.                | Thu-Sat        | Beidahu                 | CHN | 08-09/10     |           | TBC        |
| 12.-13.                                     | Mon-Tue        | Dongbeiya (Shenyang)    | CHN |              |           | Sprint TBC |
| 16.-18.                                     | Fri-Sun        | Tianqiaogou             | CHN | 16-17/18     |           | TBC        |
| 23.-25.                                     | Fri-Sat        | Isola 2000              | FRA | 23-24/25     |           |            |
| <b>February 26</b><br>30.-01.               | Fri-Sun        | Gudauri                 | GEO | 30-31/01     |           |            |
| <i>12.-15.</i>                              | <i>Thu-Sun</i> | <i>Milano - Cortina</i> |     | <i>12-13</i> | <i>15</i> | <i>OWG</i> |
| 28.-01.                                     | Sat-Sun        | EUR (east)              | EUR | 28-01/02     |           | TBC        |
| <b>March 26</b><br>06.-08.                  | Fri-Sun        | Erzurum                 | TUR | 06-07/08     |           |            |
| 11.-12.                                     | Wed-Sat        | Montafon                | AUT | 11-12        |           |            |
| 27.-29.                                     | Fri-Sun        | Mt. St. Anne            | CAN | 27-28/29     |           |            |
| Locations 09 / Nations 08 / Competitions 31 |                |                         |     | 14/14        | 03        |            |

## ドラフト2

### スキークロスFISワールドカップカレンダー 2025/2026

#### 女子 / 男子

| Date                                       | Day     | Site             | NAT | SX          | SX Team | Notes                             |
|--|---------|------------------|-----|-------------|---------|-----------------------------------|
| <b>December 25</b>                         |         |                  |     |             |         |                                   |
| 09.-12.                                    | Tue-Fri | Val Thorens      | FRA | 09-10-11/12 |         | Reserve Day 13.12.<br>Night Event |
| 15.-16.                                    | Mon-Tue | Arosa            | SUI | 15-16       |         |                                   |
| 18.-21.                                    | Thu-Sun | Innichen         | ITA | 18-19-20/21 |         |                                   |
| <b>January 26</b>                          |         |                  |     |             |         |                                   |
| 14.-17.                                    | Wen-Sat | Alleghe          | ITA | 14-15-16/17 |         | Date TBC                          |
| 21.-24.                                    | Wed-Sat | Veysonnaz        | SUI | 21-22-23/24 |         |                                   |
| 28.-31.                                    | Wen-Sat | Val di Fassa     | ITA | 28-29-30/31 |         | Date TBC                          |
| <b>February 26</b>                         |         |                  |     |             |         |                                   |
| 06.-22.                                    |         | Milano - Cortina | ITA | 20-21       |         | OWG                               |
| <b>March 26</b>                            |         |                  |     |             |         |                                   |
| 25.-28                                     | Fri-Sat | Kopaonik         | SRB | 25-26-27/28 |         |                                   |
| 04.-07                                     | Wed-Sat | TBD              | GEO | 04-05-06/07 |         |                                   |
| 11.-12.                                    | Wed-Thu | Montafon         | AUT | 11/12       |         |                                   |
| 18.-21.                                    | Thu-Sun | Craigeleith      | CAN | 18-19-20/21 |         |                                   |
| 27.-29                                     | Fri-Sun | Idre Fjäll       | SWE | 27-28/29    |         | Finals                            |
| Locations 11 / Nations 8 / Competitions 40 |         |                  |     | 20/20       |         |                                   |

Note: 1) 10 = 10<sup>th</sup> Quali+Final date, 2) 09-11 = 09<sup>th</sup> Qu -11<sup>th</sup> Fin date, 3) 09/11 = 09 Qu+Fin/11 Qu+Fin, 4) 09-11/12 = 09<sup>th</sup>Qu-11<sup>th</sup> Fin/ 12 Fin dates)

附属 19 競技役員の任命

19.1 世界選手権大会組織委員会におけるジュリーメンバーおよび主要役員の任命

各技術委員会は、様々なジュリーメンバーおよび技術役員の提案をした。以下一覧は、以前に任命されたものと、新たに提案されたものを太字で示している：

2026年冬季パラリンピック競技大会 Milano-Cortina (イタリア)

アルペンスキー

Technical Delegate Women  
Jury Women

Paul Van Slyke, USA  
Stefano Pirola, CHI  
Anneli Richardsson, SWE  
Petra Eberle, SUI

Technical Delegate Men  
Jury Men

Thomas Braun, GER  
Enrique Diaz, ESP  
Janez Dekleva, SLO Olav  
Skjotskift, NOR

Equipment Control Men  
Equipment Control Women

Mike Kertesz, FIS  
Andi Krönner, FIS

クロスカントリースキー

Technical Delegate 1<sup>st</sup> week  
TD Assistant 1<sup>st</sup> week

Jakub Tejchman, CZE  
Marte Trondsen, NOR

Technical Delegate 2<sup>nd</sup> week  
TD Assistant 2<sup>nd</sup> week

Marte Trondsen, NOR  
Jakub Tejchman, CZE

Jury Member  
Jury Member

Mikko Rantanen, FIN  
Mathieu Fort, FRA

スキージャンプ

Technical Delegate  
TD Assistant  
TD Assistant

Jelko Gros, SLO  
Georg Späth, GER  
Jessica Jerome, USA

Judges

Giovanna Comina ITA  
Tanaka Shynia CAN  
Knoll Peter GER  
Grand Chavin Bruno FRA  
David Piguet SUI  
Marit Stub Nybelius SWE

ノルディックコンバインド

Technical Delegate  
TD Assistant

Günter Csar, AUT  
Stanislav Jirasek, CZE

スノーボード/フリースタイル/フリースキー

Technical Delegate Moguls/Aerials

Technical Delegate Cross

Technical Delegate Halfpipe

Technical Delegate Slopestyle

Technical Delegate Big Air

Technical Delegate SB Alpine

Equipment Control

Start Referee Cross/SB Alpine

Finish Referee Cross/SB Alpine

Head Judge Snowboard

Judges

Head Judge Freeski

Judges

Head Judge Aerials

Head Judge Moguls/Dual Moguls

Judges Moguls / Dual Moguls

Judges Aerials

Video Control AE

Andy Stein, CAN

Anne-Patricia Gugger, SUI

Heejin Park, KOR

Konstantin Mincev, BUL

Paco Krom, NED

Wolfgang Steinberger, AUT

**John Jett, USA**

**Bell Berghuis, NED**

**Vakhtang Kopadze, GEO**

Adam Begg, AUS

Iztok Sumatic, SLO

Ryo HASHIMOTO, 日本

Julien Haricot, FRA

Geoff Peterson, CAN

Andrin Regli, SUI

Gareth Vogan, GBR

Fredrik Westman, SWE

Mark Koelker, USA

Arianna Cau, ITA

Jason Arens, USA

Tobias Gratz, AUT

Elliot Carter, CAN

Anton Björklund, SWE

Jonas Fjelstad, NOR

Florian Brändli, SUI

Dane Kirk, NZL

Victoria Beattie, AUS

William Tucker, GBR

Antonin Ferrari, FRA

Marko Klančar, SLO

Alberto Orsatti, ITA

Zoe Dent-Jabor, AUS

Pipsa Pohjavirta, FIN

Marion Kohly, FRA

Hajime ITO, 日本

Yuliya Degteva, KAZ

Jörgen Eriksson, SWE

Charles Search, USA

Daniel Murphy, CAN

Sen Qiu, CHN

Nicole Gafner-Bumann, SUI

Olga Polyuk, UKR

Emily Cook Lauer, USA

Dmitriy Kavunov, UZB

2026年冬季パラリンピック競技大会, Milano-Cortina (イタリア)

パラアルペンスキー

Technical Delegate Women  
Technical Delegate Men

**Martin Kupco, SVK**  
Dider Bonvin, SUI

Start Referee  
Finish Referee

Paul Trayner, GBR  
Yohan Taberlet, FRA

Assistant Referee

Bostjan Anderlic, FIS

Video Control  
Equipment Controller  
OVR Race Admin

Liu Jin, CHN  
Herbert Klammer, FIS  
Ivan Nemcic, CRO

パラスノーボード

Technical Delegate SBX  
Technical Delegate BSL

Christoph Arndt, AUT  
Lukasz Ligocki, POL

Referee  
Start Referee  
Finish Referee

Wolfgang Steinberger, AUT  
Olga Zinkiv, UKR  
Memet Guney, TUR

Video Control SBX  
Video Control DBSL

Lukasz Ligocki, POL  
Christoph Arndt, AUT

Equipment Controller

**Stefano Arnhold, BRA**

パラクロスカントリー

Technical Delegate  
Technical Delegate Assistant  
Jury Member  
Adaptive Equipment Controller (Classification)  
FIS Equipment Controller

John Aalberg, CAN  
Ingela Kälvedal, SWE  
Alexandr Velechshuk, GER  
Sue Sandwick, USA  
tbc

2026年スキーフライング世界選手権大会, Oberstdorf (ドイツ)

Technical Delegate  
TD Assistant  
TD Assistant

Dolhar Aljosa, SLO  
Gréger Ivo, CZE  
Brenden Kristian, NOR

Judges

Hellauer Werner, GER  
Kelly Johansson / Lyon Curtis, CAN  
Giovanna Comina/Decrignis Martino, ITA  
Akimoto Hidaki, 日本  
Kazimierz Bafia / Andrzej Galica, POL

2026年FISノルディックジュニア世界選手権大会, Trondheim (ノルウェー)

クロスカントリースキー

Technical Delegate  
TD Assistant  
Jury Member

Ji Younbg Bae, KOR  
Christian Strehler, SUI  
Annmari Arnd, GER

スキージャンプ

Technical Delegate  
TD Assistant  
2<sup>nd</sup> TD Assistant

Reed Zuehlke, USA  
Balazic Dolenc Maja, SLO

Judges

Tom Normann, NOR  
Grill Lambert, AUT  
Kozisek Cestmir / Ciklova Marketa, CZE  
Stielow Maik, GER  
Maissen Patric, SUI  
Petra Toivonen, FIN

Nordic Combined  
Technical Delegate  
TD Assistant

Koppinen Vesa, FIN  
Koziskova Jana, CZE

2026年FISアルペンジュニア世界選手権大会, Narvik (ノルウェー)

Technical Delegate Women  
Technical Delegate Men

**TBC**  
**Urban Wickman (SWE)**

Medical Supervisor

2027年FISノルディック世界選手権大会, Falun (スウェーデン)

Cross-Country Skiing  
Technical Delegate 1<sup>st</sup> week  
TD Assistant 1<sup>st</sup> week

Mikko Rantanen, FIN  
JiYoung Bae, KOR

Technical Delegate 2<sup>nd</sup> week  
TD Assistant 2<sup>nd</sup> week  
Jury Member  
Jury Member

JiYoung Bae, KOR  
Mikko Rantanen, FIN  
Doug Debold, USA

スキージャンプ

Technical Delegate  
TD Assistant  
TD Assistant

Hlava Josef, CZE

Judges

SWE  
AUT  
CAN  
FIN  
JPN  
POL

ノルディックコンバインド

Technical Delegate Roggia Andrea, ITA  
TD Assistant Koppinen Vesa, FIN

Medical Supervisor tbc

2027年FISアルペンスキー世界選手権大会, Crans Montana (スイス)

Technical Delegate Women Judith Lluent Vallet, ESP  
Jury Women Bojan Panovski, MKD  
Sarah Chapman, NZL  
Technical Delegate Men Fred Comte, FRA  
Jury Men Roland Johansson, NOR  
Rainer Pirchl, AUT

2027年FISノルディックジュニア世界選手権大会, Schuchinsk (カザフスタン)

クロスカントリースキー

Technical Delegate  
TD Assistant  
Jury Member

スキージャンプ

Technical Delegate  
TD Assistant  
2<sup>nd</sup> TD Assistant

Judges

ノルディックコンバインド

Technical Delegate Torben Hirsch, GER  
TD Assistant Margarita Sokolova, LAT

2027年FISスノーボード, フリースタイル, フリースキー 世界選手権大会,  
Montafon (オーストリア)

Technical Delegate Moguls **Minna Kahru, FIN**  
Technical Delegate Aerials **Sangmok Lee, KOR**  
Technical Delegate Snowboard Alpine **Christoph Behounek, GER**  
Technical Delegate Cross **Michael Neuenschwander, SUI**  
Technical Delegate Halfpipe **Carly Parker, CAN**  
Technical Delegate Slopestyle **Janne Kuusela, FIN**  
Technical Delegate Bir Air **Pascal Perret, SUI**  
Start Referee Ski Cross TBD  
Finish Referee Cross TBD  
Course Advisor Ski Cross TBD  
Finish Referee SB Alpine TBD  
Start Referee SB Alpine TBD  
Start Referee SB Cross TBD  
Course Advisor SB Cross TBD

Equipment Control **John Jett, USA**

Head Judge Aerials TBD

Head Judge Moguls  
Judges Moguls

TBD  
TBD

Judges Aerials

Video Control Aerials

Head Judge Freeski  
Judges

**Tobias Gratz, AUT**  
**Adrian Gaiser, GER**

Hugo Sorrel, FRA Zach Munro, CAN Levi Ascher, USA Bjorn Brovik,  
NOR Felix Bjurdahl, SWE Tom Guilding, GBR Killian Morone, ITA Danke Kirk, NZL

Head Judge Snowboard  
Judges

**Adam Begg, AUS**  
**Andrin Regli, SUI**  
**Max Raymer, USA**  
**Julien Haricot, FRA**  
**Dan Hughes, CAN**  
**Joachim Eltvik, NOR**  
**Beau Fisher, AUS**  
**Tim Zaugg, SUI (SS only)**  
**Catie Cook, USA (SS only)**  
**Arturs Cukunde, LAT (SS only)**

## 23.2 世界選手権大会組織委員会主要役員の任命

各大会組織委員会は、様々なポジションについて以下の通り新たな提案を行い、各FISマネジメントにおいて検討された(新たな提案は太字で表示されている):

### 2026年オリンピック冬季競技大会, Milano-Cortina (イタリア)

#### アルペンスキー

##### Cortina

|                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| Chief of Competition Speed | <b>Davide Viel</b>   |
| Chief of Competition Tech. | <b>Davide Viel</b>   |
| Race Secretary             | <b>TBD</b>           |
| Chief of Course Speed      | <b>Pieruz Aronne</b> |
| Chief of Course Tech.      | <b>Pieruz Aronne</b> |

##### Bormio

|                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| Chief of Competition Speed | Maurilio Alessi         |
| Chief of Competition Tech. | Maurilio Alessi         |
| Race Secretary             | Michela Martinelli      |
| Chief of Course Speed      | <b>Matteo Marsaglia</b> |
| Chief of Course Tech.      | Ciro Sertorelli         |

#### スノーボード, フリースタイル, フリースキー Livigno

|                            |                             |
|----------------------------|-----------------------------|
| Chief of Competition BA    | <b>Eliane Reusser</b>       |
| Chief of Competition HP    | <b>Josh Lyle</b>            |
| Chief of Competition SS    | <b>Bill VanGilder</b>       |
| Chief of Competition Cross | <b>Denis Costantini</b>     |
| Chief of Competition PGS   | <b>Denis Costantini</b>     |
| Chief of Competition MO    | <b>Fausto Chiaravalli</b>   |
| Chief of Competition AE    | <b>Fausto Chiaravalli</b>   |
| Chief of Course BA         | <b>Najc Krali</b>           |
| Chief of Course HP         | <b>Albert Zehetner</b>      |
| Chief of Course SS         | <b>Michael Sonnenberger</b> |
| Chief of Course Cross      | <b>Filippo Maquignaz</b>    |
| Chief of Course PGS        | <b>Victor Gichev</b>        |
| Chief of Course MO         | <b>Loris Leoni</b>          |
| Chief of Course AE         | <b>Manuela Müller</b>       |

### 2026年パラリンピック冬季競技大会, Milano-Cortina (イタリア)

#### パラアルペンスキー

|                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| Chief of Competition | <b>Davide Viel</b> |
|----------------------|--------------------|

#### パラスノーボード

|                      |     |
|----------------------|-----|
| Chief of Competition | TBC |
|----------------------|-----|

#### パラクロスカントリー

|                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| Chief of Competition Ass. |                 |
| Chief of Competition      |                 |
| Competition Secretary     | Chief of Course |
| Chief of Stadium          |                 |

2026年FISアルペンスキー ジュニア世界選手権大会, Narvik (ノルウェー)

|                            |                       |
|----------------------------|-----------------------|
| Chief of Competition Speed | <b>Toni Franz</b>     |
| Chief of Competition Tech. | <b>Toni Franz</b>     |
| Race Secretary             | <b>Unni Forshaug</b>  |
| Chief of Course Speed      | <b>Morten Solberg</b> |
| Chief of Course Tech.      | <b>Morten Solberg</b> |

2027年FISアルペンスキー世界選手権大会, Crans Montana (スイス)

|                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| Chief of Race Women   | <b>Pascal Philippe</b>   |
| Chief of Course Women | <b>Stéphane Robyr</b>    |
| Race Secretary        | <b>Sophie Genoud</b>     |
| Chief of Race Men     | <b>William Besse</b>     |
| Chief of Course Men   | <b>Renzo Mazzuchelli</b> |

\* \* \*

## FIS理事会 2025年10月21日 議事要旨

### 1. 開会

Eliasch会長がFIS理事会を開会し、出席者を歓迎した。

\*\*\*

### 2. 出席者

Johan Eliasch、会長 (FIS)

Danielle Aravich、アスリート代表 (アメリカ)

Deidra Dionne (カナダ)

Tove Moe Dyrhaug (ノルウェー)

Alex Fiva、アスリート代表 (スイス)

Anna Harboe Harboe Falkenberg (デンマーク)

Adam Hall、アスリート代表 (ニュージーランド)

Michael Huber (オーストリア)

Freddy Keirouz Keirouz (レバノン)

Karin Mattsson (スウェーデン)

Tzeko Minev (ブルガリア)

Aki Murasato (日本)

Alexander Ospelt (リヒテンシュタイン)

Dexter Paine (アメリカ)

May Peus (スペイン)

Jean-Philippe Rochat (スイス)

Flavio Roda (イタリア)

Fabien Saguez (フランス)

Franz Steinle (ドイツ)

Fiona Stevens (ニュージーランド)

Verena Stuffer、アスリート代表 (イタリア)

Martti Uusitalo Uusitalo (フィンランド)

Michel Vion、事務総長 (FIS)

Urs Lehmann、CEO (FIS)

オブザーバー :

Aoife Keane、FIS法律顧問

Stefan Ruf、CFAO

### 3. 議題の承認

FIS理事会は議題を承認した。

\*\*\*

### 4. 2025年9月24日付理事会議事録

2025年9月24日開催の理事会に関する機密議事録および議事要旨は2025年10月1日に送付され、その修正版が2025年10月7日に送付された。

理事会の過半数により承認された議事要旨は、2025年10月14日に公表された。

FIS理事会は機密議事録を承認した。

\*\*\*

### 5. 会長報告

スポーツ・ポジティブ賞「インスパイアード・イノベーション」部門：FIS CO<sub>2</sub>カリキュレーター

FIS CO<sub>2</sub>カリキュレーターは、スポーツにおける持続可能性への先駆的な貢献が評価され、スポーツ・ポジティブ賞の「インスパイアード・イノベーション」部門を受賞した。FISがグリーン・プロデューサーズ・ツールと共同開発したこの実用的かつ無料のリソースは、世界的に認知されたGHGプロトコルに基づき、イベント主催者によるCO<sub>2</sub>排出量のシミュレーション、測定、削減を可能にするものである。従来の計算ツールとは異なり、事前の計画策定も支援し、主催者が最終決定前に、より環境負荷の低い選択を行えるよう後押しする。すでに複数のワールドカップおよび世界スキー選手権大会で導入されており、排出量の回避、報告体制の強化、そして気候変動対策のイベント設計への統合に貢献している。建設関連の排出量算定機能の統合など、さらなる開発が進行中であり、FIS CO<sub>2</sub>カリキュレーターは、スポーツ界におけるデータに基づいた積極的なサステナビリティの新たな基準を打ち立てている。この素晴らしい功績に対し、FISサステナビリティ・ディレクターのSusanna Sieff氏およびチーム全員に心からの賛辞を送りたい。

## 次世代へのインスピレーション：FISとISFの連携によるスノースポーツの学校教育への導入

国際スキー・スノーボード連盟（FIS）と国際学校スポーツ連盟（ISF）は、学校スポーツにおけるスキーおよびスノーボードの普及に向けた協力体制を強化するため、覚書（MOU）を締結した。このパートナーシップは、世界中の学齢期の子どもたちの参加を奨励することを目的としており、特に女子の参加拡大に重点を置いている。また、各国学校スポーツ連盟においてスキーとスノーボードを公認競技として確立すること、ISF主催大会へのFISによる技術支援を円滑化すること、そしてユーススポーツにおけるフェアプレー、サステナビリティ、インテグリティを推進することも目指している。共同イニシアチブ、コミュニケーション、専門知識の共有を通じて、この連携はスノースポーツにおける発展、革新、教育の新たな機会を育むものとなるだろう。

## 炭素会計の強化にみるFISのサステナビリティへのコミットメント

FISは2024年の組織活動および2024/25シーズンの大会関連のCO<sub>2</sub>排出量の算定と報告を完了し、その正確性と透明性において大きな進歩を遂げた。FIS CO<sub>2</sub>カリキュレーターを導入によりデータ品質が大幅に向上し、すべての大会においてより詳細な排出量算定が可能となった。2024年、FISは組織のカーボンフットプリントを7.5%削減し1,999.2 tCO<sub>2</sub>eを達成したほか、エネルギー使用効率の大幅な向上により、従業員一人当たりの排出量を19%削減した。2024/25シーズンの大会関連排出量は、報告対象範囲が拡大したにもかかわらず、前年比3.4%減の506,514 tCO<sub>2</sub>eとなった。排出の主な要因は依然として業務渡航と観客の移動であり、計画の改善とサステナビリティに関する取り組みを通じてこれらの課題に対応している。独立機関による方法論の審査では、FISの報告が透明かつ堅牢であり、ベストプラクティスに準拠していることが確認された。これは、すべての事業および大会において、エビデンスに基づく気候変動対策と継続的な改善に取り組むFISの姿勢を明確に示すものである。

## FIS、アジアにおけるスノースポーツの発展を拡大

FISは、香港スキー総会および上海市浦東新区スノースポーツ協会と覚書を締結し、アジアにおけるスノースポーツの発展へのコミットメントを強化した。これらの提携は、広州、深圳、上海に新設されたFIS公認の屋内施設に支えられ、通年でスノースポーツに親しむための重要な一歩となる。本合意に基づき、同地域全体でFISのトレーニング、競技会、教育プログラムが実施可能となり、インクルージョンとグラスルーツレベルでの参加が促進される。FISはまた、国際基準のコースに対する技術的専門知識の提供と公認も行っていく。これらの取り組みが一体となり、アスリートの育成強化、アクセシビリティの向上、そしてアジアにおけるウィンタースポーツの成長拠点としての各地域の地位確立に貢献するだろう。

## FISサミット2025：連携、コーチング、コミュニケーションに焦点

チューリッヒで開催された2025年FISサミットには、58カ国の国内スキー連盟の代表者が集い、FISが掲げる結束と連携へのコミットメントを再確認した。本サミットでは、コーチの育成と進化するコミュニケーションの実践が中心テーマとなった。各セッションでは、持続可能なコーチング、パフォーマンス分析におけるテクノロジーの活用、そしてアスリートに対するメディアトレーニングの重要性の高まりなどが探求された。ミラノ・コルティナ2026組織委員会およびFISの講演者は、主要な国際大会におけるメディア対応に関する知見を共有した。一日の締めくくりとして、FISディベロップメント・ディレクターのDimitrije Lazarovski氏は、世界のスノースポーツコミュニティがオリンピック・パラリンピックシーズンを見据えるなか、本サミットが知見の共

有とイノベーションを促進するプラットフォームとしての役割を果たしたと総括した。

## **FISブレティン2025：画期的なシーズンを振り返る**

新たなウィンターシーズンの準備が始まるなか、FISは2024/25シーズンの功績を包括的に振り返る「FISブレティン2025」を発行した。本誌には、サステナビリティ、ディベロップメント、インテグリティ、メディア&マーケティング、財務、スポーツといった主要分野における上級役員の洞察が掲載されている。また、昨シーズンを象徴するFIS世界選手権を特集し、卓越したパフォーマンス、運営面での画期的な成果、そしてスノースポーツの継続的な世界的成長を称えている。デジタル版は以下のリンクより閲覧可能：[FIS Bulletin 2025](#)。

\*\*\*

## **Urs Lehmann氏による報告**

Urs Lehmann氏は、就任後30日間の包括的なレビューを経て、組織の強みと改善点の双方を指摘した。一部の組織構造や委員会は数十年前の慣行から変わっておらず、旧態依然としており、進歩の妨げとなっている可能性がある。アルペンは最も価値のあるプロダクトとして認識されており、エキスポ委員会は効果的に機能している一方、アルペン執行委員会などの他の委員会は近代化が必要である。

将来に向けて、以下の3つの優先事項が設定された：

1. 持続可能な運営を確保するための、**財政収入と分配の均衡化**。
2. **より魅力的なプロダクトを開発し**、さらなる価値を創出する。特にアルペンとワールドカップに重点を置きつつ、コンチネンタルカップなど第2層の強化も図る。組織全体の成長には、これらのレベルにおける強固なソリューションが不可欠である。
3. 既存のリソースをより効果的に集約して**組織を強化し**、効率性と有効性を高める。

今後の詳細な洞察や深い見解については、連携と継続的な改善を重視しつつ、次回の理事会または個別協議の場で共有される予定である。

\*\*\*

## **6. FIS放映権執行委員会の最新情報**

Diego Züger氏が放映権執行委員会の最新状況を報告した。販売は順調に進んでおり、スカンジナビア、スイス、オーストリア、ロシアとの契約が成立し、スロベニアとは協議が継続中であると述べた。現在の焦点は、汎ヨーロッパ、米国、ドイツである。同氏は2つの前向きな進展を強調した。一つはオーストリアが放映権の一元化に参加したこと、もう一つは世界選手権に関する解決策が見出され、放送局がスキーマの放映権を一括で購入できるようになったことである。また、デジタルガイドラインやメディア運用マニュアルといった現在進行中のデジタル施策にも言及し、これらは放映権の一元管理が始まる前からテレビプロダクトの質的向上に寄与すると述べた。

さらに、大会中止時の代替開催を容易にするための枠組み作りが進められていることを説明し、2026年から2030年までの4年サイクルを目指す長期的なカレンダー策定の重要性を強調した。追

加のプロジェクトとして、映像制作やデータ・計時システムの統合などが挙げられる。会議は3～4週間ごとに開催され、次回はゼルデンで予定されている。

同氏は、ファン調査（参加者6,000～7,000人）やスポンサー、放送局へのインタビューから得られた知見に基づき、商業的価値を高めるためにプロダクトを進化させる必要性を力説した。改善すべき主要な領域として、競技フォーマットの強化（短縮化、出場選手数の縮小、シーズン長期化）、テレビプロダクトの品質、スポンサーアクティベーション、アスリートの関与拡大、デジタル・ソーシャルコンテンツの拡充、イベントブランディングの標準化が特定された。一部の変更は早期に実施可能だが、フォーマットやコアプロダクトに影響する変更には、より多くの時間と慎重な検討が必要であると述べた。次のステップとして、提言の最終決定、専門家の関与、そして変更の実現可能性と全競技レベルでの整合性の確保が進められる。

\*\*\*

## 7. 男女競技の出場資格方針

出場資格方針の実施に向けたロードマップが、作業文書と共にFIS理事会に提出された。

Sarah Fusetk氏が、男女競技の出場資格方針について詳細を説明した。彼女は2026年7月の実施に向けたロードマップの概要を示し、各国スキー連盟（NSA）やアスリートとの継続的な連携を強調するとともに、SRV遺伝子検査に関する各国の法的・倫理的課題に対応する必要性を指摘した。このプロセスには、フィードバックの収集、ガイドラインの最終化、教育プログラム展開の準備が含まれ、必要に応じてFISが現地での検査を提供する可能性もある。また、世界陸連（ワールドアスレティックス）およびIOCと緊密に連携していることに言及し、FISがこの方向へ進む最初の国際競技連盟の一つであることを認めた。

理事会メンバーから提起された主な論点には、機密保持、データ保護、そして医事委員会・法務委員会との連携の重要性が含まれていた。また、特定の国におけるコミュニケーション、費用負担、法的な問題に関する質問もなされた。本方針はまだ策定段階にあり、ミラノ・コルティナ冬季大会を前に性急に進める必要はなく、今後の進捗は会長報告で提供されることが明確化された。

理事会は方針の策定を継続することに合意し、詳細および実施計画は今後の会議で提示されることとなった。本方針は未だ承認されておらず効力を有しておらず、実施には理事会の正式な承認が必要である。

\*\*\*

## 8. ミラノ・コルティナ冬季オリンピックにおける個人の中立選手（AIN）の扱い

FIS理事会において、Johan Eliasch会長が、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックの予選へのロシアおよびベラルーシ選手の参加に関するプロセスを明確化した。

FIS定款を遵守することの重要性が強調され、定款第5.2条にFISの活動は政治的に中立な形で行われなければならないと規定されている点が指摘された。さらに、オリンピック憲章にも同様の文言があることが付言された。最近の動向として、IPCによるロシアおよびベラルーシ選手への出場停止措置の解除や、ボブスレー競技において中立選手の出場を認めないことは差別的であるとした仲裁判断などが議論された。理事会はまた、正会員連盟の半数以上から得た調査結果を検討

し、ロシアおよびベラルーシ選手がAIN（個人の中立選手）としてFISの予選に参加することに対し、賛成60%、反対40%であったことが示された。

ロシア選手に対するアンチ・ドーピングプログラムは中断なく継続されており、国際機関がコンプライアンスを確保するために検査を実施していることが確認された。

理事会メンバーからは多様な意見が表明され、スポーツの政治利用を理由に引き続き出場を認めるべきではないとの主張があった一方、国籍を理由とする差別は避けるべきであるとの意見もあった。

#### 投票事項

FISは、ロシアおよびベラルーシの選手が、IOCのAIN資格基準を厳格に遵守することを条件として、2026年ミラノ・コルティナ冬季オリンピック・パラリンピックのFIS予選にAINとして参加することを許可すべきか。ただし、各NSAは、自国の管轄内で開催される予選に当該国の選手が参加できるか否かを決定する裁量権を保持するものとする。

#### 結果

**FIS理事会の過半数が反対票を投じた。**

\*\*\*

ロシアおよびベラルーシ選手の参加に関する最初の投票後、ベラルーシのみを対象とした個別の投票を行う提案がなされた。理事会はこの提案に合意し、ベラルーシのみに焦点を当てた2回目の投票が実施された。

#### 投票事項

FISは、ベラルーシの選手が、IOCのAIN資格基準を厳格に遵守することを条件として、2026年ミラノ・コルティナ冬季オリンピック・パラリンピックのFIS予選にAINとして参加することを許可すべきか。ただし、各NSAは、自国の管轄内で開催される予選に当該国の選手が参加できるか否かを決定する裁量権を保持するものとする。

#### 結果

**FIS理事会の過半数が反対票を投じた。**

\*\*\*

## 9. FIS世界選手権

### 9.1. FIS世界選手権に関する報告

- 2026年FISスキーフライング世界選手権、Oberstdorf（ドイツ）、2026年1月23日～25日
- 2027年FISアルペン世界スキー選手権、Crans-Montana（スイス）、2027年2月1日～14日
- 2027年FISノルディック世界スキー選手権、Falun（スウェーデン）、2027年2月17日～28日

- 2027年FISスノーボード・フリースタイル・フリースキー世界選手権、Montafon（オーストリア）、2027年3月7日～20日
- 2027年FISパラアルペンスキー世界選手権、Tignes（フランス）、2027年3月7日～19日
- 2028年FISスキーフライング世界選手権、Planica（スロベニア）、2028年3月24日～26日
- 2029年FISアルペンスキー世界選手権、Narvik（ノルウェー）、日程未定
- 2029年FISノルディック世界スキー選手権、Lahti（フィンランド）、日程未定
- 2029年FISスノーボード・フリースタイル・フリースキー世界選手権、張家口（中国）、2029年1月28日～2月11日
- 2031年FISアルペンスキー世界選手権、Val Gardena（イタリア）、日程未定。

報告書は本リンクよりダウンロード可能。

\*\*\*

## 9.2. FIS世界選手権の開催申請および候補地

- ノルウェースキー連盟がVikersundと共同で、2030年FISスキーフライング世界選手権の開催を申請した。
- スロベニアスキー連盟がPlanicaと共同で、2031年FISノルディックスキー世界選手権の開催を申請した。
- ドイツスキー連盟がOberstdorfと共同で、2031年FISノルディックスキー世界選手権の開催を申請した。

延長後の申請期限である2025年9月30日時点で、2031年FISスノーボード・フリースタイル・フリースキー世界選手権およびFISパラ世界選手権の開催申請はなかった。したがって、FIS理事会に対し、申請期限を2026年1月31日まで再延長することを提案する。

加えて、柔軟性を高め、より幅広い潜在的な主催者を誘致するため、FISスノーボード・フリースタイル・フリースキー世界選手権の招致をイベントクラスター（種目群）ごとに分割して検討することを推奨する。

\*\*\*

理事会は、2030年および2031年のFIS世界選手権の候補地を了知した。

理事会は、申請期限の延長およびイベントクラスターの分割検討に関する勧告を承認した。

\*\*\*

## 9.3. FIS世界選手権大会組織規則 – 更新版

FIS世界選手権大会組織規則の更新版が、作業文書と共にFIS理事会に提出された。

本規則は、近年の世界選手権から得られた主要な知見、ならびにスポーツおよびガバナンスにおける継続的な進展を反映して更新された。

主な変更点は以下の通り：

- 育成トレーニングデーの定義（第4条）。
- 予選規定の更新（第8条）。
- 明確性向上のための表の簡素化（例：第9条、第13条）。
- 役員数および関連情報の調整（第9条、第11条、第13条）。
- 宿泊および付帯権利の更新（第13条）。
- 規則の意味を変更することなく、解釈の簡素化を目的としたその他の明確化および軽微な規則変更。

理事会は、特定の議題についてより詳細に検討するため、FIS世界選手権大会組織規則の承認を春季まで延期した。

\*\*\*

## 10. FISジュニア世界選手権

- 2026年FISノルディックジュニア世界スキー選手権、Lillehammer（ノルウェー）
- 2026年FISアルペンジュニア世界スキー選手権、Narvik（ノルウェー）
- 2026年FISスノーボード・フリースキー パーク&パイプ ジュニア世界選手権、Calgary（カナダ）、2026年2月23日～3月7日
- 2026年FISエアリアル&モーグル ジュニア世界選手権、Airolo（スイス）

\*\*\*

### 10.1. FISジュニア世界選手権の開催申請および候補地

- スイススキー連盟（Swiss-Ski）がSt. Moritzと共同で、2026年3月13日～22日開催のFISスキー・スノーボードクロス ジュニア世界選手権の開催を申請した。

- ドイツスキー連盟がWinterbergと共同で、2026年FISスノーボードアルペン ジュニア世界選手権の開催を申請した。

- スロベニアスキー協会がRoglaと共同で、2026年スノーボードアルペン ジュニア世界選手権の開催を申請した。

FISスノーボードアルペン ジュニア世界スキー選手権の開催地は、世界スキー選手権規則第3.3条に従って選定されるものとする。2026年の開催地に選ばれなかった候補地が引き続き開催に関心を示す場合、2027年大会の開催地として優先的に考慮される可能性がある。

\*\*\*

期限後にイタリアから追加の立候補があったが、これは審議の対象外とされた。FIS事務局はドイツとスロベニアの立候補を審査し、競技的な観点から最善の解決策を決定する。落選した候補地には、翌年の開催に関する優先権が付与される。

重要事項：

原則として、FISジュニア世界スキー選手権の開会式では、可能な限り開催国の理事会メンバーがFISを代表するものとする。

\*\*\*

## 11. 賞金に関する最新情報

Michael HuberがFISの賞金状況に関する最新情報を報告し、財政的制約から個々のワールドカップ大会へのFISによる直接支援を終了する必要性を強調した。一方で、世界スキー選手権への支援（約200万～250万スイスフラン）は維持すると述べた。

理事会は、2026/27シーズンにおいてはFISによる20%の支援のみを継続し、追加の10%は現地主催者が負担することを承認した。

\*\*\*

## 12. 主要大会における役員

### 12.1. 世界選手権および冬季オリンピックにおけるジュリーメンバー

2024年11月8日の会議において、理事会はFIS世界選手権およびその他の主要大会のジュリーメンバーを任命した。各技術委員会は2025年春季会議を経て、各種ジュリーメンバーおよび技術役員の提案を提出した。以下のリストには過去の任命分も含まれる（新規提案は太字で表記）。

FIS技術委員会会議後の更新リストは、付属資料12を参照のこと。

\*\*\*

### 12.2. 世界選手権大会組織委員会における主要技術役員の承認

2024年11月8日の会議において、理事会は競技委員長/レース委員長、コース/ヒル委員長、およびその他の主要技術役員を承認した。各組織委員会は各種役職について新たな提案を行い、これらは各FIS競技運営部門により審査された（新規提案は太字で表記）。

FIS技術委員会会議後の更新リストは、付属資料12を参照のこと。

\*\*\*

理事会は、主要大会における役員の新規指名を承認した。

\*\*\*

### 13. アルペンスピード競技の安全性

計画されている取り組みと措置に関するプレゼンテーションが、作業文書と共にFIS理事会に提出された。

Urs Lehmann氏が、アルペンスキーにおける継続的な安全対策の取り組みについて概説し、特に近年の重大事故を受け、このスポーツの持続性と信頼性を守ることが目標であると強調した。このアプローチは主に3つの領域に焦点を当てている。すなわち、スピード系コースに関する国内公認とFIS公認の整合、安全基準の引き上げ（特にワールドカップ開催地）、そしてすべてのステークホルダーに対する教育の拡充である。計画には、公認状況に関する世界的な調査、選定されたコースへのより厳格な安全プロトコルの導入、用具規定の更新が含まれる。教育に関する取り組みは、インシデントから学ぶ文化とアスリート自身の自己認識を促進する。このプロセスには各国スキー連盟や専門家との連携が不可欠であり、2026/27シーズンに向けた具体的な提案や規則変更が予定されている。

\*\*\*

### 14. FIS技術委員会からの提案および要請

#### 14.1 ノルディック委員会からの提案および要請

理事会は、以下の修正を加えた上で、ノルディック委員会からの提案と要請を承認した：

クロスカンントリー

- ワールドカップの賞金規則を明確化するため、文言の軽微な調整を行う。
- 賞金表の小規模な修正（例：個人種目に50ユーロ、個人・チーム種目双方に40ユーロを追加）。
- 反復的な非スポーツマン的行為に対する即時失格規定（ICR 352.2.4）を再検討し、すべての種目に適用される一般規定として（ICR 200番台に）再記述する。

スキージャンプ

- 理事会は、責任の所在、倫理違反への対応手順、および異議申し立て手続きを明確化する追加作業を行うことを条件に、来シーズンから本システムを導入することに合意した。

#### 14.2 スノーボード、フリースタイル、フリースキー委員会からの提案および要請

理事会は、以下のコメントを付して、スノーボード、フリースタイル、フリースキー委員会からの提案と要請を承認した：

- 2025/26シーズンにおいて、特定の種目の出場枠を男女間で移行可能とするが、潜在的なリスクとIOC規則を考慮し、これは1シーズン限りの試験的措置とする。

#### 14.3 パラスノースポーツ委員会からの提案および要請

理事会は、パラスノースポーツ委員会からの提案と要請を承認した。

#### 14.4 テレマーク委員会からの提案および要請

理事会は、テレマーク委員会からの提案と要請を承認した。

#### 14.5 スピードスキー委員会からの提案および要請

理事会は、以下の修正を加えた上で、スピードスキー委員会からの提案と要請を承認した：

- 競技者代表は、選手によって任命される。

- 選手代表は、選手によって選出され、FIS規則および委員会付託事項で定義されるFIS選手委員会のメンバーとなることができる。

#### 14.6 グラススキー委員会からの提案および要請

理事会は、ワールドカップ・ディレクターの役職名がワールドカップ・コーディネーターに変更されることを確認の上、グラススキー委員会からの提案と要請を承認した。

#### 14.7 広告委員会からの提案および要請

理事会は、LEDスタートハウスに関する提案を承認した。

理事会は、現在進行中の法的・規制上の不確実性を理由に、ジャンプスキーの新たな広告プラットフォームの導入を延期することを決定した。

#### 14.8 ユース&チルドレン調整グループからの提案および要請

理事会は、ユース&チルドレン調整グループからの提案を承認した。

#### 14.9 FIS教育部門からの提案および要請

理事会は、FIS教育部門からの提案を承認した。

\*\*\*

### 15. 国際スキー会議

#### 15.1 2026年国際スキー会議

FIS理事会は、2026年FIS会議に各正会員協会から1名の代表者を招待するという従来の方針を継続し、旅費（航空券）および宿泊費をFISが負担することを承認した。

#### 15.2 2028年国際スキー会議

提案された開催候補地の概要が、作業文書と共にFIS理事会に提出された。

提案および現地視察報告を検討した結果、理事会の過半数により、ヴィリニユス（リトアニア）が2028年FIS会議の開催都市として選出された。

\*\*\*

## 16. その他

### 16.1 会計年度の変更

2025年9月24日のFIS理事会において、財務委員会委員長のMartti Uusitalo Uusitalo氏が、会計年度を2026年より4月1日から3月31日までに変更することを提案した。これは、以前に承認された期間（2025年FIS会議にて承認）である5月1日から4月30日までに代わるものである。

理事会は、財務委員会からの要請を承認した。

\*\*\*

### ウクライナへの財政支援

理事会は、ウクライナスキー連盟に対する12万ユーロの追加財政支援の継続を承認した。

\*\*\*

### Marcus Hauser氏の任命

Eliasch会長は、FISに新たに参加するMarcus Hauser氏が、副事務総長の役職を兼任することを報告した。

\*\*\*

### 16.2 ベルン州商業登記簿へのUrs Lehmannの登録

理事会に対し、Urs Lehmannを最高経営責任者（CEO）として、共同署名権（2名による連署）付きでベルン州商業登記簿に登録することの承認が求められた。

理事会は、Urs LehmannをCEOとしてベルン州商業登記簿に登録する要請を承認した。

\*\*\*

### 16.3 FIS PlusおよびFIS Startプログラム

FIS理事会による了知のため、FIS PlusおよびFIS Startプログラムの概要を付属資料16.3に示す。

理事会は、FIS PlusおよびFIS Startプログラムに関する報告を了知した。

\*\*\*

## 17. 次回FIS理事会

次回会合の日程は、後日通知される。

\* \* \*

## 18. 閉会

Eliasch会長は、17時15分に会議を閉会した。

\* \* \*

Oberhofen、2025年10月21日

Michel Vion

事務総長

## 付属資料12 役員の任命

### 12.1 世界選手権大会組織委員会におけるジュリーメンバーおよび主要技術役員の任命

各技術委員会は、各種ジュリーメンバーおよび技術役員の提案を提出した。以下のリストには、以前の任命者に加え、新規の提案者が太字で含まれている：

#### 2026年冬季オリンピック、ミラノ・コルティナ（イタリア）

##### アルペンスキー

|        |                           |
|--------|---------------------------|
| 女子技術代表 | Paul Van Slyke、米国         |
| 女子ジュリー | Stefano Pirola、チリ         |
|        | Anneli Richardsson、スウェーデン |
|        | Petra Eberle、スイス          |
| 男子技術代表 | Thomas Braun、ドイツ          |
| 男子ジュリー | Enrique Diaz、スペイン         |
|        | Janez Dekleva、スロベニア       |
|        | Olav Skjotskift、ノルウェー     |
| 男子用具検査 | Mike Kertesz、FIS          |
| 女子用具検査 | Andi Krönner、FIS          |

##### クロスカントリースキー

|              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 技術代表 1週目     | Jakub Tejchman、チェコ    |
| TDアシスタント 1週目 | Marte Trondsen、ノルウェー  |
| 技術代表 2週目     | Marte Trondsen、ノルウェー  |
| TDアシスタント 2週目 | Jakub Tejchman、チェコ    |
| ジュリーメンバー     | Mikko Rantanen、フィンランド |
| ジュリーメンバー     | Mathieu Fort、フランス     |

## スキージャンプ

|          |                            |
|----------|----------------------------|
| 技術代表     | Jelko Gros、スロベニア           |
| TDアシスタント | Georg Späth、ドイツ            |
| TDアシスタント | Jessica Jerome、米国          |
| 飛型審判員    | Giovanna Comina、イタリア       |
|          | Tanaka Shynia、カナダ          |
|          | Knoll Peter、ドイツ            |
|          | Grand Chavin Bruno、フランス    |
|          | David Piguet、スイス           |
|          | Marit Stub Nybelius、スウェーデン |

## ノルディック複合

|          |                       |
|----------|-----------------------|
| 技術代表     | Günter Csar、オーストリア    |
| TDアシスタント | Stanislav Jirasek、チェコ |

## スノーボード、フリースタイル&フリースキー

|                     |                             |
|---------------------|-----------------------------|
| 技術代表 モーグル/エアリアル     | Andy Stein、カナダ              |
| 技術代表 クロス            | Anne-Patricia Gugger、スイス    |
| 技術代表 ハーフパイプ         | Heejin Park、韓国              |
| 技術代表 スロープスタイル       | Konstantin Mincev、ブルガリア     |
| 技術代表 ビッグエア          | Paco Krom、オランダ              |
| 技術代表 SBアルペン         | Wolfgang Steinberger、オーストリア |
| 用具検査                | John Jett、アメリカ              |
| スタート審判 クロス/SBアルペン   | Bell Berghuis、オランダ          |
| フィニッシュ審判 クロス/SBアルペン | Vakhtang Kopadze、ジョージア      |
| ヘッドジャッジ スノーボード      | Adam Begg、オーストラリア           |

審判員

Iztok Sumatic、スロベニア

Ryo Hashimoto、日本

Julien Haricot、フランス

Geoff Peterson、カナダ

Andrin Regli、スイス

Gareth Vogan、英国

Fredrik Westman、スウェーデン

Mark Koelker、アメリカ

Arianna Cau、イタリア

ヘッドジャッジフリースキー

Jason Arens、アメリカ

審判員

Tobias Gratz、オーストリア

Elliot Carter、カナダ

Anton Björklund、スウェーデン

Jonas Fjelstad、ノルウェー

Florian Brändli、スイス

Dane Kirk、ニュージーランド

Victoria Beattie、オーストラリア

William Tucker、英国

Antonin Ferrari、フランス

ヘッドジャッジエアリアル

Marko Klančar、スロベニア

ヘッドジャッジモーグル/デュアルモーグル

Alberto Orsatti、イタリア

審判員 モーグル/デュアルモーグル

Zoe Dent-Jabor、オーストラリア

Pipsa Pohjavirta、フィンランド

Marion Kohly、フランス

Hajime Ito、日本

|              |                          |
|--------------|--------------------------|
|              | Yuliya Degteva、カザフスタン    |
|              | Jörgen Eriksson、スウェーデン   |
|              | Charles Search、米国        |
| 審判員 エアリアル    | Daniel Murphy、カナダ        |
|              | Sen Qiu、中国               |
|              | Nicole Gafner-Bumann、スイス |
|              | Olga Polyuk、ウクライナ        |
|              | Emily Cook Lauer、米国      |
| ビデオコントロール AE | Dmitriy Kavunov、ウズベキスタン  |

## 2026年冬季パラリンピック、ミラノ・コルティナ（イタリア）

### パラアルペン

|                 |   |
|-----------------|---|
| 技術代表 女子         | Martin Kupco、スロバキア                            |
| 技術代表 男子         | Dider Bonvin、スイス                              |
| スタート審判          | Paul Trayner、英国                               |
| フィニッシュ審判        | Yohan Taberlet、フランス                           |
| アシスタントレフェリー     | Bostjan Anderlic、FIS                          |
| ビデオコントロール       | Liu Jin - 中国                                  |
| 用具検査            | Herbert Klammer、FIS                           |
| OVRレース管理        | Ivan Nemcic、クロアチア                             |
| <u>パラスノーボード</u> |   |
| 技術代表 SBX        | Christoph Arndt、オーストリア                        |
| 技術代表 BSL        | Lukasz Ligocki、ポーランド                          |
| レフェリー           | Wolfgang Steinberger、オーストリア                   |
| スタート審判          | Olga Zinkiv、ウクライナ                             |
| フィニッシュ審判        | Matevz Sanovnik、スロベニア<br>(Memet Guney、トルコの後任) |

|                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| ビデオコントロール SBX     | Lukasz Ligocki、ポーランド    |
| ビデオコントロール BSL     | Christoph Arndt、オーストリア  |
| 用具検査              | Stefano Arnhold、ブラジル    |
| <u>パラクロスカントリー</u> |                         |
| 技術代表              | John Aalberg、カナダ        |
| 技術代表アシスタント        | Ingela Kälvedal、スウェーデン  |
| ジュリーメンバー          | Alexandr Velechshuk、ドイツ |
| アダプティブ用具検査（クラス分け） | Sue Sandwick、米国         |
| FIS用具検査           | Lukas Ennemoser（イタリア）   |

### **2026年スキーフライング世界選手権、Oberstdorf（ドイツ）**

|          |                        |
|----------|------------------------|
| 技術代表     | Dolhar Aljosa、スロベニア    |
| TDアシスタント | Gréger Ivo、チェコ         |
| TDアシスタント | Brenden Kristian、ノルウェー |
| 審判員      |                        |
|          | Hellauer Werner、ドイツ    |
|          | Kelly Johansson、カナダ    |
|          | Decrignis Martino、イタリア |
|          | Akimoto Hidaki、日本      |
|          | Kazimierz Bafia、ポーランド  |

### **2026年FISノルディックジュニア世界スキー選手権、Lillehammer（ノルウェー）**

#### クロスカントリースキー

|          |                        |
|----------|------------------------|
| 技術代表     | Ji Younbg Bae、韓国       |
| TDアシスタント | Christian Strehler、スイス |
| ジュリーメンバー | Annmari Arndt、ドイツ      |

## スキージャンプ

|            |                           |
|------------|---------------------------|
| 技術代表       | Reed Zuehlke、米国           |
| TDアシスタント   | Balazic Dolenc Maja、スロベニア |
| 第2TDアシスタント | Gay Jerome、フランス           |
| 審判員        | Tom Normann、ノルウェー         |
|            | Grill Lambert、オーストリア      |
|            | Kozisek Cestmir、チェコ       |
|            | Stielow Maik、ドイツ          |
|            | Maissen Patric、スイス        |
|            | Wehling Juho、フィンランド       |

## ノルディック複合

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 技術代表  | Koppinen Vesa、フィンランド  |
| TDアシスタント                                      | Koziskova Jana、チェコ    |
| <b>2026年FISアルペンジュニア世界スキー選手権、Narvik（ノルウェー）</b> |                       |
| 技術代表 女子                                       | 未定                    |
| 技術代表 男子                                       | Urban Wickman（スウェーデン） |
| 医療スーパーバイザー                                    |                       |

## **2026年FISフリースタイルジュニア世界選手権、Airolo（スイス）**

|                          |                              |
|--------------------------|------------------------------|
| 技術代表                     | Richard Gay、フランス             |
| ヘッドジャッジ                  | Giovanni Leoni、スイス           |
| 審判員 モーグル/エアリアル           | Akmarzhan Kalmurzaeva、カザフスタン |
| 審判員 エアリアル                | Marie-Eva Larose、カナダ         |
| 審判員 エアリアル/デュアルモーグル       | Adela Jäschekova、チェコ         |
| 審判員 エアリアル /モーグル/デュアルモーグル | Yuliya Fominykh、アルメニア        |
| 審判員 エアリアル                | Olha Polyuk、ウクライナ            |

|                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 審判員 モーグル          | Dejan Ladic、スロベニア        |
| 審判員 モーグル          | Keita Kise、日本            |
| 審判員 モーグル          | Mikhael Johansson、スウェーデン |
| 審判員 モーグル          | Gaspar Rubin、フランス        |
| 審判員 モーグル/デュアルモーグル | Lee Sangmok、韓国           |
| 審判員 モーグル/デュアルモーグル | Yuliya Degteva、カザフスタン    |
| 審判員 デュアルモーグル      | Hajime Ito、日本            |
| 審判員 デュアルモーグル      | Rasmus Täck、スウェーデン       |
| ビデオコントロールエアリアル    | Dmitriy Kavunov、米国       |

### **2026年FISパーク & パイプ ジュニア世界選手権、Calgary (カナダ)**

|                |                      |
|----------------|----------------------|
| 技術代表 スノーボード    | Mike Mallon、米国       |
| 技術代表 フリースキー    | Iren Mashova、ブルガリア   |
| ヘッドジャッジ スノーボード |                      |
| ヘッドジャッジ フリースキー | Adrian Gaiser、ドイツ    |
| 審判員            | Scott Naismith、英国    |
|                | Hugo Sorrel、フランス     |
|                | Bjørn Brørvik、ノルウェー  |
|                | Tucker FitzSimons、米国 |
|                | Zach Munro、カナダ       |
|                | Killian Morone、イタリア  |
| ヘッドジャッジ SB :   | Dan Hughes カナダ       |
| 審判員 SB :       | Beau Fisher オーストラリア  |
|                | Arturs Cukunde ラトビア  |
|                | Jack Herald 米国       |
|                | Tim Zaugg スイス        |

Sean Taylor オランダ

Riley Dillon カナダ

### 2026年FISクロスジュニア世界選手権、St. Moritz（スイス）

技術代表 スノーボードクロス

Markus Mittendorfer（オーストリア）

技術代表 スキークロス

Andreas Krautgasser（イタリア）

### 2027年FISノルディック世界スキー選手権、Falun（スウェーデン）

#### クロスカントリースキー

技術代表

Mikko Rantanen、フィンランド

TDアシスタント

JiYoung Bae、韓国

ジュリーメンバー

Doug Debold、米国

ジュリーメンバー

#### スキージャンプ

技術代表

Bauer Andi、ドイツ

TDアシスタント

Hlava Josef、チェコ

TDアシスタント

Tahk Suzanne、エストニア

審判員

スウェーデン：Eriksson Lars-Erik

オーストリア：Perktold Wolfgang / Grill Lambert

カナダ：Kelly Johansson / Lyon Curtis

フィンランド：Tiiu Ounila / Janne Karjalainen

日本：Oda Masaki / Abe Masashi

ポーランド：Galica Andzej/Poloczek Jaroslaw

#### ノルディック複合

技術代表

Roggia Andrea、イタリア

TDアシスタント

Koppinen Vesa、フィンランド

医療スーパーバイザー

未定

## 2027年FISアルペン世界スキー選手権、Crans Montana (スイス)

|         |                           |
|---------|---------------------------|
| 技術代表 女子 | Judith Lluent Vallet、スペイン |
| ジュリー 女子 | Bojan Panovski、北マケドニア     |
|         | Sarah Chapman、ニュージーランド    |
| 技術代表 男子 | Fred Comte、フランス           |
| ジュリー 男子 | Roland Johansson、ノルウェー    |
|         | Rainer Pirchl、オーストリア      |

## 2027年FISノルディックジュニア世界スキー選手権、Schuchinsk (カザフスタン)

### クロスカントリースキー

技術代表

TDアシスタント

ジュリーメンバー

### スキージャンプ

技術代表

Brenden Kristian、ノルウェー

TDアシスタント

Johnsson Alissa、米国

第2TDアシスタント

審判員

Klimov Alexander / Vassilyev Alexey、カザフスタン

Gay Jerome / Ravel Axel、フランス

Poloczek Jaroslaw/ Galica Tomasz、ポーランド

Mustafa Tolga Yurtcan、トルコ

Blair Tomten、米国

Cacina Valentin / Chindris Stefan、ルーマニア

### ノルディック複合

技術代表

Torben Hirsch、ドイツ

TDアシスタント

Margarita Sokolova、ラトビア

**2027年FISスノーボード、フリースタイル、フリースキー世界選手権、Montafon（オーストリア）**

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 技術代表 モーグル                | Minna Kahru、フィンランド   |
| 技術代表 エアリアル               | Sangmok Lee、韓国   |
| 技術代表 スノーボードアルペン          | Christoph Behounek、ドイツ   |
| 技術代表 クロス                 | Michael Neuenschwander、スイス   |
| 技術代表 ハーフパイプ              | Carly Parker、カナダ   |
| 技術代表 スロープスタイル            | Janne Kuusela、フィンランド   |
| 技術代表 ビッグエア               | Pascal Perret、スイス  |
| スタート・フィニッシュ審判 クロス        | Sabrina Rottinger、オーストリア   |
| スタート・フィニッシュ審判 クロス        | Jernej Kelbic、スロベニア  |
| スタート・フィニッシュ審判 スノーボードアルペン | Peter Baetschi、スイス   |
| スタート・フィニッシュ審判 スノーボードアルペン | Roland Horn、オーストリア   |
| 用具検査                     | John Jett、米国   |
| ヘッドジャッジエアリアル             | 未定   |
| ヘッドジャッジモーグル              | 未定   |
| 審判員 モーグル                 | 未定   |
| 審判員 エアリアル                | 未定   |
| ビデオコントロールエアリアル           |  |
| ヘッドジャッジフリースキー            | Tobias Gratz、オーストリア  |
| 審判員                      | Adrian Gaiser、ドイツ<br>Hugo Sorrel、フランス<br>Zach Munro、カナダ<br>Levi Ascher、米国<br>Bjorn Brovik、ノルウェー<br>Felix Bjurdahl、スウェーデン |

|               |                            |
|---------------|----------------------------|
|               | Tom Guilding、英国            |
|               | Killian Morone、イタリア        |
|               | Dane Kirk、ニュージーランド         |
| ヘッドジャッジスノーボード | Adam Begg、オーストラリア          |
| 審判員           | Andrin Regli、スイス           |
|               | Max Raymer、米国              |
|               | Julien Haricot、フランス        |
|               | Dan Hughes、カナダ             |
|               | Joachim Eltvik、ノルウェー       |
|               | Beau Fisher、オーストラリア        |
|               | Tim Zaugg、スイス (SSのみ)       |
|               | Catie Cook、米国 (SSのみ)       |
|               | Arturs Cukunde、ラトビア (SSのみ) |

**2028年スキーフライング世界選手権、Planica (スロベニア)**

|          |                        |
|----------|------------------------|
| 技術代表     | Ivo Gréger、チェコ         |
| TDアシスタント | Georg Spaeth、ドイツ       |
| TDアシスタント | Brenden Kristian、ノルウェー |
| 審判員      | Hellauer Werner、ドイツ    |
|          | Kelly Johansson、カナダ    |
|          | Decrignis Martino、イタリア |
|          | Akimoto Hidaki、日本      |
|          | Kazimierz Bafia、ポーランド  |

## 12.2 世界選手権組織委員会の主要技術役員

各組織委員会は、各種役職について以下の新たな提案を行い、これらは各FIS競技運営部門により審査された（新規提案は太字で表記）：

### **2026年冬季オリンピック、ミラノ・コルティナ（イタリア）**

#### アルペンスキー コルティナ

|              |                 |
|--------------|-----------------|
| 競技委員長 スピード   | Daide Viel      |
| 競技委員長 テクニカル  | Daide Viel      |
| レース事務局長      | Giusy Rottonara |
| コース委員長 スピード  | Pieruz Aronne   |
| コース委員長 テクニカル | Pieruz Aronne   |

#### ボルミオ

|              |                  |
|--------------|------------------|
| 競技委員長 スピード   | Maurilio Alessi  |
| 競技委員長 テクニカル  | Maurilio Alessi  |
| レース事務局長      | Sara Morcelli    |
| コース委員長 スピード  | Matteo Marsaglia |
| コース委員長 テクニカル | Ciro Sertorelli  |

#### スノーボード、フリースタイル、フリースキー リヴィーニョ

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| 競技委員長 BA    | Eliane Reusser     |
| 競技委員長 HP    | Josh Lyle          |
| 競技委員長 SS    | Bill VanGilder     |
| 競技委員長 Cross | Denis Costantini   |
| 競技委員長 PGS   | Denis Costantini   |
| 競技委員長 MO    | Fausto Chiaravalli |
| 競技委員長 AE    | Fausto Chiaravalli |
| コース委員長 BA   | Najc Krali         |
| コース委員長 HP   | Albert Zehetner    |

|              |                      |
|--------------|----------------------|
| コース委員長 SS    | Michael Sonnenberger |
| コース委員長 Cross | Filippo Maquignaz    |
| コース委員長 PGS   | Victor Gichev        |
| コース委員長 MO    | Loris Leoni          |
| コース委員長 AE    | Manuela Müller       |

## 2026年冬季パラリンピック、ミラノ・コルティナ（イタリア）

### パラアルペンスキー

|       |             |
|-------|-------------|
| 競技委員長 | Davide Viel |
|-------|-------------|

### パラスノーボード

|       |                  |
|-------|------------------|
| 競技委員長 | Gaspari Federico |
|-------|------------------|

### パラクロスカントリー

|          |                  |
|----------|------------------|
| 競技委員長    | Anna Rosa        |
| 競技委員長補佐  | Michel Rainer    |
| 競技事務局長   | 未定               |
| コース委員長   | Alessandro Zorzi |
| スタジアム委員長 | Luigi Girardi    |

## 2026年FISアルペンジュニア世界スキー選手権、Narvik（ノルウェー）

|              |                |
|--------------|----------------|
| 競技委員長 スピード   | Toni Franz     |
| 競技委員長 テクニカル  | Toni Franz     |
| レース事務局長      | Unni Forshaug  |
| コース委員長 スピード  | Morten Solberg |
| コース委員長 テクニカル | Morten Solberg |

## 2027年FISアルペン世界スキー選手権、Crans Montana（スイス）

|           |                 |
|-----------|-----------------|
| レース委員長 女子 | Pascal Philippe |
| コース委員長 女子 | Stéphane Robyr  |

レース事務局長

Sophie Genoud

レース委員長 男子

未定

## 14.6 FIS 広告委員会からの提案

### 14.1.1 FISクロスカントリー委員会からの提案

FISクロスカントリー委員会は、FIS理事会による承認のために以下の提案を提出する。

#### 国際競技規則 (ICR)

#### 343 競技者の責任

**343.1** すべてトレーニングおよび競技の状況において、選手は スポーツマンらしく、かつ 十分な注意を払って行動しなければならない。これには、コースの状況視界、競技者の混雑、利用可能なスペース、他の競技者の速度や滑走方向などを考慮に入れることが含まれる。

**352.2.1** 失格処分は、競技の最終結果に明確な影響を与える違反に対してのみ適用されるべきである。

**352.2.2** さらに、競技者が以下の行為を行った場合、自動的に失格となるべきである。

**352.2.3** 同一シーズンに2度目の書面による戒告を受けた競技者は...

**352.2.4** 重大または繰り返されるスポーツマンシップに反する行為（暴言、身体的攻撃、審判員に対する意図的な不敬、またはフェアプレーの精神に反する行為を含みますが、これらに限定されません）があった場合、当該参加者は即座に失格となることがある。

#### コンチネンタルカップルール

#### 5.1 費用

~~全食事付き（フルボード）の最高料金は、最初の公式練習の前日から最終競技日の翌朝まで、1日あたり80スイスフラン（CHF）とします。ホテルの通常料金がこれより低い場合は、その通常料金のみが請求されます。~~

主催者は、1名あたりの全食事付き（フルボード）を含む、手頃な価格の宿泊施設を提供しなければならない。費用は、施設の水準や会場からの距離に応じて決定される。各コンチネンタルカップ開催地域は、最高価格の設定など、宿泊に関する独自のルールを定めることができる。これらのルールは、それぞれのCOC規定または大会招待状（インビテーション）において公表されなければならない。

## ローラースキーワールドカップと世界選手権ルール

### 4.1 タイブレイク

最終評価で2人以上の競技者が同数のポイントを獲得した場合、勝者は以下の基準を持つ競技者となります。

- a) 個人優勝の回数が最も多い競技者
- b) 次点のより良い結果（順位ごとに評価）：
  - まず、2位の回数が多い競技者が上位にランクされる
  - それでもタイが解消されない場合は、3位の回数と比較される
  - 比較は、タイが解消されるまで順位ごと（4位、5位など）に継続される
  - より高い単一の順位（例：2位が1回）は、複数の低い順位（例：3位が2回）よりも常に優先される
- c) スプリントワールドカップでポイントが同点の場合、(a)および(b)の原則を適用して、スプリントファイナルでの順位から最良の結果が評価および比較される。それでも競技者が同点である場合、2人（またはそれ以上）にワールドカップタイトルが授与される。

5.2.3.4 混合国チームが許可されるのは、以下の特定の条件の下でのみである。

- 特定の 카테고리（例：シニア男子、ジュニア女子）のチームイベントに、NΣA（国別競技団体）が1人の競技者のみをエントリーしていること。
- この単独の競技者は、そのカテゴリで同じ状況にある別のNΣAからの単独の競技者とチームを組むことができる。ジュニアは、シニアカテゴリのチームイベントにもエントリーできる。
- この許可は、NΣAが自国から少なくとも1つのチームを組むのに十分な競技者を擁している場合には適用されない。すでに国内チームをエントリーしているNΣAの残りの競技者は、混合国チームを組むことはできない。

## ワールドカップルール

### 賞金の額

#### 個人競技における日額賞金

各個人種目において、1日あたりの賞金総額は少なくとも 64,550 ユーロである。そのうち、52,910 ユーロは現地組織委員会（LOC）が支払い、残りの 11,640 ユーロは国際スキー・スノーボード連盟（FIS）から各国のスキー協会（NSA）の口座へ払い戻される。

#### 個人種目ごとのシーズンポット（賞金基金）の割り当て

各個人種目において、FIS（国際スキー・スノーボード連盟）と各 LOC（現地組織委員会）は、シーズンポットとして合計 7,937 ユーロを拠出する。1競技につき LOC が 2,646 ユーロ、FIS が 5,291 ユーロを支払うものとする。

#### チーム種目ごとの1日あたりの賞金

各チーム種目において、1日あたりの賞金総額は少なくとも 51,640 ユーロである。そのうち、42,328 ユーロは現地組織委員会（LOC）が支払い、残りの 9,312 ユーロは FIS（国際スキー・スノーボード連盟）から各国のスキー協会（NSA）の口座へ払い戻される。

#### チーム種目ごとのシーズンポット（賞金基金）の割り当て

各チーム種目において、FIS（国際スキー・スノーボード連盟）と各 LOC（現地組織委員会）は、シーズンポットとして合計 6,878 ユーロを拠出します。1競技につき、LOC が 2,646 ユーロ、FIS が 4,233 ユーロを支払うものとする。

## 1日あたりの賞金配分（内訳）

### 個人種目

1競技につき 64,550 ユーロが、上位 20 位までの選手に以下のように配分される。

|                        |                 |                        |                |
|------------------------|-----------------|------------------------|----------------|
| <u>1<sup>st</sup></u>  | <u>15'000 €</u> | <u>11<sup>th</sup></u> | <u>1'600 €</u> |
| <u>2<sup>nd</sup></u>  | <u>11'000 €</u> | <u>12<sup>th</sup></u> | <u>1'300 €</u> |
| <u>3<sup>rd</sup></u>  | <u>7'000 €</u>  | <u>13<sup>th</sup></u> | <u>1'200 €</u> |
| <u>4<sup>th</sup></u>  | <u>5'000 €</u>  | <u>14<sup>th</sup></u> | <u>1'100 €</u> |
| <u>5<sup>th</sup></u>  | <u>4'000 €</u>  | <u>15<sup>th</sup></u> | <u>1'000 €</u> |
| <u>6<sup>th</sup></u>  | <u>3'000 €</u>  | <u>16<sup>th</sup></u> | <u>900 €</u>   |
| <u>7<sup>th</sup></u>  | <u>2'800 €</u>  | <u>17<sup>th</sup></u> | <u>800 €</u>   |
| <u>8<sup>th</sup></u>  | <u>2'600 €</u>  | <u>18<sup>th</sup></u> | <u>700 €</u>   |
| <u>9<sup>th</sup></u>  | <u>2'400 €</u>  | <u>19<sup>th</sup></u> | <u>600 €</u>   |
| <u>10<sup>th</sup></u> | <u>2'000 €</u>  | <u>20<sup>th</sup></u> | <u>500 €</u>   |

### チーム種目

1競技につき 51,640 ユーロが、上位 10 位（10 チーム）までに対して以下のように配分される。

|                       |                 |                        |                |
|-----------------------|-----------------|------------------------|----------------|
| <u>1<sup>st</sup></u> | <u>16'000 €</u> | <u>6<sup>th</sup></u>  | <u>3'000 €</u> |
| <u>2<sup>nd</sup></u> | <u>11'000 €</u> | <u>7<sup>th</sup></u>  | <u>2'000 €</u> |
| <u>3<sup>rd</sup></u> | <u>7'000 €</u>  | <u>8<sup>th</sup></u>  | <u>1'400 €</u> |
| <u>4<sup>th</sup></u> | <u>5'000 €</u>  | <u>9<sup>th</sup></u>  | <u>1'200 €</u> |
| <u>5<sup>th</sup></u> | <u>4'000 €</u>  | <u>10<sup>th</sup></u> | <u>1'000 €</u> |

## ワールドカップ シーズン総合賞金の配分

競技が中止となった場合、賞金額およびその配分は調整（変更）されるものとする。

また、競技の開催地が他国に変更された場合であっても、総合賞金は支払われなければならない。

## ワールドカップ総合順位

男女それぞれにつき 222,000 ユーロが、上位 20 位までの選手に以下のように配分される。

|                        |                 |                        |                |
|------------------------|-----------------|------------------------|----------------|
| <u>1<sup>st</sup></u>  | <u>55'000 €</u> | <u>11<sup>th</sup></u> | <u>4'200 €</u> |
| <u>2<sup>nd</sup></u>  | <u>40'000 €</u> | <u>12<sup>th</sup></u> | <u>3'800 €</u> |
| <u>3<sup>rd</sup></u>  | <u>30'000 €</u> | <u>13<sup>th</sup></u> | <u>3'100 €</u> |
| <u>4<sup>th</sup></u>  | <u>20'000 €</u> | <u>14<sup>th</sup></u> | <u>2'500 €</u> |
| <u>5<sup>th</sup></u>  | <u>15'000 €</u> | <u>15<sup>th</sup></u> | <u>2'200 €</u> |
| <u>6<sup>th</sup></u>  | <u>12'000 €</u> | <u>16<sup>th</sup></u> | <u>1'800 €</u> |
| <u>7<sup>th</sup></u>  | <u>9'500 €</u>  | <u>17<sup>th</sup></u> | <u>1'600 €</u> |
| <u>8<sup>th</sup></u>  | <u>7'300 €</u>  | <u>18<sup>th</sup></u> | <u>1'400 €</u> |
| <u>9<sup>th</sup></u>  | <u>5'500 €</u>  | <u>19<sup>th</sup></u> | <u>1'100 €</u> |
| <u>10<sup>th</sup></u> | <u>5'000 €</u>  | <u>20<sup>th</sup></u> | <u>1'000 €</u> |

## U23 シーズン最終ランキング

シーズン終了時点の U23 ランキングにおいて、男女それぞれの優勝者に 6,000 ユーロ が授与される。

| Stage                                     | ボーナスタイム   | スプリントピブ   | クライムピブ  |
|---|---|---|---|
| <b>#1</b><br><u>スプリントフリー</u>              | 上位 30 位に与えられる<br>ボーナスタイム (トータルタイムからマイナス)<br><u>60/54/48/...</u> | 最終上位 10 位までに与えられるポイント<br><u>30/24/20/16/12/10/8/6/4/2</u> | <u>X</u>  |
| <b>#2</b><br><u>- 10k インターバルスタートクラシカル</u> | <u>X</u>  |   | <u>1:</u><br>A クライム地点を通過した上位 10 名に与えられる (減じられる) タイム<br><u>15/12/10/8/6/5/4/3/2/1</u><br><u>2:</u><br>決められた登り地点を通過した上位 10 名に与えられる (減じられる) タイム<br><u>15/12/10/8/6/5/4/3/2/1</u> |

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| <u>#3</u><br><u>5k マススタート</u><br><u>フリー</u>   | <u>X</u>   | <u>1 周目メイン地点を通過し</u><br><u>た上位 3 名に与えられるポ</u><br><u>イント (または減じられる</u><br><u>タイム)</u><br><u>5/3/2</u>                   | <u>2 周目 A クライム地点を各</u><br><u>ヒート戦で通過した上位 3</u><br><u>名に与えられるポイント</u><br><u>(または減じられるタイ</u><br><u>ム)</u><br><u>5/3/2</u>  |
| <u>#4</u><br><u>20K パシュート</u><br><u>クラシカル</u> | <u>X</u>   | <u>X</u>   | <u>X</u>   |
| <u>#5</u><br><u>スプリント</u><br><u>クラシカル</u>     | <u>最終上位 3 0 位に与えら</u><br><u>れるボーナスタイム (ト</u><br><u>ータルタイムからマイナ</u><br><u>ス)</u><br><u>60/54/48/...</u> | <u>最終上位 1 0 位に与えられ</u><br><u>るボーナスタイム (トー</u><br><u>タルタイムからマイナス)</u><br><u>30/24/20/16/12/10/8/6/4/2</u>               | <u>X</u>   |
| <u>#6</u><br><u>登り到達</u>                      | -<br>-<br><u>X</u>   | <u>登りが本格的に始まる直前</u><br><u>の上位 1 0 名に与えられるポ</u><br><u>イント (または減じられる</u><br><u>タイム)</u><br><u>15/12/10/8/6/5/4/3/2/1</u> | <u>本格的登りの頂上に達し</u><br><u>た上位 1 0 名に与えられる</u><br><u>ポイント (または減じら</u><br><u>れるタイム)</u><br><u>30/24/20/16/12/10/8/6/4/2</u> |

### FIS ツール・ド・スキー (Tour de Ski) の賞金分配

|                                       |                    |                       |
|---------------------------------------|--------------------|-----------------------|
| <u>各ステージ賞金</u>                        | <u>EUR 36'000</u>  | <u>6 x EUR 6'000</u>  |
| <u>スプリント総合順位</u>                      | <u>EUR 21'000</u>  |                       |
| <u>登坂総合順位</u>                         | <u>EUR 9'000</u>   |                       |
| <u>ツール・ド・スキー<br/>(Tour de Ski) 総合</u> | <u>EUR 321'000</u> |                       |
| <u>最終トータル</u>                         | <u>EUR 387'000</u> | <u>6 x EUR 64'500</u> |

### 順位別の賞金配分

#### 各ステージ賞金

|                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| <u>1<sup>st</sup></u> | <u>EUR 3'000</u> |
| <u>2<sup>nd</sup></u> | <u>EUR 2'000</u> |
| <u>3<sup>rd</sup></u> | <u>EUR 1'000</u> |
| <u>レース毎のトータル</u>      | <u>EUR 6'000</u> |

#### スプリント総合順位

|                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| <u>1<sup>st</sup></u> | <u>EUR 6'000</u>  |
| <u>2<sup>nd</sup></u> | <u>EUR 5'000</u>  |
| <u>3<sup>rd</sup></u> | <u>EUR 4'000</u>  |
| <u>4<sup>th</sup></u> | <u>EUR 3'000</u>  |
| <u>5<sup>th</sup></u> | <u>EUR 2'000</u>  |
| <u>6<sup>th</sup></u> | <u>EUR 1'000</u>  |
| <u>Total</u>          | <u>EUR 21'000</u> |

### 登坂総合順位

|                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| <u>1<sup>st</sup></u> | <u>EUR 4'000</u>        |
| <u>2<sup>nd</sup></u> | <u>EUR 3'000</u>        |
| <u>3<sup>rd</sup></u> | <u>EUR 2'000</u>        |
| <b><u>Total</u></b>   | <b><u>EUR 9'000</u></b> |

### ワールドスキー総合順位

|                        |                   |                        |                           |
|------------------------|-------------------|------------------------|---------------------------|
| <u>1<sup>st</sup></u>  | <u>EUR 80'000</u> | <u>11<sup>th</sup></u> | <u>EUR 7'000</u>          |
| <u>2<sup>nd</sup></u>  | <u>EUR 55'000</u> | <u>12<sup>th</sup></u> | <u>EUR 6'000</u>          |
| <u>3<sup>rd</sup></u>  | <u>EUR 40'000</u> | <u>13<sup>th</sup></u> | <u>EUR 5'000</u>          |
| <u>4<sup>th</sup></u>  | <u>EUR 25'000</u> | <u>14<sup>th</sup></u> | <u>EUR 4'500</u>          |
| <u>5<sup>th</sup></u>  | <u>EUR 20'000</u> | <u>15<sup>th</sup></u> | <u>EUR 4'000</u>          |
| <u>6<sup>th</sup></u>  | <u>EUR 17'000</u> | <u>16<sup>th</sup></u> | <u>EUR 3'500</u>          |
| <u>7<sup>th</sup></u>  | <u>EUR 14'000</u> | <u>17<sup>th</sup></u> | <u>EUR 3'000</u>          |
| <u>8<sup>th</sup></u>  | <u>EUR 12'000</u> | <u>18<sup>th</sup></u> | <u>EUR 2'500</u>          |
| <u>9<sup>th</sup></u>  | <u>EUR 10'000</u> | <u>19<sup>th</sup></u> | <u>EUR 2'000</u>          |
| <u>10<sup>th</sup></u> | <u>EUR 9'000</u>  | <u>20<sup>th</sup></u> | <u>EUR 1'500</u>          |
|                        |                   | <b><u>Total</u></b>    | <b><u>EUR 321'000</u></b> |

### ステージ3 (マススタートフリー戦)

競技者は4つの異なるヒート（組）に割り当てられます。各ヒートは、それぞれ異なる開始時間にマススタート（一斉スタート）形式で出発します。

#### ヒート数の決定

出場選手が男女別に80名未満の場合：3ヒートで実施。

出場選手が男女別に80名以上の場合：4ヒートで実施。

#### スタート順およびスタート手順

ヒートごとのマススタートでは、規定のマススタート手順に従わなければならない。

#### 4ヒートの場合の割り振り

4ヒートが採用される場合、第2ステージ終了時点でのツール・ド・スキー総合順位に基づいて以下の通り割り振られる：

第1位（総合リーダー）：第3ヒート

第2位：第2ヒート

第3位：第1ヒート

第4位：第4ヒート

第5位：第3ヒート

第6位：第2ヒート（以下、同様の順序で繰り返されます……）

### Heats Mass Start Allocation to Heats

| Heat 1 |      |     | Heat 2 |      |     | Heat 3 |      |     | Heat 4 |      |     |
|--------|------|-----|--------|------|-----|--------|------|-----|--------|------|-----|
| BIB    | NAME | NSA |
| 3      |      |     | 2      |      |     | 1      |      |     | 4      |      |     |
| 7      |      |     | 6      |      |     | 5      |      |     | 8      |      |     |
| 11     |      |     | 10     |      |     | 9      |      |     | 12     |      |     |
| 15     |      |     | 14     |      |     | 13     |      |     | 16     |      |     |
| 19     |      |     | 18     |      |     | 17     |      |     | 20     |      |     |
| 23     |      |     | 22     |      |     | 21     |      |     | 24     |      |     |
| 27     |      |     | 26     |      |     | 25     |      |     | 28     |      |     |
| 31     |      |     | 30     |      |     | 29     |      |     | 32     |      |     |
| 35     |      |     | 34     |      |     | 33     |      |     | 36     |      |     |
| 39     |      |     | 38     |      |     | 37     |      |     | 40     |      |     |
| 43     |      |     | 42     |      |     | 41     |      |     | 44     |      |     |
| 47     |      |     | 46     |      |     | 45     |      |     | 48     |      |     |
| 51     |      |     | 50     |      |     | 49     |      |     | 52     |      |     |
| 55     |      |     | 54     |      |     | 53     |      |     | 56     |      |     |
| 59     |      |     | 58     |      |     | 57     |      |     | 60     |      |     |
| 63     |      |     | 62     |      |     | 61     |      |     | 64     |      |     |
| 67     |      |     | 66     |      |     | 65     |      |     | 68     |      |     |
| 71     |      |     | 70     |      |     | 69     |      |     | 72     |      |     |
| 75     |      |     | 74     |      |     | 73     |      |     | 76     |      |     |
| 79     |      |     | 78     |      |     | 77     |      |     | 80     |      |     |
| 83     |      |     | 82     |      |     | 81     |      |     | 84     |      |     |
| 87     |      |     | 86     |      |     | 85     |      |     | 88     |      |     |
| 91     |      |     | 90     |      |     | 89     |      |     | 92     |      |     |
| 95     |      |     | 94     |      |     | 93     |      |     | 96     |      |     |
| 99     |      |     | 98     |      |     | 97     |      |     | 100    |      |     |



#### ヒート別結果 (Heat result)

各ヒートの結果は、\*\*フィニッシュ線への到着順 (着順) \*\*によって決定されます。

同一ヒート内の 2 名以上の競技者が同タイムであった場合は、フォトフィニッシュ (写真判定) によって順位を決定します。

#### 最終結果 (Final result)

最終結果は、全ヒートが終了した後、各競技者の\*\*フィニッシュタイム (記録) \*\*に基づいて決定されます。

異なるヒートの 2 名以上の競技者が同タイムであった場合、最終結果では同順位として扱われる。その際、リザルトの表示順については、ビブ番号に基づき、ビブ番号の小さい選手が先に表示される。

#### FIS ポイント (FIS Points)

本競技は、FIS ポイントの加算対象となる。

### 14.3 ノルディックコンバインド委員会からの提案

スキージャンプの用品に関する提案は、ノルディックコンバインドにも適用される。

ノルディックコンバインド委員会は FIS 理事会の承認を求め以下の提案を提出する。

#### 国際競技規則

531. 失格

531.3.7 スキージャンプ大会において 1 人の選手が (用品により) 失格となった場合、チーム全体が失格となる。

#### ワールドカップルール男子・女子

6.3 大会の最初の競技会において用品規則違反によりレッドカードの処分を受けた選手が、同じ大会中の次の競技会への出場を許可された場合、当該選手は旅費の払い戻しを受ける権利を有せず、宿泊費は各国スキー連盟が負担しなければならない。

ノルディックコンバインド委員会は、2025 年 10 月 FIS 理事会に以下の提案を提出する。

ノルディックコンバインド委員会は、ノルディックコンバインドとスキージャンプの双方を代表して提出される、スキージャンプおよびノルディックコンバインドにおける制裁を導入する新たな文書を支持する。

## スキージャンプおよびノルディックコンバインドにおける用品違反に対する制裁制度

2025年9月20日

国際スキー・スノーボード連盟

ブロッホ通り2番地

CH-3653 オーバーホーフェン・アム・トゥーナーゼー  
スイス

電話番号: +41 33 244 6161

メールアドレス: [mail@fisski.com](mailto:mail@fisski.com)

ウェブサイト: [fis-ski.com](http://fis-ski.com)

オーバーホーフェン、[2025年9月20日]

2025年9月20日

## 目次

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 1. スキージャンプとノルディックコンバインドにおける失格の種類   | 4 |
| 2. 違反レベルと制裁                        | 5 |
| 3. カードシステム：イエローカードとレッドカード          | 5 |
| 4. 制裁に関する報告の流れ（フロー）                | 6 |
| 5. 異なる競技会シリーズにおける失格                | 7 |
| 6. 主要イベントおよび通常シリーズ中の制裁             | 7 |
| 7. 上記原則に基づいてイエローカードとレッドカードを発行できる役員 | 7 |
| 8. 制裁の適用とビデオ分析（競技会后）               | 7 |
| 9. 制裁の導入                           | 8 |

## 付録 標準のジュリー決定文書

## 1. スキージャンプとノルディックスキーコンバインドにおける失格の種類

スキージャンプの失格の種類は以下のとおり。

- NPS = スタート不許可
- DSQ = 失格
- DQB = スポーツマンシップに反する行為により失格

選手（またはチーム）が上記のいずれかの失格処分を受けた場合、イベントユニット、フェーズ、またはイベントにおける順位付けの対象とはならない。ただし、特定の状況下では、当該選手は競技会への参加を継続することが許可される場合がある。

### 1.1 NPS - スタート不許可

国際競技規則（ICR）第441.5条に定義されているとおり：

以下の選手は、FIS 国際スキージャンプ競技会にスタートが許可されない(NPS)。

- 441.5.1 スキージャンプ競技用品/競技用スーツのいかなる部分にもわいせつな名前およびまたは記号を身に着けている。
- 441.5.2 スタートエリアでスポーツマンシップに反する行為（第205.5条、第223.1.1条）。
- 441.5.3 競技用品および用品の商業用マーキングに関するFIS規格に関するFISルール（第207条および第222条）に違反している。
- 441.5.4 フッ素ワックスの使用禁止に関するルール（第222.8条）に違反している。

### 1.2 DSQ - FIS競技規則違反による失格

ICR 第 441.6 条に従って、以下の理由により選手は競技会から失格となる場合がある。

- 441.6.1 競技用品（第222条）
  - 441.6.1.1 フッ素ワックス（第222.8条）、コントロールがジャンプの後に行われる時
- 441.6.2 明確にクローズされているジャンプ台での練習
- 441.6.3 スタートに遅れて到着（第422.8条および第422.12条）
- 441.6.4 インランの長さの決定に違反する（第422.1条および第422.2条）
- 441.6.5 スタートコントロール時間の超過（第422.10条）
- 441.6.6 ジャンプ台がクリアであることを知らせる合図の前にスタートすること、または意図的にスタートの準備を遅らせること（第422.11条）。

### 1.3 DQB - スポーツマンシップに反する行為による失格

ICR（国際競技規則）、世界アンチ・ドーピング規程、統括団体やジュリーの決定、または関係するスポーツ団体が発行した適用規則の重大な違反による失格は、「DQB」マークで示される。

選手（またはチーム）は、スポーツマンシップに反する行為を理由に、統括団体の決定に応じて、単一のイベント、または選手（またはチーム）が参加しているイベント（完了、進行中、または将来）の一部もしくはすべてから失格となる場合がある。

失格処分に関する指示は、ジュリーの決定において出される。この制裁を適用する際には、

必ず関係競技団体の運営責任者およびFIS事務局長に相談する。

## 2. 違反の種類とそれに伴う制裁

### 2.1 全般

スキージャンプおよびノルディックコンバインドのルール違反は、3つのレベルに分類される。

- 用品および測定手順の操作
- CC SJおよびNC競技用品に関するFIS規格の違反
- その他のルール違反

上記の違反行為があった場合、用品コントローラー/レースディレクターはFISスポーツイベントディレクターに報告し、スポーツ・インテグリティ・プロセスに従って対処する。

### 2.2 用品と測定手順の操作

選手は、以下の理由により、用品および測定手順を操作したことで制裁を受けることがある。

- 身体測定の操作
- チップの操作
- 技術承認後のスーツの操作
- ジュリーによって決定されたその他の重大な違反

用品および測定手順の違反に対する制裁は、付録1によって定められる。

### 2.3 CC SJおよびNC競技用品規格の違反

CC SJ および NC 競技用品規格の違反に対する制裁は、NPS または DSQ のいずれかとなる。

### 2.4 その他の規則違反

用品規則で限定されない規則（つまり、上記 2.2 および 2.3 に記載されているもの以外の適用可能な規則）に違反した場合の制裁は、NPS または DSQ のいずれかとなる。

## 3. カードシステム：イエローカードとレッドカード

制裁制度は、あらゆる自発的な用品違反に対してイエローカード制裁が科されるという原則に基づく。

### 3.1 イエローカード

予選、PCR、競技ラウンド中に登録された用品違反に対するDSQ/NPSは、当該選手にイエローカードが発行される。

イエローカードは FIS データベースに記録され、競技シーズンの残りの期間のスタートリストに表示される。

選手はイエローカード1枚ならば、競技会に参加できる。

不本意で用品規則に違反した場合、イエローカードは発行されない。

### 3.2 レッドカード

選手が同じ競技シーズン中に 2枚目のイエローカードを受け取った場合は、レッドカードが発行される。

レッドカードは FISデータベースに記録され、FIS レースディレクター (FIS RD) またはカップコーディネーターによって検証される。

### 3.3 レッドカードの制裁

- レッドカードの発行で懲戒処分の手続きが開始される。
- 原則として、レッドカードが発行された選手は、次の試合および個人戦2試合への出場を即時に停止される。団体戦が同会場で開催される場合、当該選手は出場できない。
- ワールドカップ大会中にレッドカードを受け取った選手は、当該NSAの（参加および旅費の払い戻しのための）翌週末のクォータが1つ減らされる。
- 制裁は個人選手に適用される。
- 競技シーズン中に2枚目のレッドカードを受けた選手は、個人戦4試合への出場を禁止される。ワールドカップ大会中にレッドカードが発行された場合は、当該NSAは同数のワールドカップ大会へのクォータが1つ減らされる。
- 重大なルール違反があった場合、ジュリーはイエローカードではなく、直接レッドカードを選手に与えることができる。この制裁は FIS RD / カップ コーディネーターによって確認されなければならない。

## 4. 制裁に関する報告の流れ

- 4.1. FIS用品コントローラーは、選手の違反事例（用品違反）についてジュリーに報告する。報告には、失格理由の詳細な説明を含めるものとする（付録の標準ジュリー決定文を参照）。
- 4.2. ジュリーは、用品違反による失格を確認し、その決定をジュリープロトコル（議事録）に含め、FIS RDA に伝える。
- 4.3. RDA がデータサービスに伝え、当該選手は拡張テキストで DSQ/NPS に分類される。
- 4.4. 技術代表 (TD) は、DSQ/NPS情報をDSQフォーム (FISデータベース) およびTDレポートにできるだけ早く、遅くとも翌日の12:00 (CET : 中央ヨーロッパ時間) までにアップロードする。DSQフォームには以下の情報を含めること。
  - 選手名と国籍
  - 違反の日時
  - 違反の種類（標準ジュリー決定リストから）
  - 過去の制裁（オプション）。パート1で選手を選択すると自動的に読み込まれ、TDへの情報として過去のすべての制裁が表示される。
  - 関連する制裁、イエローカードやレッドカードの有無にかかわらず、制裁に関連するすべての制裁オプションを含む。
- 4.5 RD / カップ コーディネーターは、翌日の12:00 CET までに TD レポートを受け取る。
- 4.6 TD レポートを受け取ったら、FIS RD / カップ コーディネーターは、失格となった選手に対する制裁をできるだけ早く、いずれの場合も次の大会前に確認しなければならない。
- 4.7 FIS ノルディック オフィスは、大会終了後に各 NSA 事務局長およびスポーツ ディレクターに当該選手に適用される制裁を通知する。
- 4.8 制裁リストは入手可能になり次第、FIS ウェブサイトで公開される。

## 5. 異なる競技会シリーズにおける失格

- 5.1. 制裁制度は、スキージャンプおよびノルディックコンバインドFIS公認大会のすべての

レベルに適用される。

- 5.2. イエローカードはスタートリストに掲載される。
- 5.3. 異なるレベルでのイエローカードは、選手がイエローカードを受けた高い方のレベルの競技シリーズで制裁を受ける（例、ワールドカップ+COCのイエローカード=ワールドカップでの制裁、COC+FISカップのイエローカード=COCでの制裁）

## 6. 主要イベントおよび通常シリーズ中の制裁

- 6.1. 主要イベント（OWG、WSC、SFWSC、JWSC、YOG）での制裁
  - 各競技シーズンにおいて、主要イベントに参加する選手は、過去の保留中のイエローカードが無い状態でスタートする。
  - 主要イベントで制裁が適用される場合、それはその特定のイベントにのみ関連する。
  - 選手がイベント中2枚のイエローカードを受け取った場合、当該選手は、関連イベントプログラム内で予定されている次の競技会に参加する資格を失う。
- 6.2. 通常シリーズ（WC、COC、I-COC、FISカップ）中の制裁
  - シーズンシリーズに参加する選手に対する制裁は、競技シーズン全体に適用される。
  - 通常シリーズ中に受けた制裁は、主要イベントの場合一時的に停止され、主要なイベント後に再開される。

## 7. 上記の原則に基づいてイエローカードとレッドカードを発行できる役員

制裁を発行できる役員は次のとおり。

- 用品コントローラー（主に競技会時間外）
- ジュリー（競技会時間中）
- FIS RD / FISカップコーディネーター

## 8. 制裁の適用とビデオ分析（競技会後）

- 8.1. 制裁は以下の分野で実施される。
  - 3Dボディスキャン測定
  - 身体測定
  - 技術承認
  - スタートエリア（ウォーミングアップエリアからスタートゲートまで）
  - スタート位置から出口ゲートまでのジャンプ台エリア
  - ジャンプ台の下にある用品コントロールルームへの出口ゲート
  - 用品コントロールエリア
- 8.2. FISは競技会後の評価にビデオ分析を使用することもできる。

## 9. 制裁の導入

9.1. この制裁制度は2025年11月1日から導入されることとする。

付録1

標準的なジュリー決定文（2025年9月15日更新）

リザルト出力とODFには、以下の標準的なジュリー決定の説明（IDを含む）を使用する

| ID | ICR/SCE       | ロングバージョン   | スコアボード           | ショートバージョン    |
|----|---------------|--|------------------|--------------|
| 1  | ICR 222       | ICR 222 - 用品コントロールの拒否                              | 用品コントロールの拒否      | EGの拒否        |
| 2  | ICR 223.1.1   | ICR 223.1.1 - スポーツマンシップに反する行為                      | スポーツマンシップに反する行為  | 反スポーツ的行為     |
| 3  | ICR 441.5.4   | ICR 441.5.4 - フッ素化ワックス                             | フッ素ワックス違反        | フッ素ワックス違反    |
| 4  | ICR 441.6.3   | ICR 441.6.3 - スタートに遅れて到着                           | スタートに遅れて到着       | スタートに遅刻      |
| 5  | ICR 441.6.5   | ICR 441.6.5 - スタートコントロール時間の超過                      | スタートコントロール時間超過   | 遅いスタート       |
| 6  | ICR 441.6.6   | ICR 441.6.6 - ジャンプ台クリア信号前のスタート                     | ジャンプ台クリア信号前のスタート | アーリースタート     |
| 7  | SCE 1.2.1.1   | SCE 1.2.1.1 - スキーの長さ / スキーが長すぎる                    | スキーが長すぎる         | スキーが長すぎる     |
| 8  | SCE C 1.2.1.2 | SCE 1.2.1.2 - スキー幅                                 | スキー幅             | スキー幅         |
| 9  | SCE C 1.2.1.3 | SCE 1.2.1.3 - スキーの先端カーブ / スキーの先端が平らすぎる             | スキーの先端が平らすぎる     | スキーの先端が平らすぎる |
| 10 | SCE C 1.2.3   | SCE 1.2.3 - スキーの質量 / スキーが軽すぎる                      | スキーが軽すぎる         | スキーが軽すぎる     |
| 11 | SCE C 1.2.4   | SCE 1.2.4 - テールの形状                                 | テールの形状           | テールの形状       |
| 12 | SCE C 2.2     | SCE 2.2 - ビンディング - ビンディングの配置が正しくない                 | ビンディングの配置が間違っている | ビンディングの取り付け  |
| 13 | SCE C 3       | SCE 3 - ブーツ / 許容範囲 - 靴が許容サイズを xx cm 超過している         | ブーツ              | ブーツ          |
| 14 | SCE C 4       | SCE 4 - スーツ  | スーツ              | スーツ          |
| 15 | SCE C 4.2.7   | SCE 4.2.7 - スーツのジッパーが開いている                         | スーツのジッパーが開いている   | オープンジッパー     |
| 16 | SCE C 4.4     | SCE 4.4 - スーツ - 許容範囲 / スーツがxx（位置）でxx cm許容サイズを超えている | スーツが許容サイズを超えている  | スーツのサイズ超過    |
| 17 | SCE C 4.4.9   | SCE 4.4.9 - スーツ素材の通気性 / *可能な追加説明を含む                | スーツの通気性          | スーツの通気性      |
| 18 | SCE C 4.5.5   | SCE 4.5.5 - 競技会中の予備スーツの使用                          | 予備スーツの使用         | 予備スーツの使用     |
| 19 | SCE C 4.7.1   | SCE 4.7.1. - スタートコントロール手順違反                        | スタートコントロール手順違反   | スタート用品違反     |
| 20 | SCE C 5       | SCE 5 - 下着/*可能な追加説明を含む                             | 間違った下着           | 下着           |
| 21 | SCE C 7       | SCE 7 - ヘルメット                                      | ヘルメット            | ヘルメット        |
| 22 | SCE D 2       | SCE 2 - ビブの操作                                      | ビブの操作            | ビブの操作        |
| 23 |               | 間違ったスタートビブの使用                                      | 間違ったスタートビブの使用    | 間違ったビブ       |
| 24 |               | スタートビブの紛失  | スタートビブの紛失        | ビブの紛失        |
| 25 |               | 手袋の紛失  | 手袋の紛失            | 手袋が紛失        |

## 別紙14.2 SBFSFK委員会からの提案

SBFSFK委員会は、2025年春のFIS理事会による承認を得るため、以下の提案を提出する：

### 国際競技規則 (ICR)

(一般部門)

#### 2029.3 スノーボード競技会の定義

スノーボード競技会は以下の種目で構成する：

|                             |             |
|-----------------------------|-------------|
| - スノーボードハーフパイプ              | HP          |
| - スノーボードスロープスタイル            | SS          |
| - スノーボードビッグエア               | BA          |
| - スノーボードレール                 | RE          |
| - スノーボードクロス                 | SBX         |
| - スノーボードクロスチーム              | BXT         |
| - <b>スノーボードクロスインクルシヴチーム</b> | <b>BXTI</b> |
| - スノーボードスラローム               | SL          |
| - スノーボードジャイアントスラローム         | GS          |
| - スノーボードパラレルジャイアントスラローム     | PGS         |
| - スノーボードパラレルスラローム           | PSL         |
| - スノーボードパラレルチーム             | PRT         |
| - スノーボードバンクドスラローム           | BSL         |
| - スノーボードデュアルバンクドスラローム       | DBSL        |

スノーボード競技会は女性と男性、両方に競技する機会を提供しなければならない。

(スリースタイル部門)

#### 4104.4 選手権フォーマットー主要大会

選手権フォーマットは、世界選手権および冬季オリンピックで使用される。

##### 4104.4.1 選手権フォーマットは以下の通り：

2ラウンド (Q1~~と~~Q2) からなる予選フェーズ

**3** **2**つの決勝フェーズ (F1~~と~~F2~~と~~F3)。F1の競技者数は、最下位に並んだために決勝の出場枠が拡大された場合を除き、12名である (4007.3を参照)。

##### 4104.4.2 Q1終了後、上位6位以内の選手は直接F1へ進出する。6位がに同点が生じた場合4007.3に従って手続則って解決する。

- 4104.4.3 残りの競技者はQ2に出場し、はQ1から直接決勝に進出しなかった競技者のために用意される。これらの競技者はQ2で競技し、Q2の順位はQ1ともしくはQ2の得点のうち、より良いほうの得点を採用し、て決定する。Q2をトップで通過した競技者は、Q1で予選を通過した競技者の後に順位づける。この時点での全体の順位を予選フェイズのリザルトとする。Q2のすべての競技者はQ1に勝ち抜いた競技者に続けて順位づけし、予選フェイズの全体成績とする。
- 4104.4.4 Q2からF1の残りの枠に進む競技者は、12競技者（4007.3にある場合を除く）で構成する。これら12名の競技者はQ1を勝ち抜いた競技者と、F1の残りのスポットをQ2以降の最高順位の者から選ぶものとし、~~F1の予選フェイズ~~12位が同点の場合は4007.3で処理される。
- 4104.4.5 F1の競技者は、すべてF2に出場するものとする。F2以降の順位は、F1とF2の得点のうち、より良いほうを採用する。F2 F1において、各競技者は最高2回試技してもよい。F2に進むためには、2回の試技のうち、より良い得点の方の演技を採用する。F1が完了し、F3が完了しない場合、4122.2参照。
- 4104.4.6 上位6位以内の競技者はF3に進出し、~~F1からF2に進むものとする。~~6位が同点の場合、は、4007.3にしたがって手続則って解決する。
- 4104.4.7 エアリアル技の繰り返し (4115.3について)  
4115.3(同一フェイズでは同じ技を繰り返さない)の適用:  
 男子については、3演技のすべて(F1、では最高2回まで、F2、F3は1つのフェイズとして扱われる。では1回)異なる技でなくてはならない。  
 女子については、F1とF2は1つのフェイズ、F3は別のフェイズとして扱われる。3演技中、最高1回、同じ技を繰り返すことが許される。同じ技は3回、繰り返さないこと。
- 4104.5 **スタンダードフォーマット**
- スタンダードフォーマットは、ワールドカップまたは選手権のフォーマットが使用されないすべての大会で使用されます。
- 4104.5.1 **スタンダードフォーマットは以下の通り：**
- 2ラウンドで構成される予選フェーズ 1ラウンドで構成される決勝フェーズ
- 4104.5.2 決勝に出場する競技者の数は、通常6名または12名とし、競技会インビテーションで発表し、第1回チームキャプテンミーティングでジュリーが確認するものとする。

4104.5.2 競技者は、予選の後、2つのラウンドのうち良い方のスコアで順位を決定する。決勝出場者の人数（4104.5.2 参照）により、6位または12位までの競技者が決勝に進出する。

#### 4104.6 フォーマット概要

|             |       | Q1 | Q2  | F1   | F2              |    |
|-------------|-------|----|-----|------|-----------------|----|
| スタンダード      | 女子/男子 | N  | N   | 6/12 |                 |    |
| ワールドカップ     | 女子    | N  |     | 12   | 6               |    |
|             | 男子    | N  |     | 12   | 6               |    |
|             |       | Q1 | Q2  | F1   | F2              | F3 |
| 世界選手権大会     | 女子    | N  | N-6 | 12   | <del>12</del> 6 | 6  |
| オリンピック冬季競技会 | 男子    | N  | N-6 | 12   | <del>12</del> 6 | 6  |

"N"はスタートリストの数字

4122.2 ~~チャンピオンシップスフォーマットにおいて、F2を含めて決勝が完了しない場合、決勝リザルトは予選の結果を採用する。F1とF2が完了しF3が完了しない場合、F2のリザルトを決勝リザルトとして採用する。~~

競技会のF1より最終フェイズが完了しない場合、最終リザルトは予選フェイズの順位を採用するものとする。F1の最初のラウンドの試技が完了したが、2回目の試技が行えない場合、最終リザルトは、F1の最初の試技の得点に基づくものとする。F1がすべて完了したが、F2が完了しない場合、最終リザルトはF1の最終順位に基づくものとする。

(スノーボードクロス 部門)

(この議題は、2025/26年度のSBFSFK ICRに提案全文ではなく言及事項を含めることを目的として、理事会会議で審議される予定である。)

#### 5802 スノーボードクロス・インクルーシブチーム (パラ・健常混合)

パラ・スノーボード国際競技規則 (ICR) 第1411条を参照のこと

#### 5802 スノーボードクロス・インクルーシブチーム

##### 5802.1 時間差方式によるスノーボードクロス・インクルーシブチームの実施方法

#### 5802.1.1 SBX・インクルーシブチームの出場資格

男女各カテゴリーにつき、パラアスリート1名と健常アスリート1名で構成される最大16チームが出場を許可される。各国の順位決定には、全カテゴリーにおける男女別で最高位のパラアスリートと健常アスリートの最新FISポイントを合算する。上位16の女子チームと上位16の男子チームは、この順位に基づいて決定される。各国の第1チームが優先的に考慮される。

残りの枠は各国の第2チームで埋められる。1カ国あたり男女各2チームまでの出場制限がある。

#### 5802.1.2 SBX・インクルーシブチームのシード決定

ブラケットへのシード決定にあたり、各チームは両選手のFISポイント合計に基づき順位付けされます。

FISポイント合計が同点のチームについては、個人FISポイントが高いチームを優先します。それでも同点の場合は抽選により決定します。

#### 5802.1.3 SBX・インクルーシブチームへのチーム出場資格

各チームはパラアスリート1名と健常アスリート1名で構成される。各国チームのシード順位決定後、各国は出場資格を有する選手(\*)を任意のチームに編成できるが、各選手は1チームでのみ出場資格を有する。各国は大会前のチームキャプテンミーティングにおいて、各チームを構成する選手を申告しなければならない。通常のSBXと同様、レーン選択は各ヒート内において各国のチームシード順位によって決定される。

レーン選択は次の順序で行われる：シード1、シード2、シード3、シード4

#### 5802.1.4 SBX・男女混合インクルーシブチームの出場資格

パラアスリート1名と健常アスリート1名（性別が異なること）で構成される最大16チームが出場を許可される。

各国の順位決定には、全カテゴリーにおける最上位のパラアスリートと健常アスリートの最新FISポイントを加算する。上位16チームは順位に基づき決定される。各国の第1チームが優先的に考慮され、残枠は第2チームで補充される。

1国あたり最大2チームの出場が認められる。

#### 5802.1.5 SBX・男女混合インクルーシブチームのシード決定

ブラケットへのシード決定にあたり、各チームは両選手のFISポイント合計に基づき順位付けされる。

FISポイント合計が同点のチームについては、個人FISポイントが高いチームを優先する。それでも同点の場合は抽選により決定する。

#### 5802.1.6 SBX・男女混合インクルーシブチームのチーム出場資格

各チームは、性別が異なるパラアスリート1名と健常アスリート1名で構成される。各国のチーム資格とシード順が決定後、各国は出場資格を有する選手(\*)をチームに選出できるが、各選手は1チームでのみ出場資格を有する。各国は競技開始前のシードミーティングにおいて、各チームを構成する選手を申告しなければならない。各チームは、第1走者と第2走者を自国で決定する。通常のSBXと同様に、レーン選択は各ヒート内での各チームのシード順によって決定される。チームは

レーン選択を宣言した後、第1走者を宣言する。レーン選択は次の順序で選択される：シード1、シード2、シード3、シード4。その後、チームメイトの走行順序は次の順序で行われる：シード4、シード3、シード2、シード1

ジュリーは、大会の一部（例えば準決勝・決勝）または全日程において、チームが選手1と2の順序を同一にすることを制限できる。これは実際の団体競技前夜のチームキャプテンミーティングで発表されなければならない。

\* 出場資格要件は、各大会レベルにおける単一SBX参加に必要な最低FISポイントリストに基づく（例：パラSBXにおけるワールドカップ最低100FISポイント）

#### 5802.1.7 競技進行

SBX・インクルーシブチーム／SBX・男女混合インクルーシブチーム種目では、各チームの先頭選手間の時間差は、フリースタイル／スノーボードFIS計時要綱に基づき計測される。

各チームの先頭選手全員がスタート位置に並び、従来のSBXスタート合図が与えられ、全ゲートが同時に開放される。

これらの選手がスタートを離れると直ちにゲートが閉じられ、チームメイトが同じスタートゲートに整列する。全チームの先頭選手がフィニッシュラインを通過（またはDNFで安全な位置にいる）すると、先頭選手間の記録された時間差がスタートゲートに入力され、新たなスタート指令が与えられる。その後、各選手毎にスタートゲートが個別に開門される。開門間隔は、先頭選手間のタイム差に最大ペナルティタイム（5802.1.8）を加えた遅延時間となる。

2人目の選手がフィニッシュラインを通過した最初の2チームが次ラウンドへ進出する。チームが自動的に次ラウンドへ進出する全ヒートにおいて、該当チームは当該ヒートへの出場またはスキップを選択できる

スタートゲートが時間差または最大ペナルティタイムを遵守して開けられない場合、全競技者は同時にスタートする。この場合、第1ヒートと第2ヒートの競技者間のタイム差は合算される。

合計タイム差が最も少ない2チームが次ラウンドへ進出する。

ビッグファイナルまたはスモールファイナルで2チーム以上が同点の場合、同点のままとする。

その他のラウンドで2チーム以上が同点の場合、シードポイントが低いチームが同点勝ちとなる。

#### 5802.1.8 ペナルティタイム

ペナルティタイムは、個々のパラ競技の予選タイムを用いて算出される。SBX男女混合インクルーシブチーム種目のペナルティ時間は、各種目・性別ごとの最高個人予選タイムの平均値の6%を算出し、最大3秒とする（例：男子最高タイム0:48+女子最高タイム0:51）÷2=49.5秒×6%=2.97秒）。SBXチーム種目のペナルティタイムは、男女別に、各個人予選レースのベストタイムの6%を適用し、最大3秒とする。ジュリーは、特別な状況への対応や興味深いレース展開を促すため、ペナルティタイムを3%から7%の範囲で変更することを決定できる。ペナルティタイムの変更は、競技前のチームキャプテンミーティング（TCM）で発表されなければならない。

個人レースタイムが参照できない場合、この計算結果はレースジュリーによる推定と確認が必要である。

#### 5802.1.9 最終順位

チーム1~4は、最終ヒート（ビッグファイナル）での順位に基づいてランク付けされる。チーム5~8は、コンソレーションラウンド（スモールファイナル）での順位に基づいてランク付けされる。

各ラウンド内では、3位と4位のチームは当該グループ内のシード順位によって順位付けされる（例：準々決勝の全3位チームはシード順位に基づき順位付けされ、その後全4位チームがシード順位に基づき順位付けされる）。

#### 5802.1.10 SBXインクルーシブチームおよびSBX混合インクルーシブチーム決勝におけるDNS、DNF、DSQの取り扱い

16強または8強のラウンドでチームがスタートしなかった場合、自動的に16位または8位にランク付けされる。2チーム以上がスタートしなかった場合、DNSチームはシード順位に基づき16/15位または8/7位にランク付けされ、3チーム以上のDNSチームについても同様の処理が行われる。

順位決定順序：DSQ（競技失格）は当該ヒート最下位とする。コース完走・フィニッシュライン通過を完了しなかった競技者が複数いる場合、当該ヒートの順位は競技者がコースを完走した地点に基づく。よりフィニッシュ地点まで正しくコースを進んだ競技者が上位となる。決勝・準決勝において2名以上の競技者がフィニッシュ地点または同一ゲート通過地点で同着の場合、同着扱いとする。その他のラウンドにおいて、2名以上の競技者がフィニッシュ地点または同一ゲート通過地点で同着の場合、シードポイントが低いチームが同着を勝ち取る。第1ラウンドに出走しなかったチームは、結果リストにDNS（不参加）と表示される。準決勝でDNSとなったチームは、スモールファイナルへの出走が認められる。

#### 5802.2 SBX・インクルーシブチーム競技 - ポイント制フォーマット

##### 5802.2.1 SBX・インクルーシブチームへのチーム出場資格

各チームは、同一国籍かつ同一性別のパラアスリート1名と健常アスリート1名（\*）で構成される。各競技者は1チームのみに出場資格を有する。各国は、競技に先立つチームキャプテンミーティングにおいて、各チームを構成する競技者を申告しなければならない。5802.2.2 SBX混合インクルーシブ種目におけるチームの出場資格

各チームは、同一国籍かつ性別が異なるパラアスリート1名と健常アスリート1名（\*）で構成される。各競技者は1チームのみに出場資格を有する。各国は、大会前のチームキャプテンミーティングにおいて、各チームを構成する競技者を申告しなければならない。

\* 出場資格要件は、各大会レベルにおけるシングルSBX参加に必要な最低FISポイントに基づきます（例：ワールドカップ最低100FISポイント）

### 5802.2.3 スタートリスト

FISポイントはチームのシード順決定に使用されます（両競技者のFISポイントの合計値）。各カテゴリーの上位8チーム（出場チームが30チームを超える場合は16チーム）は、スタート順を決定するために抽選され、その後、残りのチームはFISポイントの降順で抽選されます。同点の場合、チームをランダムに抽選して決着をつけます。同点が8位（出場チームが30チームを超える場合は16位）の場合、同点のチームは両方とも最初のグループに抽選されます。

### 5802.2.4 予選

全チームのアスリートは、ゼッケン番号順に1人ずつ計時滑走を行う。両チームのアスリートのタイムを合算し、予選順位を決定する。同タイムの場合、シード順位が低いチームを上位とする。それでも同順位の場合、ゼッケン番号が高いチームが優先される。

1つ以上のチームの選手がDNFまたはDSQとなった場合、当該チームは有効タイムが2つある全チームの後順位となり、より良い単独有効タイムで順位付けされる。同タイムの場合、シード順位が低いチームが上位となる。それでも同順位の場合、ゼッケン番号が大きいチームが優先される。

1つ以上のチームの選手全員がDNFまたはDSQとなった場合、当該チームは1つまたは2つの有効タイムを有する全チームの後順位となる。シード順位が低いチームが上位となる。それでも同順位の場合、ゼッケン番号が高いチームが優先される。

1つ以上のチームの選手1名または両名がDNSとなった場合、当該チームは次の競技フェーズへの出場を認められない。

団体競技に先立ち同一コースで個人種目が行われた場合、個人種目の結果を団体種目のシード順位決定に利用することが可能であり、その際はチームメンバーのタイムを合計する。

### 5802.2.5 競技

通常のSBXと同様に、レーン選択はチームの予選順位によって決定される。各チームの最初の競技者全員がスタート位置に並ぶ（SBX混合チームの場合、どちらの性別が先にスタートするかは審判団がチームキャプテンミーティングで通知する）。その後、従来のSBXスタート合図が与えられ、全ゲートが同時に開く。これらの選手がスタートを離れるとすぐにゲートが閉じられ、チームメイトが同じスタートゲートに整列する。

フィニッシュラインを最初に通過したグループの選手には、以下の順序でポイントが付与される：1位4ポイント、2位3ポイント、3位2ポイント、4位1ポイント。全チームの先頭選手がフィニッシュラインを通過（またはDNFで安全な位置にいる）と、新たなスタート指令が発せられ、全ゲートが同時に開く。第2グループの競技者がフィニッシュラインを通過した場合、以下の順序でポイントが付与される：1位4ポイント、2位3ポイント、3位2ポイント、4位1ポイント。

選手の順位は、フィニッシュラインを最初に通過した身体の一部またはスノーボードによって決定される。可能な限り、フィニッシュラインカメラ（ビデオまたは写真判定）を設置すること。ただし、決勝戦および準決勝戦において、同着

を解消できない場合のみ、選手は同着のままとする。フィニッシュラインでの同着が発生した場合、写真判定映像が利用可能な場合はこれを確認した上で順位を決定する。それでも同着が解消されない場合、関係する競技者は予選タイムの速さに基づいて順位を決定する。それでも同着が解消されない場合、シードポイントが低い競技者が同着を勝ち取る。それでも同着が解消されない場合、同着のままとする。

#### 5802.2.6 最終順位

チームは、決勝ヒート（ビッグファイナル）とコンソレーションファイナル（スモールファイナル）におけるポイント合計に基づき順位付けされる。スノーボードクロスはシングルエリミネーション方式で実施される。

各ヒートにおけるポイント合計により、上位1チーム（ヒートあたり2チーム）または上位2チーム（ヒートあたり4チーム）が次ラウンドへ進出する。

予選ヒート、1/16決勝、1/8決勝、1/4決勝で敗退したチームは、ヒート内での順位に基づきグループ分けされ、そのグループ内でポイント合計により順位付けされる。いずれの場合も、特定のグループ（1/8決勝、1/4決勝など）への進出を決めたチームは、そのグループに残留し、そこで順位付けされる。例：トップ16進出チームは、得点計算上トップ16グループに留まる。

2チーム以上が同点（ポイント合計が同一）の場合、予選順位が上位のチームが優先される。それでも同点の場合、シード順位が低いチームが優先される。それでも決着がつかない場合は抽選で決定する。

不可抗力（天候、機器故障、コース状態など）により決勝を完全に実施できない場合、予選結果が最終結果として有効となる。

#### 5802.2.7 SBXインクルーシブチーム決勝におけるDNS、DNF、DSQの取り扱い

第1ラウンドに出走しなかったチームは、結果リストにDNSとして表示される。準決勝でDNSとなったチームは、3位決定戦に出走することが認められる。

予選ヒートで4位となったDNF/DSQチームは、予選ヒート・16強戦・8強戦・4強戦の各段階において4位となったチーム群の中で順位付けされ、その後予選順位に基づいて最終順位が決定される。DNF/DSQとなり3位となったチームが複数存在する場合も同様の処理が行われる。

16強戦または8強戦に出走しなかったチームは、自動的に16位または8位に位置付けられる。2チーム以上が出走しなかった場合、DNSチームは予選順位に基づき16/15位または8/7位に位置付けられ、DNSチームが3チーム以上いる場合も同様とする。

順位付け順序：DSQ（競技失格）はヒート最下位にランクされる。複数の競技者がコース完走・フィニッシュライン通過を完了しなかった場合、当該ヒートの順位は競技者がコースを完走した地点に基づく。より遠くまで正しく進んだ競技者が上位となる。決勝・準決勝において、2名以上の競技者がフィニッシュ地点または同一ゲート通過地点で同着の場合、同着扱いとする。その他のラウンドにおいて、2名以上の競技者がフィニッシュ地点または同一ゲート通過地点で同着の場合、シード順位が低いチームが同着を勝ち取る。

第1ラウンドに出走しなかったチームは、結果リストにDNSとして表示されます。

準決勝でDNS（出走せず）となったチームは、3位決定戦に出走することが認められます。

#### 5802.2.8 処罰と“DNS, did not start”

第1ラウンドに出走しなかったチームは、結果リストにDNSとして表示されます。セミファイナルで出走しなかった（DNS）チームは、スモールファイナルに出走することが認められます。

##### 5802.2.8.1 レース中の妨害に対する処罰

一般個人のSBX規則5404項が適用される

##### 5802.2.8.2 処罰の効果

処罰または警告の通知は、チームではなく競技者個人に対して直接行われる。当該競技会における直接的な影響はチームにも及ぶ（チームは失格（DSQ）、（RAL）となる）が、次回の競技会における影響は、当該競技者のみが出場を認められず（NPS）、他のチームメンバーは別のチーム競技者と共にスタートできることである。

競技者に警告が与えられた場合、この警告はチームに影響を与えない。

同一競技内で同一選手に警告が2回与えられた場合、当該チームはRALとなる。

選手にイエローカード/RALが与えられた場合、チームへの影響は「最下位扱い」（RAL）となり、当該チームは以降の競技ラウンドに出場できなくなる。ただし、シーズン残りのイエローカードは（RAL）を受けた選手に付随する。

競技者にレッドカード/失格（DSQ）が与えられた場合、チームへの影響は、当該チームが失格（DSQ）となり、競技の今後のラウンドへの出場が許可されず、チームは順位付けされないことである。

## ワールドカップ規則

（パーク & パイプ部門）

### **2.3** ワールドカップ出場枠（HP、SS、BA）

ビッグエア（BA）およびスロープスタイル（SS）のワールドカップ競技会における最大出場人数は、女子30名、男子50-60名とする。シテオビッグエアワールドカップ競技会における最大出場人数は、女子30名、男子50名とする。

ハーフパイプ（HP）競技における最大出場人数は、合計100-110名とし、内訳は女子50名、男子50-60名とする。

単一競技において、いずれかの性別に未使用の出場枠がある場合、総出場人数がBA/SSでは80名、HPでは100名を超えないこと、かついずれの性別も最大60名を超えないことを条件として、当該未使用枠を他方の性別へ移行することができる。

BAおよびHPにおいて、未使用の競技出場枠（BA：女子30名、男子50名または60名、HP：女子50名、男子60名）は、性別間で移行することができる（例：女子25名・男子55名、または女子35名・男子45名。合計人数は常に80名）。各国は、自国に割り当てられた未使用の出場枠を性別間で移行することはできない。

### 2.3.2 ワールドカップ参加のための最低基準

スノーボード 女子：

— スロープスタイル：FISポイント120ポイント、または WSPLスロープスタイル290ポイント

— ハーフパイプ：FISポイント70ポイント、または WSPLハーフパイプ220ポイント

— ビッグエア：FISポイント140ポイント または WSPLビッグエアもしくはスロープスタイル290ポイント ~~スロープスタイルにおいて、FISポイント120ポイント、またはWSPL230ポイント~~

~~ハーフパイプにおいて、FISポイント50ポイント-または-WSPL130ポイント~~

~~ビッグエアにおいて、ビッグエアまたはスロープスタイルのいずれか高い方で、FISポイント100ポイントまたはWSPL230ポイント~~

スノーボード男子：

— スロープスタイル：FISポイント 140ポイント、または WSPLスロープスタイル 290ポイント

— ハーフパイプ：FISポイント 70ポイント、またはWSPLハーフパイプ 220ポイント

— ビッグエア：FISポイント 140ポイント、またはWSPLビッグエアもしくはスロープスタイル 290ポイント

フリースキー 女子：

— スロープスタイル：FISスロープスタイル 50ポイント

— ハーフパイプ：FISハーフパイプ 10ポイント

— ビッグエア：ビッグエアまたはスロープスタイルにおいて FISポイント 50ポイント

フリースキー男子：

— スロープスタイル：FISスロープスタイル 90ポイント

— ハーフパイプ：FISハーフパイプ 10ポイント

ビッグエア：ビッグエアまたはスロープスタイルにおいて FISポイント 90  
ポイント

### 2.3.3 クォータースポット配分システム

すべてのワールドカップ・クォータースポットは、以下の順序で配分される：

**開催国枠 (Host Nation Quota)：**女子3名／男子54名

**個人枠 (Personal Quota Spots)：**

~~世界ジュニア選手権 (World Junior Championship) \* 女子1名／男子1名~~

コンチネンタルカップ (Continental Cup)

ハーフパイプ (HP)

各CoCの優勝者 (各CoCにつき女子1名／男子1名) は、個人ワールドカップ  
出場枠を獲得する。 女子1名／男子1名\*\*

スロープスタイル／ビッグエア (SS/BA)

5つのCoC優勝者のうち、最も高いランクのCoC優勝者、上位3名ののみ  
が個人ワールドカップ出場枠を獲得する。

順位は、クォータースポット配分時点における最新のSSポイントに基づいて  
決定される。

フリースキーはFISポイントリスト、スノーボードはワールドスノーボードポ  
イントリストを使用する。 (各CoC、各競技ごと；HPおよびSS/BA)

女子1名／男子1名\*\*

**ネーションクォーター枠：**

前シーズンのBAワールドカップ総合優勝者の所属国は、ビッグエアにおいて  
枠を1つ獲得する。当該枠はスロープスタイルおよびビッグエアに適用される。

女子1名／男子1名

前シーズンのSSワールドカップ優勝者の所属国は、スロープスタイルにお  
いて枠を1つ獲得する。当該枠はスロープスタイルおよびビッグエアに適用さ  
れる。

女子1名／男子1名

前シーズンのHPワールドカップ総合優勝者の所属国は、ハーフパイプにお  
いて枠を1つ獲得する。当該枠はハーフパイプのみに適用される。

女子1名／男子1名

上記すべてのクォーター枠は、各国の最大チーム人数とは別枠として扱われる。  
また、選手は翌シーズンのワールドカップに出場するためのすべての参加資

格要件を満たさなければならない。ただし、ANCおよびSACの場合は、同一カレンダーシーズンに適用される。

\*\*HPのCoC個人枠および、SS/BA複合ランキングに基づく個人枠は、開催大陸に属する競技者のうち、すべてのワールドカップ参加資格要件を満たした最上位ランクの選手に付与される。

対象は、翌シーズンのワールドカップ、またはANCおよびSACの場合は同一カレンダーシーズンとする。

ランキングの算出方法は、CoCルールブックの各大陸の章において規定される。

カップランキングで同順位が残った場合、HP、またはSS/BA複合のFISポイントが最も高い選手が個人枠を獲得する。個人枠を獲得する選手は、ワールドカップ出場に必要な最低ポイント基準を満たしていること、また、当該種目の同一CoCシーズンにおいて最低3競技に出場していること（HPはHP競技3戦、SS/BAはSSおよび/またはBAを組み合わせた3戦）を満たさなければならない。

### 2.3.6

#### 出場枠の再配分

残った出場可能枠は、エントリーリストにおける次順位の上位選手に再配分される。出場枠が配分され、確定した後、ランキングリスト上位の男子3名および女子2名（リザーブ選手）が、待機選手として、公式トレーニングおよびフォアランに参加することを認められる。

ドロウ前に欠場が発生した場合、これらの選手は未使用枠に繰り上げられ、競技会に出場することができる。

ビブドロウ後から公式スタート前までの間において、エントリー時に確認されたリザーブ選手（少なくとも1回の公式トレーニングランを完了していること）は、欠場した選手に代わって出場することができる。リザーブ選手は、ワールドカップ・クォータースポット配分システムに基づいて順位付けされ、ドロウ時点のスタートリスト末尾に記載され、アスタリスクを付して表示される。欠場は、競技開始前までに、選手、コーチ、またはチーム関係者が、スターター、ジュリー、またはイベントディレクターに対して通知しなければならない。欠場が発生しなかった場合、リザーブ選手はリスト上に残り、リザルトにはNPS（No Start/未出走）として表示される。

(クロス部門)

**4.1.3**        スノーコントロール

スノーコントロールの実施期限は、最初の公式競技トレーニング日の10日前とする。

1.3.2項を参照のこと。

## ジュニア・リージョナルカップ規則

### 2. 地域の定義

以下の開催国は、それぞれのジュニア・リージョナルカップにおいて、次のとおりグループ分けされる。

|                |                |   |
|----------------|----------------|---|
| <u>スノーボード</u>  | <u>アルプス</u>    | <u>AUT, GER, ITA, SUL, FRA</u>                |
| <u>フリースタイル</u> | <u>中央ヨーロッパ</u> | <u>SUL, GER, NED, AUT, FRA, CZE, SLO, ITA</u> |

~~2.1 — アルプス (Alps)  
AUT, ITA, SUI, FRA~~

~~2.2 — その他の地域グループ分けの例~~

- ~~• バルカン / NSA 未定~~
- ~~• スカンジナビア / NSA 未定~~
- ~~• 北東ヨーロッパ (NE Europe) / NSA 未定~~
- ~~• 東アジア / NSA 未定~~
- ~~• 中央アジア / NSA 未定~~

7.4.1 JRC アルプスカップ スノーボード・アルペン  
完了し、有効と認められたすべての JRCポイントの結果は、総合タイトル  
の算定対象とする。  
男女それぞれについて、少なくとも2か所以上の異なる開催地において、最低3  
競技が実施されなければならない。  
~~各地域および種目グループは、カップの構成方法をそれぞれ定めるものとする。~~

### 8. 種目別規則

8.1 エアリアル / モーグル / デュアルモーグル

8.1.1 年齢区分  
FIS世界ジュニア選手権規則および ICR 2013.4.3 に定めるとおりとする。

8.2 スノーボードクロス

8.2.1 年齢区分  
FIS世界ジュニア選手権規則および ICR 2013.5.3 に定めるとおりとする。

FIS広告委員会は、FIS理事会の承認を得るため、以下の提案を提出する：

## 競技用品上の広告マークに関する規制広告規則

### 3.1.1 スタートハウス

#### a) アナログ・スタートウォール

- 開催地の名称またはその他の識別表示、2 x 80x15cm
- 追加のロケーションロゴ 1点

スタートハウス上の、開催地名の上または下への追加広告は許可されない。

計時およびデータ処理の識別表示 (2 x 80 cm x 30 cm) ならびに公式タイトルおよびFISロゴ (23 x 21cm) は、スタートハウスの上部および前面側面、ならびにドア枠の全側面に取り付けなければならない。

さらに、スタートハウス内部には公式NSA / イベントスポンサーのロゴを表示することができる。

スタートハウスの左右には、50 cm x 100 cmまたは5,000 cm<sup>2</sup>の同一サイズの看板2枚 (2社用)、あるいは100 cm x 100 cmまたは10,000 cm<sup>2</sup>の同一サイズの看板1枚 (同一企業用) を、スタートハウスの外壁に設置することができる。

スタートハウス/テントのサイズに応じて、NSA / イベントスポンサーおよび観光広告用に30 cm x 50 cmまたは60 cm x 80 cmの看板3枚、ならびにデータ/計時パートナー用に30 cm x 50 cmまたは60 cm x 80 cmの看板1枚を設置することができる。

スタートハウスの両側には合計30 mのバナーを設置することができる。バナーの高さはプラチナサークルを含め150 cmを超えてはならない。最初のバナーはスタートハウスから50 cmの位置に設置しなければならない。2.7.3 各国スキー連盟は、各連盟の規定に従い、スキー用具 (ヘッドウェアまたはアウターウェア) の供給業者以外の企業と、ヘルメット/ヘッドウェアへの商業表示に関するスポンサー契約を締結することができる。

その面積は最大50cm<sup>2</sup>までとし、同一サイズ・同一スポンサーのロゴ2つに分割することも可能とする。

その場合、ヘルメットおよびヘッドウェアの前面には、最低6cm<sup>2</sup>の各国スキー連盟の識別表示を掲出しなければならない。

商業表示は、ナショナルアソシエーションの識別表示の側面または上部に配置しなければならない。

ヘッドギア前面中央のナショナルアソシエーション識別表示と、スポンサー広告 (50cm<sup>2</sup>) との間には、少なくとも1cmの空白を設ける必要がある。

ヘッドバンドについては、商業表示を前面に配置することが可能であり、ナショナルアソシエーションの識別表示はその側面に配置する。

ヘルメットの可動式または一体型のチンストラップには、いかなる広告表示も認められない。

~~ただし、FISパーク&パイプ種目（スキーおよびスノーボード）に限り、ヘルメットの商業表示については2023/2024シーズン以前と同様の規定を適用することができる。~~

## b) LEDスタートウォール

### ● 出口上部における開催地の名称またはその他の識別表示

タイトルスポンサーの識別表示スペースは、LEDウォール上部（総高さ50cm）およびドアフレームの側面に確保される。

計時およびデータ処理スポンサーの識別表示（2 x 80 x 30cm）は、LEDスタートウォールの前にある2本のパイロンに配置される。

LEDウォール上のシーケンスの割り当て：「シーケンス」（選手スタート前の各タイムスロット）の総量は、NSA/LOCに80%、FISに20%の割合で割り当てられる。

シーケンスの内容は、EBUオンサイト広告規則および広告規則第1.4条および第1.5条に準拠しなければならない。

LEDウォールの前に配置するパイロン（2 x 100 x 110 x 30cm）：LEDウォールの前、出口の左右のパイロンには、100 x 80 x 30cmの同一サイズの看板（同一企業用）を2枚貼り付けることができる。

\*\*\*

## スキージャンプ用スキー

過去1年間でスキージャンプ用スキーの製造メーカーは減少し、現在、世界で有力なメーカーは3社のみとなっている。

スキージャンプ用スキーには広範な産業市場や商業市場が存在せず、ほぼプロ専用生産されるため、年間生産量は少ない。

その結果、スキーの価格は高騰し、ジュニアや第2層のアスリートがスキーを入手することは困難かつ高コストとなっている。これに対処するため、スキージャンプ用スキーの商業規則は他のFIS種目よりも柔軟化され、毎年の世界的な需要に応えるための商業機会の拡大が認められている。

広告委員会は、現行の適応規則では年間の市場ニーズを満たすには不十分であると認識している。そのため、ワーキンググループはスキージャンプ用スキーに関する追加の商業機会を導入する提案を策定した。この提案には、メーカーが妥当な条件で第2層レベルにスキーを供給できることを保証するシステムが含まれる。広告委員会によって承認されたワーキンググループのメモには、以下に記す規則変更を通じてこのシステムがどのように実施されるかが詳述されている。業界内には、広告スペースの拡大により自社の露出が減少することを懸念する声もあるが、委員会の大多数は本提案を支持した。

#### 2.8.4. ジャンプスキー

2.8.4.1 ジャンプスキーにおけるスポンサー広告の表示は、以下のように行うことができる：

a) スキー上面において、1本あたり総面積200 cm<sup>2</sup>、最大長25 cmを上限とし、ビンディング前方に配置する。この広告に関する決定権は、国内スキー連盟のみが有する。

b) スローガンを使用しないことを条件に、スキー表面全体を覆うことができる。この場合、スポンサーのロゴは滑走面にも1回表示可能である。この広告に関する決定権は、スキー製造業者のみが有する。

b) の形態を選択した場合でも、a) を適用することができる。すべてのマーキングは両方のスキーで同一でなければならない。

2.8.4.2 第2.8.4.1条 a)に基づきスポンサー広告を使用する場合、同一スポンサーはウェアおよびヘッドギアの表示面も所有できる以下の広告プラットフォームを選択できる：

a) ジャンプスキー（上面および滑走面）

b) 競技用およびウォームアップ用ウェア

c) スタートビブ

b) および c) の選択肢は任意であり、スキーのブランディングと組み合わせることができる。

スポンサーがスキー上の広告スペースを利用する場合、ヘッドギアへの広告は明確に除外される。

第2.8.4.1条 b)に基づきジャンプスキーの全面にスポンサー広告を使用する場合、第1.5条の制限が適用されるが、これは関連種目であるスキージャンプおよびノルディック複合にのみ適用される。

\*\*\*

2025年10月7日

1. 「青少年および児童問題調整グループ」の名称を以下に修正する：

青少年および育成調整グループ

2. 「青少年および児童問題小委員会」の種目別名称を以下に修正する：

アルペン青少年および育成小委員会

クロスカントリー青少年および育成小委員会

フリースタイル、スノーボード、フリーライド青少年および育成小委員会

スキージャンプおよびノルディック複合青少年および育成小委員会

3. クロスカントリーの2つの小委員会、「クロスカントリー青少年および児童小委員会」と「クロスカントリー育成小委員会」を統合し、「クロスカントリー青少年および育成小委員会」とする。

背景：

- 「ユース（青少年）」は、スノースポーツへの導入、初期育成、競技への導入、FISジュニア世界スキー選手権を含むジュニア競技会に至るまで、若年アスリートのあらゆるスノースポーツ活動を明確に包含する。

- 育成活動は、すべてのNSAにとってFIS戦略計画の優先事項である。この名称変更は、種目別小委員会および調整グループの目的をより良く伝え、方向性を整合させるものと見なされる。

- クロスカントリーにおける小委員会の整理：権限が重複する2つの小委員会は、NSAにとって混乱を招いていた。2つの小委員会を統合することで、メンバーはFIS育成部門と緊密に連携し、FIS全加盟国向けのユースおよび育成活動に共に注力することができる。

各小委員会のメンバーはFIS春季技術会議に向けて統合され、現在のクロスカントリー育成小委員会の委員長は調整グループのメンバーとして加わる。

連絡担当者：

Ken Read、青少年および児童問題調整グループ議長

## 14.9 教育部門

### 技術役員向け教育ガイドラインエグゼクティブサマリー

FIS技術役員（TO）教育ガイドラインは、すべてのFIS種目における技術役員の教育、認定、および継続的な能力開発のための統一された枠組みを確立するものである。本ガイドラインで概説される主要な要素には、ガイドラインの範囲と適用性、一般的な教育課程（図1参照）、教育者の専門能力開発、教育の費用と管理、ならびに一般的な技術役員行動規範が含まれる。

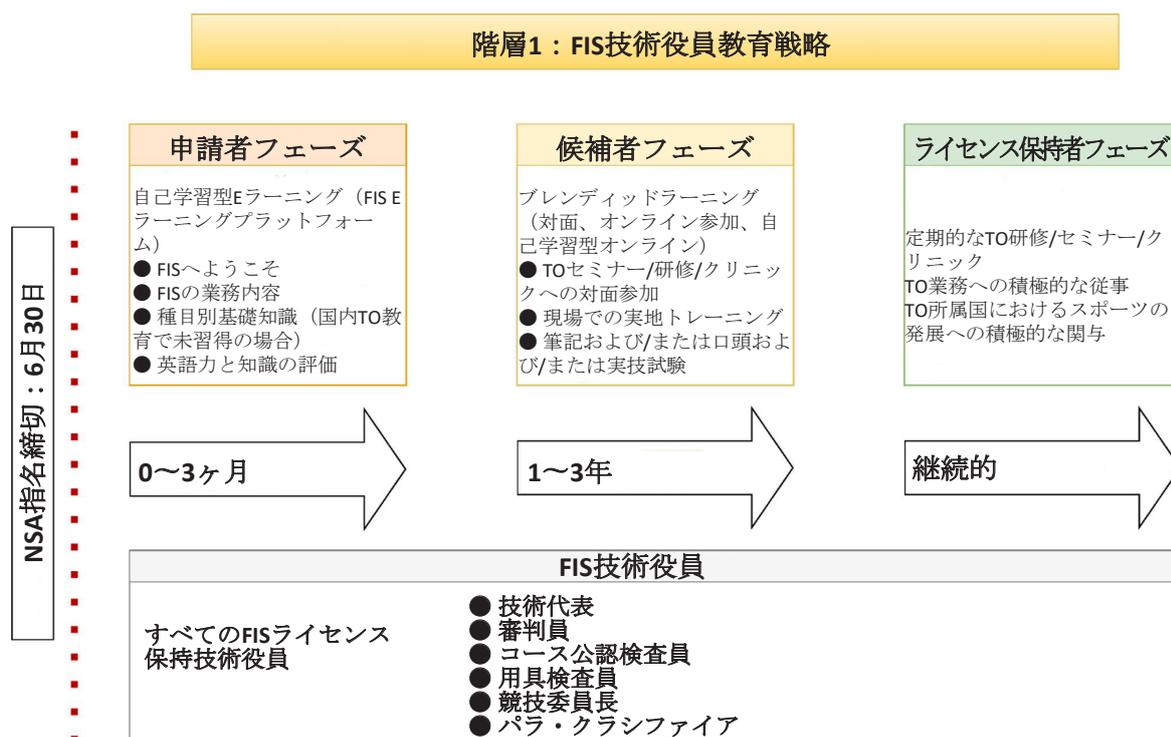


図1：一般的な教育課程

これらのガイドラインは、FIS経営陣およびFISナレッジセンターが所有・管理する。ガイドラインは、全種目にわたる技術役員の教育課程の構造、ガバナンス、および実践的な実施を定義する2つの主要文書によって補完される。

#### 1. 付属文書：役割別教育課程

この随時更新される文書は、各役割および種目の申請・教育プロセスと、使用されるトレーニング形式・提供方法を概説する。これは個々の種目によって管理され、FISナレッジセンターの支援を受け、変化するニーズとの関連性と整合性を確保するために継続的に評価・更新される。

#### 2. 技術役員サポート文書

この種目別資料は2つのセクションで構成される。第1セクションには、技術役員および教育スタッフへの費用弁償規定、抗議および上訴手続きの簡略化された概要、透明性とグッドガバナンスを促進するための指名ガイドライン、および重大事故発生時の対応プロトコルが含まれる。これはFIS経営陣およびFISナレッジセンターが所有・管理し、内容は現在、各FIS部門と共同で開発中

である。

第2セクションは、大会中に技術役員がその役割を効果的に遂行するための、実践的かつ現場レベルのガイダンスを提供する。これは各種目が所有・管理し、内容は現在、各種目のワーキンググループで開発中である。

すべての文書は、各種目との共同制作プロセスで開発された。これらは、2025年にチューリッヒで開催されたFIS秋季会議において、スキージャンプを除くすべての種目によって提示、議論、承認された。スキージャンプは、2026年の春季小委員会会議の一環として本文書を議論する予定である。

FIS理事会による全体的な承認後、FIS国際競技規則（ICR）は改訂され、重複を避けるためにすべての教育および費用弁償関連の内容は削除される。さらに、教育に関して準拠すべき唯一の文書として本教育ガイドラインを参照する新たなICR 200番台の規則を追加することを目指している。提案は2026年にポルトロズで開催されるFIS春季会議に向けて準備される。技術役員のための新しい教育戦略は、2026年7月1日に発効するものとする。

## FIS Plusプログラム

FIS Plusプログラムは、NSA（1、2、3票保有）向けに開発されたプログラムである。2025年版の第2回公募は9月に申請受付を開始した。

このプログラムは、インテグリティ、サステナビリティ、管理、競技専門分野など、さまざまな領域でNSAが能力を構築できるよう設計されており、さらにFISが関心を持つ特定のプログラムを認定する。

FIS Plusプログラムへの公式申請は、以下の評価基準に基づき育成部門によって審査された：

### FPP申請評価基準

1. 掲げられた目的との整合性と達成度。
2. パートナーシッププロジェクト：複数のNSA間のパートナーシップまたは協力の有無。
3. プロジェクトの全体的な有効性。
4. プログラムの目標への貢献度。
5. 育成のためのリソースの効率的な使用。
6. プロジェクトの長期的な持続可能性。
7. ジェンダーバランスの促進。
8. 他のNSAの模範となる可能性。

| 国   | 活動                              | 要請額        | 提案額       | 備考  |
|-----|---------------------------------|------------|-----------|---|
| ALB | アルバニアにおけるローラースキー発展のための能力構築      | 10,000 CHF | 支援対象外     | 前回のプロジェクト「学校でのローラースキー体験」に関する報告がないため。  |
| ESP | スノースポーツの未来：スキル構築、インクルージョン&スキー育成 | 10,000 CHF | 9,000 CHF | 本プロジェクトは、スポーツの未来に向けた5つの主要な柱（技術トレーニング、価値観と予防、グラスルーツの促進、アダプティブスポーツを通じたインクルージョン、デジタル化と技術）を組み合わせたものである。 |
| GER | HKS アダプティブ・スノーボードキャンプ 26        | 5,000 CHF  | 5,000 CHF | 本プロジェクトは、より多くの障がいを持つ人々をゲレンデに導き、そのスキルを競技レベルまで大幅に向上させることを目的としている。                                     |

|                    |                          |            |            |  |
|--------------------|--------------------------|------------|------------|--|
| NOR1               | コーチ育成                    | 5,550 CHF  | 5,500 CHF  | ノルウェーはフリースキーにおけるコーチング課程の最初の2レベルを開発したが、コーチが継続的に能力を開発し、追加の専門的なインプットを得る必要性を認識している。  |
| NOR2               | 女子育成グループ                 | 6,500 CHF  | 6,000 CHF  | 女子育成グループでのこれまでの成功に基づき、本プロジェクトは、競技としてフリースキーに取り組む14～20歳の女子に対し、体系的な支援、スキル開発、および意欲を高める環境を提供することを目指している。  |
| NZL                | パフォーマンスの全体像<br>- NZアルペン  | 6,000 CHF  | 6,000 CHF  | パーク&パイプでの大きな成功と成長を受け、同様のプロジェクトをアルペンコミュニティに特化したリソース支援の機会とする。プロジェクトの成果として、アルペンスキーレースのコーチと選手に、タレント育成、戦略計画、および活動の指針を提供する。  |
| SUI GER<br>AUT ITA | FISジュニア・リージョナルカップ-アルプス地域 | 14,000 CHF | 9,000 CHF  | 2025年のジュニア・リージョナルカップ（アルプス地域）の成功裏の実施に続き、プロジェクトの次のフェーズは、協力を強化し、実績のある仕組みを他の地域やステークホルダーに展開することで、その影響を拡大することを目指す。これは、NSAがジュニアアスリートのための基礎的な仕組みを構築し、早期にFISレベルの競技フォーマットへのアクセスを確保できるよう支援することを目的としている。 |
|                    | 合計                       | 57,050 CHF | 40,500 CHF |  |

## FIS Startプログラム

FIS Startプログラムは、NSA（1、2票保有および準会員）向けに開発されたプログラムである。2025年版の第2回公募は9月に申請受付を開始した。

このプログラムは、用具支援やプロモーションツールを含む直接的な知識共有サポートを強化することにより、FISメンバーの意欲を高め、国レベルでの発展に貢献するように設計されている。FISはパートナーと共に毎年、NSAのさまざまなプロモーション活動、ツール、競技専門用具を支援している。

FIS Startプログラムには以下が含まれる：

- シュレッドパーク（Neveplast製）：都市部（学校近隣、市街地など）で特定の種目を促進するために各国を支援する。
- 用具支援パッケージ（LISKI）：トレーニングや国内レベルの競技会の運営に必要な基本的な用具で各国を支援する。
- ローラースキーの寄贈（育成キャンプで使用）：ローラースキーの普及と、アスリートのトレーニングおよび競技のための高品質な用具の確保において各国を支援する。2025年、FISはNSAに30ペアのクラシカル・ローラースキーを寄贈する。

### ▶ シュレッドパーク

以下のNSAがクロスカントリー・シュレッドパークを申請した。

| 国   | 種目       | 提案    | 備考  |
|-----|----------|-------|---|
| UKR | クロスカントリー | 支援対象  | 都市部における種目普及のため。                             |
| POR | クロスカントリー | 支援対象外 | 今年の残りは1基のみであり、ポルトガルは数年前に受領済みのため、ウクライナを優先する。 |

### ▶ スポーツ&プロモーション支援パッケージ

| 国   | 種目           | 注記 |
|-----|--------------|----|
| BLR | クロスカントリー     | 承認 |
| MNE | プロモーションパッケージ | 承認 |
| ISV | プロモーションパッケージ | 承認 |

### ▶ ローラースキーの寄贈

| 国   | 種目            | 提案  | 備考  |
|-----|---------------|-----|---|
| MNE | ローラースキー / 5ペア | 3ペア | モンテネグロは基礎レベルにあり、ローラースキーを普及させ、その認知度向上のための活動を行っている。 |

|     |               |     |   |
|-----|---------------|-----|---|
| MEX | ローラースキー / 5ペア | 3ペア | メキシコは昨年寄贈を受けたため、申請した全NSAを支援できるよう、受領済みの国へはより少ないペア数を支援する。                           |
| NGR | ローラースキー / 5ペア | 5ペア | 平地国であるため、ローラースキーは自国で練習できるほぼ唯一の種目である。近年、ローラースキーの普及に尽力しており、この種目をより広めるために用具支援が必要である。 |
| KEN | ローラースキー / 5ペア | 5ペア | 平地国であるため、ローラースキーは自国で練習できるほぼ唯一の種目である。近年、ローラースキーの普及に尽力しており、この種目をより広めるために用具支援が必要である。 |
| MKD | ローラースキー / 5ペア | 5ペア | 普及活動を通じて、北マケドニアは小規模なローラースキー用具プールを構築しており、用具支援は非常に有益である。                            |
| GBS | ローラースキー / 5ペア | 5ペア | 平地国であるため、ローラースキーは自国で練習できるほぼ唯一の種目である。近年、ローラースキーの普及に尽力しており、この種目をより広めるために用具支援が必要である。 |
| SRB | ローラースキー / 5ペア | 4ペア | セルビアは昨年寄贈を受けたため、申請した全NSAを支援できるよう、受領済みの国へはより少ないペア数を支援する。                           |

\*\*\*

# スポーツくじ

